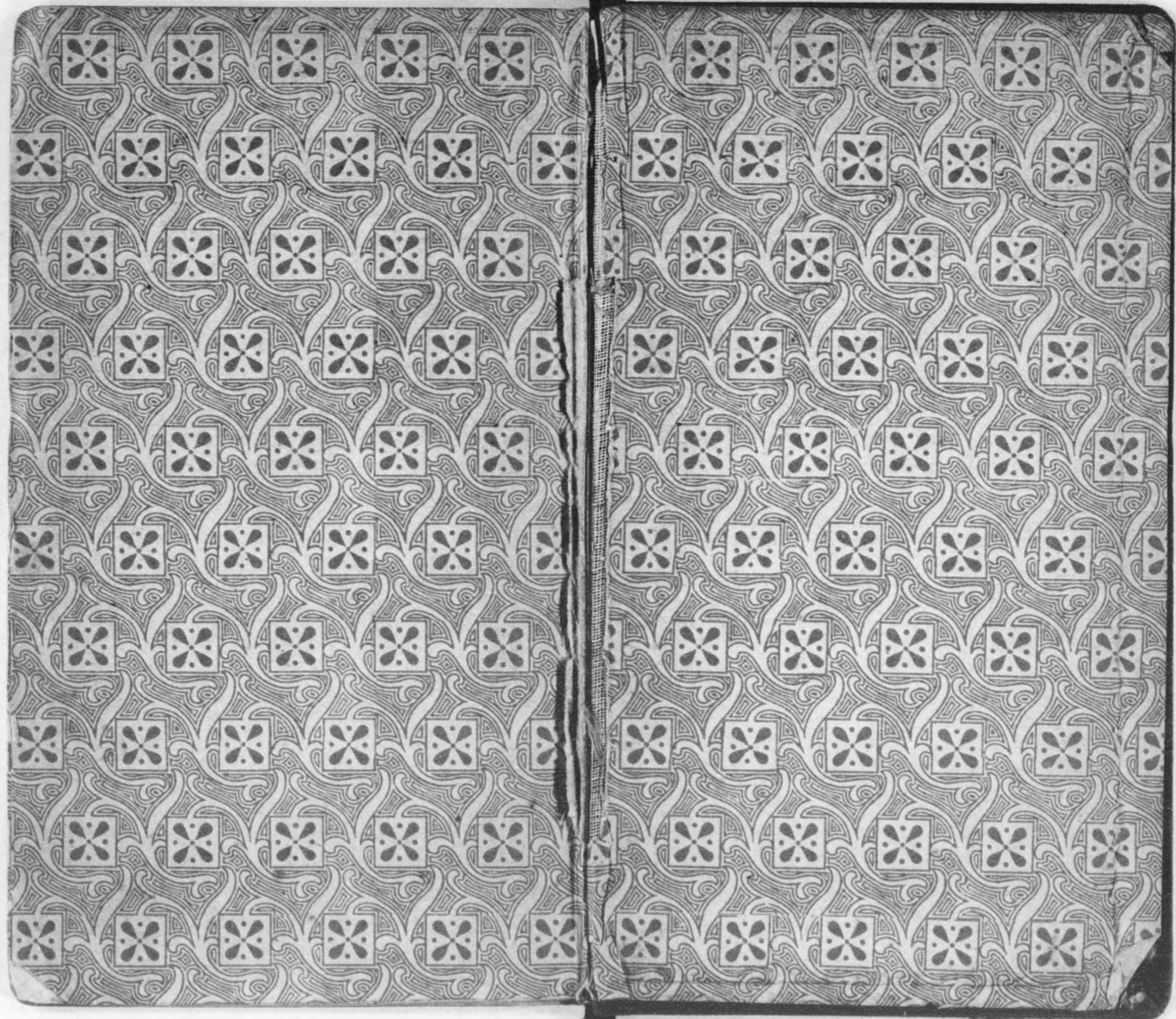


323  
377



始





323-377



石山福治編

改增  
版訂

支

那語辭彙

東京 文求堂刊行

大正  
10 4.13  
丙午

## 例言

一、本書の初版は明治三十七年の冬にして、爾後版を重ねる毎に多少の訂正を加へ來りたれ共、時世の變遷急なるや、前の清國は十年以前に中華民国と變り、從つて支那の社會狀態に於ける幾多の變革は眞に目まぐるしきものあり、時代人の思想に伴ふ言語の變遷著しきの事相は、竟に間に合せの訂正を以て満足すべきにあらざるに至りぬ、於是、余は是の責任の一端を事實の上にはさむが爲、本書の増訂改版を斷行したり、今出づる所のもの即ち是れなり。

二、改版の最たる目的は、時代に適應すべきに在るを以て先づ第一に蒐むる所の語種に増訂を加ふるに在り、就はち舊版中新時代に必要を感じざる多くの言語を除去して代ふるに現今必要の

ものを以てし、次いで時代人の索引検出に便せむが爲、全然攝列の順序を一變したり。

三、

舊版に比し、總頁數正一百を増加したれば、内容含む所の言語は増加したること、貳千貳百語加ふるに、舊版不急の部分、新規急需の種類に代へたるもの約五割に及びたれば、之れを數理の上より計算すれば、内容の餘分に充實せるもの實に七千語の上に出で、實際上の活用に當りては、其效用正さに舊版の二倍に近かるべきことを斷言し得らる。

四、

攝列の順序は邦語のアイウエオ順を用ゐたれ共、原來我が片假名を以て支那音を寫すことは甚だ無理なるの點少なからざるが故に、止むなく若干の符號を加へたる爲、順序を正しく徹底せしむるには頗る困難なる事情あり、従つて是れが墨守は眞に實際上不便なからしむる程度に甘んぜざる可らざるに止まりた

五、

り、索引者其の非學術的なるを咎め給ふ勿れ。

本書中に用ゐたる符號と其發音法を次に路説すべし。

エに(の符號を加へたるものは、エを出すよりも些しく口に丸みを加ふること。

オに(の符號を加へたるものは、少しく口に平みを加へてオを發出すること。

チに(を加へたるもの及びシに(を加へたるものは、舌尖を上齒根に接近せしめて出すチイ及びシイなり。

テ及びトに○を加へたるものは、舌尖と上顎との間に發するもの、ラリルロに濁音符を加へたるものは、舌尖に振動を帶ばしめて出すもの。

音尾のヌはローマ字のnを表はし、ンはローマ字のngに相當せしめたるもの。

四聲の稱は舊版に於て上平、下平と呼びたるものを陰平(舊の上平)、陽平(舊の下平)と改めたり。

六、本書に用ゐたる支那音は、從來我國にて慣用せられたる北京官話音を主とし、若干余が卑見を加味接排したり。

大正十年三月

石山福治述

### 片假名發音順檢索

數字の上に・印ある者は有氣音の符

ア (a).....一	ウエヌ (wēn).....三	カヌ (kan, k'an).....七六
アイ (ai).....一	ウオ (wo).....三	カン (kan, k'ang).....七六
アオ (ao).....一	ウオン (wēng).....三	ク (ku, k'u).....七六
アヌ (an).....一	エー (yeh).....三	ケイ (kei).....七六
アン (ang).....一	エヌ (yen).....三	ケ (ka, k'au, k'au).....七六
アル (erh).....一	(エヌ (en).....三	ケ (hen, k'ang, k'ang).....七六
イー (i).....一〇	オー (e).....三	コー (ko, k'o).....七六
イヌ (yin).....一〇	オウ (ou).....三	コウ (kou, k'ou).....七六
イン (ying).....一〇	カー (ka, k'a).....三	コウア (ku, k'ua).....七六
ウー (wu).....三	カイ (kai, k'ai).....三	コウアイ (kuai, k'uai).....七六
ウイ (wei).....三	カオ (kao, k'ao).....三	コウアム (kuan, k'uan).....七六

片假名發音順檢索

クワンン (kuang, k'uang)	100	シァホ (shao)	1111	シァウフ (shieh)	1222
クウヱ (ku, i, k'uei)	101	シァム (shan)	1113	シァン (hsiang)	122
クウヱク (kun, k'un)	101	シァン (shang)	1112	シァン (shên)	122
クン (kung, k'ung)	102	シヱ (hsi)	111	シァ (shé)	122
クノ (kuo, k'uo)	102	シヱア (hsia)	111	シァン (shêng)	122
	102	シヱアホ (hsiao)	111	シァ (shu)	122
ク (sa)	110	シヱアン (hsiang)	111	シァ (shua)	122
クヱ (sai)	111	シヱフ (hsieh)	111	シァフ (shuai)	122
クノ (suo)	111	シヱフク (hsien)	111	シァン (shuan)	122
クノ (san)	112	シヱン (hsin)	111	シァン (shuang)	122
クノ (sang)	112	シヱン (hsian)	111	シァン (shun)	122
クノ (shih)	112	シヱツ (hsü)	111	シァン (shuo)	122
クノ (sha)	111	シヱツク (hsü)	111		
クノ (shai)	111				

クノ (shou)	120	シン (sung)	111	シヱン (shin)	122
クノ (hsin)	122	シ (ta, t'a)	111	シヱン (shiao, ch'iao)	122
クノ (hsing)	122	シ (tai, t'ai)	111	シヱン (shiang, ch'iang)	122
クノ (ss'ü)	121	シ (tao, t'ao)	111	シ (chi, ch'ih)	111
クノ (su)	122	シ (tan, t'an)	111	シ (cha, ch'a)	111
クノ (sen)	122	シ (tang, t'ang)	111	シ (ch'ai, ch'ai)	111
クノ (so)	122	シ (ch, ch'ih)	111	シ (chao, ch'ao)	111
クノ (sou)	110	シ (cha, ch'a)	111	シ (chan, ch'an)	111
クノ (suu)	122	シ (ai)	111	シ (chang, ch'ang)	111
クノ (sui)	122	シ (ao)	111	シ (chi, ch'i)	111
クノ (sun)	110	シ (an)	111		
クノ (so)	111				
クノ (seng)	111				

チルルル (chuan, ch'uan)	チルル (chuan, ch'uan)	チルル (tsun, ts'un)
チルル (chuan, ch'uan)	チルル (tsun, ts'un)	チルル (tsun, ts'un)
チルル (ch'ü, ch'ü)	チルル (tsai, ts'ai)	チルル (tsou, ts'ou)
チルル (ch'ü, ch'ü)	チルル (tsai, ts'ai)	チルル (tseng, ts'eng)
チルル (ch'ün, ch'ün)	チルル (tsao, ts'ao)	チルル (tsung, ts'ung)
チルル (ch'ieh, ch'ieh)	チルル (tsan, ts'an)	チルル (ti, ti)
チルル (ch'ian, ch'ian)	チルル (tsang, ts'ang)	チルル (tiao, t'iao)
チルル (chun, ch'un)	チルル (tsai)	チルル (tiao, t'iao)
チルル (cho, ch'o)	チルル (tsu, ts'u)	チルル (tin)
チルル (chui, ch'ui)	チルル (tsen, ts'en)	チルル (t'ieh, t'ieh)
チルル (chou, ch'ou)	チルル (tsé, ts'é)	チルル (tien, tien)
チルル (chung, ch'ung)	チルル (ts'o, ts'o)	チルル (ting, t'ing)
チルル (chin, ch'in)	チルル (tsuan, ts'uan)	チルル (to, t'o)
チルル (ching, ch'ing)	チルル (tsui, ts'ui)	チルル (tsun, t'uan)

チルル (tui, t'ui)	チルル (niao)	チルル (nen)
チルル (tui, t'ui)	チルル (niang)	チルル (neng)
チルル (tou, t'ou)	チルル (nieh)	チルル (no)
チルル (tu, t'u)	チルル (nien)	チルル (nou)
チルル (tê, t'é)	チルル (nin)	チルル (ho)
チルル (teng, t'eng)	チルル (niu)	チルル (kai)
チルル (tung, t'ung)	チルル (niü)	チルル (hao)
チルル (na)	チルル (nüeh)	チルル (han)
チルル (nai)	チルル (ning)	チルル (chang)
チルル (nao)	チルル (nu)	チルル (fu)
チルル (nan)	チルル (nuan)	チルル (ha)
チルル (nang)	チルル (nung)	チルル (fan)
チルル (nai)	チルル (nei)	チルル (fang)



フイ (fei)	四九〇	ホオ (huo)	四九一	コエ (p'ieh, p'ien)	四九六
フ (エヌ) (fen)	四九六	ホオウ (hou)	四九三	コエヌ (p'ien, p'ien)	四九〇
フオ (fo)	四九七	ホワ (hu)	四九四	コエ (pin, pin)	四九一
フオウ (fou)	四九八	ホワイ (huai)	四九五	コン (ping, ping)	四九一
フオン (feng)	四九九	ホワヌ (huan)	四九六	フー (pu, pu)	四九〇
フイ (hai)	五〇〇	ホワン (huang)	四九七	フイ (pei, pai)	四九〇
フ (エヌ) (hen)	五〇一	パー (pa, pa)	四八〇	フ (エヌ) (p'ên, p'ên)	四九一
フ (エン) (heng)	五〇二	パイ (pai, pai)	四八二	ホー (po, po)	四九二
ホー (ho)	五〇三	パオ (pa, pa)	四八三	ホウ (p'ou)	四九三
ホウ (hu)	五〇四	パヌ (pa, pa)	四八四	ホ (オン) (p'eng, p'eng)	四九四
ホワイ (hui)	五〇五	パン (pang, pang)	四八五	マ (ー) (ma)	四九五
ホワイヌ (hun)	五〇六	ピー (pi, pi)	四八六	マイ (mai)	四九六
ホワン (huang)	五〇七	ピオ (piao, piao)	四八七	マオ (mao)	四九七

ク (クワン) (quan)	四九八	モ (オン) (meng)	四九七	ラオ (lao)	四九六
ク (ン) (uang)	四九九	ヤー (ya)	四八八	ラヌ (lan)	四九三
ク (ー) (mi)	五〇〇	ヤオ (yao)	四九〇	ラン (lang)	四九三
ク (ン) (niao)	五〇一	ヤン (yang)	四九三	リー (li)	四九四
ク (ン) (mieh)	五〇二	ユア (yan)	四九四	リア (lia)	四九五
ク (ン) (mien)	五〇三	ユイ (yi)	四九六	リアオ (liao)	四九六
ク (ン) (min)	五〇四	ユイヌ (yin)	四九七	リアン (liang)	四九七
ク (ン) (ming)	五〇五	ユエ (yieh)	四九八	リウ (liu)	四九八
ク (ー) (mu)	五〇六	ユオウ (you)	四九九	リエ (lieh)	四九九
ク (ー) (mei)	五〇七	ヨ (yo)	四九〇	リエヌ (lien)	四九九
ク (ン) (men)	五〇八	ユワン (yung)	四九一	リス (liu)	四九九
ク (ー) (mo)	五〇九	ラー (la)	四九二	リユイ (liu)	五〇〇
ク (ー) (mou)	五一〇	ライ (lai)	四九三	リン (ling)	五〇一

ルー(lu)	………	五五
レイ(lei)	………	五七
ロー(loi)	………	五八
ロウ(rou)	………	五九
ロウアヌ(rouan)	………	六〇
ロウイヌ(rouinu)	………	六一
ロウノ(rouno)	………	六二
ロオ(loo)	………	六三
ロオン(rouon)	………	六四
ラオ(lao)	………	六五
ラヌ(lanu)	………	六六
ラノ(lano)	………	六七
ラウ(rou)	………	六八
ラウアヌ(rouan)	………	六九
ラウイヌ(rouinu)	………	七〇
ラウノ(rouno)	………	七一
ラオ(loo)	………	七二
ラオン(rouon)	………	七三
ラノ(lano)	………	七四
ラヌ(lanu)	………	七五
ラウ(rou)	………	七六
ラウアヌ(rouan)	………	七七
ラウイヌ(rouinu)	………	七八
ラウノ(rouno)	………	七九
ラオ(loo)	………	八〇
ラオン(rouon)	………	八一
ラノ(lano)	………	八二
ラヌ(lanu)	………	八三
ラウ(rou)	………	八四
ラウアヌ(rouan)	………	八五
ラウイヌ(rouinu)	………	八六
ラウノ(rouno)	………	八七
ラオ(loo)	………	八八
ラオン(rouon)	………	八九
ラノ(lano)	………	九〇
ラヌ(lanu)	………	九一
ラウ(rou)	………	九二
ラウアヌ(rouan)	………	九三
ラウイヌ(rouinu)	………	九四
ラウノ(rouno)	………	九五
ラオ(loo)	………	九六
ラオン(rouon)	………	九七
ラノ(lano)	………	九八
ラヌ(lanu)	………	九九
ラウ(rou)	………	一〇〇
ラウアヌ(rouan)	………	一〇一
ラウイヌ(rouinu)	………	一〇二
ラウノ(rouno)	………	一〇三
ラオ(loo)	………	一〇四
ラオン(rouon)	………	一〇五
ラノ(lano)	………	一〇六
ラヌ(lanu)	………	一〇七
ラウ(rou)	………	一〇八
ラウアヌ(rouan)	………	一〇九
ラウイヌ(rouinu)	………	一一〇
ラウノ(rouno)	………	一一一
ラオ(loo)	………	一一二
ラオン(rouon)	………	一一三
ラノ(lano)	………	一一四
ラヌ(lanu)	………	一一五
ラウ(rou)	………	一一六
ラウアヌ(rouan)	………	一一七
ラウイヌ(rouinu)	………	一一八
ラウノ(rouno)	………	一一九
ラオ(loo)	………	一二〇
ラオン(rouon)	………	一二一
ラノ(lano)	………	一二二
ラヌ(lanu)	………	一二三
ラウ(rou)	………	一二四
ラウアヌ(rouan)	………	一二五
ラウイヌ(rouinu)	………	一二六
ラウノ(rouno)	………	一二七
ラオ(loo)	………	一二八
ラオン(rouon)	………	一二九
ラノ(lano)	………	一三〇
ラヌ(lanu)	………	一三一
ラウ(rou)	………	一三二
ラウアヌ(rouan)	………	一三三
ラウイヌ(rouinu)	………	一三四
ラウノ(rouno)	………	一三五
ラオ(loo)	………	一三六
ラオン(rouon)	………	一三七
ラノ(lano)	………	一三八
ラヌ(lanu)	………	一三九
ラウ(rou)	………	一四〇
ラウアヌ(rouan)	………	一四一
ラウイヌ(rouinu)	………	一四二
ラウノ(rouno)	………	一四三
ラオ(loo)	………	一四四
ラオン(rouon)	………	一四五
ラノ(lano)	………	一四六
ラヌ(lanu)	………	一四七
ラウ(rou)	………	一四八
ラウアヌ(rouan)	………	一四九
ラウイヌ(rouinu)	………	一五〇
ラウノ(rouno)	………	一五一
ラオ(loo)	………	一五二
ラオン(rouon)	………	一五三
ラノ(lano)	………	一五四
ラヌ(lanu)	………	一五五
ラウ(rou)	………	一五六
ラウアヌ(rouan)	………	一五七
ラウイヌ(rouinu)	………	一五八
ラウノ(rouno)	………	一五九
ラオ(loo)	………	一六〇
ラオン(rouon)	………	一六一
ラノ(lano)	………	一六二
ラヌ(lanu)	………	一六三
ラウ(rou)	………	一六四
ラウアヌ(rouan)	………	一六五
ラウイヌ(rouinu)	………	一六六
ラウノ(rouno)	………	一六七
ラオ(loo)	………	一六八
ラオン(rouon)	………	一六九
ラノ(lano)	………	一七〇
ラヌ(lanu)	………	一七一
ラウ(rou)	………	一七二
ラウアヌ(rouan)	………	一七三
ラウイヌ(rouinu)	………	一七四
ラウノ(rouno)	………	一七五
ラオ(loo)	………	一七六
ラオン(rouon)	………	一七七
ラノ(lano)	………	一七八
ラヌ(lanu)	………	一七九
ラウ(rou)	………	一八〇
ラウアヌ(rouan)	………	一八一
ラウイヌ(rouinu)	………	一八二
ラウノ(rouno)	………	一八三
ラオ(loo)	………	一八四
ラオン(rouon)	………	一八五
ラノ(lano)	………	一八六
ラヌ(lanu)	………	一八七
ラウ(rou)	………	一八八
ラウアヌ(rouan)	………	一八九
ラウイヌ(rouinu)	………	一九〇
ラウノ(rouno)	………	一九一
ラオ(loo)	………	一九二
ラオン(rouon)	………	一九三
ラノ(lano)	………	一九四
ラヌ(lanu)	………	一九五
ラウ(rou)	………	一九六
ラウアヌ(rouan)	………	一九七
ラウイヌ(rouinu)	………	一九八
ラウノ(rouno)	………	一九九
ラオ(loo)	………	二〇〇
ラオン(rouon)	………	二〇一
ラノ(lano)	………	二〇二
ラヌ(lanu)	………	二〇三
ラウ(rou)	………	二〇四
ラウアヌ(rouan)	………	二〇五
ラウイヌ(rouinu)	………	二〇六
ラウノ(rouno)	………	二〇七
ラオ(loo)	………	二〇八
ラオン(rouon)	………	二〇九
ラノ(lano)	………	二一〇
ラヌ(lanu)	………	二一一
ラウ(rou)	………	二一二
ラウアヌ(rouan)	………	二一三
ラウイヌ(rouinu)	………	二一四
ラウノ(rouno)	………	二一五
ラオ(loo)	………	二一六
ラオン(rouon)	………	二一七
ラノ(lano)	………	二一八
ラヌ(lanu)	………	二一九
ラウ(rou)	………	二二〇
ラウアヌ(rouan)	………	二二一
ラウイヌ(rouinu)	………	二二二
ラウノ(rouno)	………	二二三
ラオ(loo)	………	二二四
ラオン(rouon)	………	二二五
ラノ(lano)	………	二二六
ラヌ(lanu)	………	二二七
ラウ(rou)	………	二二八
ラウアヌ(rouan)	………	二二九
ラウイヌ(rouinu)	………	二三〇
ラウノ(rouno)	………	二三一
ラオ(loo)	………	二三二
ラオン(rouon)	………	二三三
ラノ(lano)	………	二三四
ラヌ(lanu)	………	二三五
ラウ(rou)	………	二三六
ラウアヌ(rouan)	………	二三七
ラウイヌ(rouinu)	………	二三八
ラウノ(rouno)	………	二三九
ラオ(loo)	………	二四〇
ラオン(rouon)	………	二四一
ラノ(lano)	………	二四二
ラヌ(lanu)	………	二四三
ラウ(rou)	………	二四四
ラウアヌ(rouan)	………	二四五
ラウイヌ(rouinu)	………	二四六
ラウノ(rouno)	………	二四七
ラオ(loo)	………	二四八
ラオン(rouon)	………	二四九
ラノ(lano)	………	二五〇
ラヌ(lanu)	………	二五一
ラウ(rou)	………	二五二
ラウアヌ(rouan)	………	二五三
ラウイヌ(rouinu)	………	二五四
ラウノ(rouno)	………	二五五
ラオ(loo)	………	二五六
ラオン(rouon)	………	二五七
ラノ(lano)	………	二五八
ラヌ(lanu)	………	二五九
ラウ(rou)	………	二六〇
ラウアヌ(rouan)	………	二六一
ラウイヌ(rouinu)	………	二六二
ラウノ(rouno)	………	二六三
ラオ(loo)	………	二六四
ラオン(rouon)	………	二六五
ラノ(lano)	………	二六六
ラヌ(lanu)	………	二六七
ラウ(rou)	………	二六八
ラウアヌ(rouan)	………	二六九
ラウイヌ(rouinu)	………	二七〇
ラウノ(rouno)	………	二七一
ラオ(loo)	………	二七二
ラオン(rouon)	………	二七三
ラノ(lano)	………	二七四
ラヌ(lanu)	………	二七五
ラウ(rou)	………	二七六
ラウアヌ(rouan)	………	二七七
ラウイヌ(rouinu)	………	二七八
ラウノ(rouno)	………	二七九
ラオ(loo)	………	二八〇
ラオン(rouon)	………	二八一
ラノ(lano)	………	二八二
ラヌ(lanu)	………	二八三
ラウ(rou)	………	二八四
ラウアヌ(rouan)	………	二八五
ラウイヌ(rouinu)	………	二八六
ラウノ(rouno)	………	二八七
ラオ(loo)	………	二八八
ラオン(rouon)	………	二八九
ラノ(lano)	………	二九〇
ラヌ(lanu)	………	二九一
ラウ(rou)	………	二九二
ラウアヌ(rouan)	………	二九三
ラウイヌ(rouinu)	………	二九四
ラウノ(rouno)	………	二九五
ラオ(loo)	………	二九六
ラオン(rouon)	………	二九七
ラノ(lano)	………	二九八
ラヌ(lanu)	………	二九九
ラウ(rou)	………	三〇〇
ラウアヌ(rouan)	………	三〇一
ラウイヌ(rouinu)	………	三〇二
ラウノ(rouno)	………	三〇三
ラオ(loo)	………	三〇四
ラオン(rouon)	………	三〇五
ラノ(lano)	………	三〇六
ラヌ(lanu)	………	三〇七
ラウ(rou)	………	三〇八
ラウアヌ(rouan)	………	三〇九
ラウイヌ(rouinu)	………	三一〇
ラウノ(rouno)	………	三一〇

増訂 支那語辭彙字畫索引 (數字は頁數を示す)

了	力	十	入	人	八	二	乙	一	一畫				
五七	五五	二六	五六	五八	四〇	四〇	九〇	九〇					
三	三	七	七	又	九	几	丁	刁	刀	乃	一畫		
二二	二二	三六	三三	三五	三八	三九	四〇	四〇	三七	四九			
口	寸	才	士	士	工	干	子	千	大	丈	川	一畫	
五八	五九	五九	四二	四二	四二	四二	四二	四二	三三	三三	三三		
弓	亡	丸	凡	女	小	山	上	下	巳	乞	巳	尸	一畫
一〇九	五九	五九	四二	四二	四二	四二	四二	四二	三三	三三	三三	二五	
月	日	日	勻	又	久	也	弋	丫	刃	夕	一畫		
五二	五二	五二	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	
天	太	少	公	凹	凸	尹	引	冗	尤	允	云	元	一畫
四〇	三三	二四	二〇	五〇	九〇	九〇	九〇	九〇	五〇	五〇	五〇	五〇	

半末未奴奶且匪且宄穴扔打扒右召

四〇 五〇 四〇 五〇 四〇 五〇 三〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 二〇 一〇

目疋丙囚皮史矢失央冬冰永牙本平

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

刊甘 卡 民母册甩用白由甲申四田

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇

孕幼玉立正左去巨丘出主世市示古

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇

北瓦令乍互弗弁外卯布功必以乏无

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇

企伊休件伐伏仲仰 兵 包札犯尼

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇

六畫

戈木仇化仍仁什及友夭火文父夫犬

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

王丑内勾匀勿午丰支之毛予牛手水

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

扎中欠匹片氏方分今反仄尺不六止

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

巴切凶升心丹歹五毋幻尸孔井斤爪

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

可见仙仔仕付代他仗 弔屯斗比

五畫

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇

占另加叮呀叱只 石 斥台叨司句叩

三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 二〇 一〇 二〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇 五〇 三〇 四〇





性怕庚帖征往佛彼抱拍抵拔拇 披

二 〇 八 〇 三 五 四 四 四 四 二 〇 五 二 四 五

姐姊坤坡坦坭屨屍屈屈居扁怡怪怯

二 〇 五 二 三 四 五 四 五 二 七 三 二 三 二 五 二 六

杯松枕板枉委妻妾妹妯姑姒始妬姓

五 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

忠忿炎炙炕炊炒果杷枝杭朽杵枇林

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

育肯肩青 長 毒表限陋叔受取念忽

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

牀狀具昇昆昏旺易昌明股肥服肢胃

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

八

九

刻 制舍命金供佳侃伴侍使侈依侷

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

泣河波泛泄沿沾油沾治泡刺到刮刷

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

府店底空穹宗官宙宜定 宛 法泥沸

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

呻味吟咐呼咂呢享尙周咎知京盲夜

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

拙拉茂茅苗菜若英茄苦苟苦苔芽呀

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

拂拚拆抹押拒拖非拘抬拐拈拗抽招

二 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

八

八



皆 甚 奪 某 泉 勇 厚 厘 界 畏 軍 重 虛

叙 眨 盼 眈 面 眉 看 省 負 貞 首 書 頁 直

威 威 訂 計 計 紕 紅 約 勁 臥 勐 勅 段 叛

矜 姿 咨 殃 癸 契 奏 美 食 孤 孩 狠 狐 狗 狡

風 南 幽 垂 歪 韭 亞 壺 屹 虹 缸 赴 臥 封 耐

門 冠 施 柔 竿 骈 帥 前 建 毡 拜 牲 殆 虐

柚 柄 相 柏 柑 柳 怒 怨 怠 思 怎 忽 急 点 炭

春 昨 昭 昧 映 架 查 柵 柱 樞 柳 枳 枊 柘 枯

肺 胞 胸 胃 背 胥 胃 胃 骨 昂 星 曷 是 音 香

降 除 陣 秋 科 皇 珊 玻 珍 故 政 胡 胖 胆 胎

砍 迫 迤 迭 述 卸 卽 郵 耶 郡 郎 院 陞 陞 陝

盆 盈 扁 度 痒 疥 疫 疤 衫 祇 祈 砌 砂 研



悄悔悅悟唇員哥哦喃唻唵唆哼咏啊

二九 四七 五二 七三 五三 五三 五三 四七 一七 一七 二六 四六 二九 一

恣烈烘烟烙烤狠狸狹展扇屐娘娥悍

三三 七二 四九 四九 一七 七三 五三 一三 二六 二六 二七 四三 七三 四四

框桃 校 桅株核栖榔栢恩息恙恐恕

二二 三三 二七 一四 一四 三三 四三 一三 四三 四三 一三 二四 二〇 一七

肫晏晉效致班珠案桑栗桌柴桐桂根

三三 五三 五三 一四 二四 四九 三三 一三 二五 四三 四三 四三 二〇 一〇

脆脈脇 朔 膀脬咽脂腴朕响晒時敖

三九 五三 一五 二〇 一五 九 四 四 四 〇 三 三 二九 二二 二六 五

祝乘秧稗穰租秕迹迷追逃逆送退脊

三六 三三 五三 三三 一八 七 五三 二七 五三 三三 三〇 四一 二二 四二 二九

倘個借倒俱候倣俺侮脩倭倍倚

十畫

二九 五三 三九 三三 四三 四三 六 一六 〇 四三 五三 三

凄凍凉凋准剖剔剜剛俯倆棒條倦倡

三三 四三 四九 四九 五三 五三 四三 一七 四 四三 四三 〇 四六 三三 三

莉莖莢萁荷浸浮流涕涎海浩酒消浴

四三 二 二 一五 四三 四三 四三 五三 一七 四三 四三 〇 二 四 二 四 二

捐挾 捆插拈拈拈埃 埋 葶莫茶莊

三三 二九 七 一五 二九 三 二〇 一八 三 五三 五三 四三 四三 三

家寇 容 宴徐徒振捕捉挨消捋挫挺

三三 二 四九 五三 五三 一六 四三 三三 五三 四三 二 二四 五三 四三 四三

哨唉訣座庭庫席唐衰衷高窄穿害宰

二二 三 四三 三 四九 九 一三 三三 一八 四三 四 五三 三三 四三 四三

缺矩殺特粉料罍奘哭笑筭隼隻套益

四 美 三 三 四 五 五 五 五 一 二 三 三 三 三 三

勉博畝師務配軒跋站股殉殊旅能孫

五 五 五 二 五 一 二 二 一 一 一 一 一 一 一

韋閃羌冥兼氣叟鬼原恭旁栽起

十一畫

四 二 三 五 五 五 二 二 一 一 一 一 一 一 一

副剩做 借 偏 側 偷 假 健 僂 偶 值 停

四 二 三 三 五 五 三 三 四 一 三 三 一 一 一

悽惆怙悞悞情悒惜 得 術 御 徒 從 剝

三 三 四 四 五 五 一 一 一 一 一 一 一 一 一

淺淋涼淨淫淹 濶 深 淘 淡 帳 勘 帷 惟

三 三 三 三 三 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

部陪陸陷陳陶陰匣破砧砧砧神祠祖

五 五 五 一 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

省留甜臭貢眩眠病疼疾疹症疖疲卻

五 五 五 四 四 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一

約紗納紛紋 純 級 紡 射 躬 耿 恥 恥 耻

五 五 三 四 四 四 二 一 一 一 一 一 一 一 一

翁翅扇訊記討託訖訓蚊蚤蚋索素紙

四 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

夏島烏豺耙耗耕峰峯豈豈匪匿財弱

一 二 三 三 四 四 四 四 二 二 二 二 二 二

差 泰 羔 拳 針 釘 爹 釜 拿 倉 余 桌 馬

五 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

梯梢梳桶桿枹崎嵌崩崗堂堅基埠域

三九 二四 一八 四七 七 二二 二七 〇七 五七 九 二七 二九 二七 四六 五九

竟章產爽麥移梓梨梁械梭梅梧梔楨

三六 六一 六一 一八 三三 〇 三三 三三 三六 一五 二七 三三 三三 二四 〇一

脣晝晨晰哺肺將球琉理現望毫烹商

三三 三三 三三 一三 三〇 三三 二〇 三〇 三〇 一六 三〇 四〇 三三 二六

覓責貧貨食真眷睚眼眯眇脫朗脚脖

三三 三九 〇一 三三 三三 三三 三三 〇一 三三 三三 二二 三三 三三 三三 三三

悉惠患旌旋族教救救敏敗販頂頃規

一三 三三 四八 三三 一三 三三 三三 三三 一六 三三 四八 三三 三三 三三 三三

逝逝透造逢途逗逞通這速連道悠悠

一〇一 三三 四八 三三 四九 四〇 四七 三三 三三 三六 二〇 三三 一四 三三 三三

掀掖撥探掉掌混涸淚涉涵添淑清清

一五 四 〇 三三 三三 二七 四九 四九 五九 二九 四〇 一八 三三 三三

捨授捺掛挽挽掄掠招掃接掏推掘掩

一七 一七 四六 五三 五三 五〇 五〇 六二 二二 三三 三三 四三 三三 三三

宿寅猜猛猪揜揜揜採捧掙描捫排

〇五 〇五 六 三九 三三 三三 四三 四三 三〇 三〇 三〇 三〇 三三 三三 三三

莒菠菓莽麻庶庸鹿康庵室寄寂密寇

三三 三三 一〇 三三 三三 一六 三三 三三 三三 六 三三 三三 三三 三三 三三

啐唾吮嘴够苟菊菽菱菱莸葉菜萍菩

三三 三三 一〇 〇 〇 三三 三三 一六 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三

堆培婉婉姨婚婦婢娼娶婆售啓唱

四三 三三 三三 四九 五七 四七 四八 四八 四九 三三 三三 三三 一七 三三 三三

鉤張毯羞雪茸屏閉問園國鹵匾飛戚

三三三二一六〇一七哭五四四四一〇五哭九三三

傳備 殼硃常率帶習翎斜釵鈞鈞

十二畫

哭三六三三三三三三三三三三三三三三三三三三

愉懶掣割創厦厨雁傘條傍傢傲偉傀

五三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

減測滋湖湮游街循復帽幅惱慌恹惶

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

猶粵尊 尋 渠湛湯渴渾湊渡滑湧渣

五五五六一六一三三三三三三三三三三三三三三三三

喻喘噎喧喫喂塔堡壻堪場堵堤猴猩

五三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

野畦略都郵隊階陽隄隆疵痕痒痊痔

四三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

祭紮絆終絃紹組紳紬細累畢異魚專

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

袈袖被袍祥 粘 粗彩 參 巢粟

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

蚱蜢蛋蛆蛇符笛笙篴簪笞笨第衆袋

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

軟欲欸耽舵船訟設訛許訪詎彪處虛

五五五三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

盛 盒剪鳥鳥 匙 乾 執瓶勒動斬

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

着善發登壹痘痣瘰癧痛痢廂廊窗窳窳

三三 二七 四三 一七 四七 四〇 四三 四三 一〇 三三 三三 二七 二七

會智替晦晚晾晴婿媒媚屠犀犁牽美

二八 二四 五五 四六 五九 五九 二五 三三 三三 三三 三三 二五 二五

脾腋勝庵腑腕腔膜脹脂最量景暑普

四六 四六 一三 一四 五五 三二 四三 三三 九 六四 六四 二〇 二〇

貴買貫質費賀貼貯貽脩斯腎期朝

二〇 三〇 九 三三 四三 四三 三三 二 二〇 二〇 三〇 三〇 三〇 三〇

琢瑛斑欺欺做做敬敦散敢預須順貸

三三 三三 四九 三三 二〇 二四 四三 四三 二二 二〇 四三 二五 二五 三六

栽絨絨絨絨統給絡結絕絲絮紫毳琥

三〇 三〇 五九 四三 二八 四三 八〇 五三 二九 二〇 三〇 三〇 一六 四四 四六 四六

粥強舒皓喬喜喇唧喟喊啼嗒喝喚啞

四三 二五 一八 四三 六六 二二 五七 六七 一四 四三 三三 四三 四三 四三

提搵捏揀換揆捺搭措揣揚揖握捲

三三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三

棺棧棒植椅棉柳椒揪捷撥捶揉揮揭

九 三三 四三 六六 三三 五七 五七 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三

稅稗稍程稀集棠基森棲棋棹棍棵棟

二五 二五 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三

菲葯著募葡葛董黃葺葦萬蓋葵黍

三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三

窵寒寔寓富惑惠悲慮葱葱落菲

五〇 四三 二七 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三 四三

閑閒間閏悶開穀雲與奢盜肅肅象

一美 一美 三九 壹 六 九 九 七 三 三 三 一 五

場塘衙衙微傑備 傳 僅傷催債

三 三 五 五 六 九 九 三 三 三 七 六 五 三

十三畫

摺搗榻搗榻搏摸搖塗塑塚塢塩地

二 三 三 三 二 三 四 五 四 四 二 三 三 三 五 五

梭椿植植楊楮楮構搓搔捩搬搶搜損

五 三 三 三 五 四 三 六 三 二 三 九 二 三 三 三

鄙鄙喞喞嗜嗔嗟噪鳴嗎稔稠禁椰楔

四 四 八 三 二 二 三 二 四 五 六 五 三 三 三 三

溜 溺 熙熙煮煎糊煖煖煤煙塋際爺

五 四 三 一 三 三 九 四 四 五 三 四 三 三 三

十二、十三

二五

雷竣端竦策筆筋等筐筍答筒筏殘幾

三 三 三 三 三 四 三 三 三 三 三 三 三 三 三

勞焙焚毯掌辦甦甥番畫軸牌單辜童

五 五 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

趁遂逸過週進雀雄雁焦焉爲黑無然

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

註詞詫詐評確砢砢砢砢砢硬 跌 跑 超

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

鄉 隔 蚰 蛛 蛤 裂 袴 袱 袷 視 診 証 訴

一 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

貂就既報棘棗栗粧煙鈍鉗鈕欵鈔鈞

五 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

十二

二四

琴瓊瑞聖碗碰碑碎羣群裙裡補

琴 一 瓊 一 瑞 一 聖 一 碗 一 碰 一 碑 一 碎 一 羣 一 群 一 裙 一 裡 一 補

絹聘誇該詭詳話詩詣誑詢試誠蛾蜂

絹 一 聘 一 誇 一 該 一 詭 一 詳 一 話 一 詩 一 詣 一 誑 一 詢 一 試 一 誠 一 蛾 一 蜂

鼓靖新掛幹解肄肆幃幌愧慄綆綉經

鼓 一 靖 一 新 一 掛 一 幹 一 解 一 肄 一 肆 一 幃 一 幌 一 愧 一 慄 一 綆 一 綉 一 經

亂兜鳧電零電雷當農舅毀殿般

亂 一 兜 一 鳧 一 電 一 零 一 電 一 雷 一 當 一 農 一 舅 一 毀 一 殿 一 般

粮跟路踮跨際跡跳蹴跪靴敷號馳

粮 一 跟 一 路 一 踮 一 跨 一 際 一 跡 一 跳 一 蹴 一 跪 一 靴 一 敷 一 號 一 馳

逼道遇運道蓋罩蜀罪勤勦勦躲梁梗

逼 一 道 一 遇 一 運 一 道 一 蓋 一 罩 一 蜀 一 罪 一 勤 一 勦 一 勦 一 躲 一 梁 一 梗

裝裔喪棄稟齊雍準溫滙滅源溼渴溝

裝 一 裔 一 喪 一 棄 一 稟 一 齊 一 雍 一 準 一 溫 一 滙 一 滅 一 源 一 溼 一 渴 一 溝

嫁嫉嫌媽接痴痲痰厥廉窩窟塞冥奪

嫁 一 嫉 一 嫌 一 媽 一 接 一 痴 一 痲 一 痰 一 厥 一 廉 一 窩 一 窟 一 塞 一 冥 一 奪

載愧歲感意愁愆慈愚惡愈想媳嫂

載 一 愧 一 歲 一 感 一 意 一 愁 一 愆 一 慈 一 愚 一 惡 一 愈 一 想 一 媳 一 嫂

腮腳腥腰腸盟暇暗暖會暈暑戩戩義

腮 一 腳 一 腥 一 腰 一 腸 一 盟 一 暇 一 暗 一 暖 一 會 一 暈 一 暑 一 戩 一 戩 一 義

頤頤賊賂資賃買鼎督賡睡睜膈腹腫

頤 一 頤 一 賊 一 賂 一 資 一 賃 一 買 一 鼎 一 督 一 賡 一 睡 一 睜 一 膈 一 腹 一 腫

裏蓑蓋蒜蓆葦蒼榴墓幕夢蒸煩頑預

裏 一 蓑 一 蓋 一 蒜 一 蓆 一 葦 一 蒼 一 榴 一 墓 一 幕 一 夢 一 蒸 一 煩 一 頑 一 預

歌謳嘯噉嘆嗽嘯摺摘摺擇撲墜塾填  
五 七 三 五 三 三 五 七 三 六 五 五 五 五

稿楞模榻榴榛槍檣楫槐植殞鳴嘉嘔  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

慘慚慎慟熬熊熄焜煽榮稱種榜榨  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

酷醇酸駁馱馱奩奪獎瑰瑪瓊慢慢樞  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

彰髣貌甍雌截鳳瘋瘡瘋駭態骷舔  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

網綱綫綾綻維綿綽緋翡翠豎竭端辣  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

猿較歇飲飯飭鉤鈿鈴鉛篋筵越遍遊  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

關關園圃圍嗣與鼠禽勢愛壽業蒙獅  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

滯僕僞像僥僚僧僑 酬艇矮禍雉  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

十四畫

漕滿滾漁漚漆滴漢漲滲漏漂漸演  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

塵糜廣腐慶膏豪膏幕暮慕蔓薰蔭蔭  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

境嶽嫖嫡屢厮厭雀寧寡賓寬蜜察寥  
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五



德	價	儉	儀	儂	億	僵	閣	闕	聞	閨	團	圖		
四三	三六	三〇	三〇	三三	三五	三九〇	四	五八	四	四〇	四三	四〇		
潤	蕉	蕭	蕎	蕊	葢	劃	歡	數	敵	微	術	衝		
五八	三三	四〇	三八	五八	五八	四二	四二	四七	一八	一八	三六	四二		
撫	撓	撲	撈	撒	溯	澆	潭	潔	潮	溢	澄	潑	蕩	湧
四九	四九	五九	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
撰	撞	撮	撕	摠	撤	揮	搥	搥	搥	搥	搥	搥	搥	搥
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
瞧	嘮	噴	嘻	噎	歐	樞	稿	稻	樓	樣	樑	標	橫	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
膛	慣	慨	惘	懂	養	鞞	羹	瑩	熨	熟	熟	墨	魯	嘍
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

箒	算	箕	監	署	置	頗	傾	睭	賑	睭	腿	精	粽	綱
四	二九	三六	三九	八五	四	五	五	一七	三	四	四	三	三	三
祿	褂	棧	裳	製	聚	裏	箋	厲	削	劃	筍	箇	筍	管
五	三	三	一	四	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
踈	趕	遠	遙	遞	遞	違	遣	適	適	適	適	適	適	適
二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
誌	誠	誦	誘	誣	說	誥	認	語	蜈	蝸	碧	磁	磔	踈
四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
輕	輔	飾	飼	飽	鉸	銀	銜	銜	警	獄	誑	誕		
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三		
疑	赫	對	犒	虧	堯	需	臺	旗	薈	魂	魁	鼻	暢	夥
二	四	四	六	一	四	一	三	三	三	三	三	三	三	三



親	耨	糕	糖	禱	褥	裨	隸	禦	整	繁	縣	緝	緞	緣
三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
論	詭	諸	諫	誼	諡	諳	謁	謂	謀	諸	諺	隱	豫	鞞
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
膨	膳	曉	腐	奮	獲	獨	螢	螞	螞	靜	靛	盧	諷	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
篤	築	篩	篙	篆	賴	顛	顛	頰	頭	賢	颯	賭	瞞	膩
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
端	趨	邁	遵	選	遠	遺	遼	遷	鴛	鳴	鴉	駝	默	駱
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
器	豎	龍	醇	龜	醒	輒	戰	艙	聯	輸	輓	輸	蹂	踴
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五

擇	擠	搨	搨	揜	揜	揜	揜	懈	憶	夢	憐	懊	濃	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
暮	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
燈	燒	燃	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭	燭
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
稽	概	概	概	概	概	概	概	概	概	概	概	概	概	概
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
雲	窿	窺	寫	憲	屨	欵	磨	磨	辦	辦	曆	歷	穩	積
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
縛	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑	縑
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五



胸醜羶難勸噉蘋蕙蘇蘆藥磨龍懲鴻

四三 二七 二七 四三 五三 四二 四三 五三 五八 五三 五三 一四

繕贊韻攢贈願頹類類懶懷獸飽駮辭

二七 五三 五三 四九 六八 五三 二四 五八 三三 四三 四七 五三 六一 五三

躡躡鵠鶴臙麗癡嚴覈鏢鏗羅繩釋繪

二七 六八 七六 六八 五三 五三 四三 四三 五三 五三 五八 二八 五三 四三

餽饒餒鏈鎮鏡鏗鏃礙礦爆燼驛騙簽

一四 五三 三三 五三 五三 六八 六八 一四 四三 五三 五三 五三 五三

蹊厥踟踟襖襟禱識譏證警譜蟹蟻蚰

六八 四三 五三 四三 五三 五三 二八 二八 五三 五三 一四 三三 三三

攔 二十畫 颯邊疆轄鬚璽舉俯倏箝簾盤

五三 三三 四九 六八 六八 四三 三三 三三 四三 五三 五三 五三 五三

魏糧蟬蟲斃釐壁醫鯨燠醬蔞藥藝藤

四三 五三 二七 四三 四三 五三 五三 七三 三三 六八 五三 五三 四三 四三

題職瞠矇瞻朦曠斷織繞絳繡緝績熈

五三 五三 五三 五三 五三 二四 四三 四三 五三 五三 五三 五三 五三 一七

闌關闌簡翹壘豐禮瓊麗殯軀額頤顏

五三 五三 四三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三

鐙鎌雜戮雜離雙甕癩瘕癖蟬歸隴

五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三

轉嚮霧覆覆輓鞦蹤蹟謳謹謬鎗鎖

五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三

攀壞檻擷擻撩 十九畫 髻鬆鵝鵠隰騎輓

四三 四三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三 五三

餓 餓 饌 饌 饌 餓 餓 餓 餓 餓 餓 餓 餓 餓 餓 餓

二二 一〇四 三三 天三 天五 四〇 三四 天六 天八 一五〇 一五〇 四四 四四 天三

灘 攤 辯 辯 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵 敵

二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

羅 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽 聽

天二 天八 天七 天三 天〇 天二 天三 天二 天二 天二 天二 天二 天二 天二 天二

髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓 髓

三〇 四九 三五 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九

響 籤 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡 癡

天八 三四 三五 天三 三五 三五 三五 三五 三五 三五 三五 三五 三五 三五

籬 歷 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀 觀

天六 天四 九七 三三 天三 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪 簪

天五 天三 天四 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三

機 辦 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼 繼

天五 天五 天七 天六 天二 天五 天三 天四 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三

瞻 顧 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦

二七 天三 天七 天〇 天六 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三

餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒 餒

天四 天四 天六 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇 天〇

櫻 權 欄 賦 齡 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦 賦

天〇 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三

樹 屬 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼 嚼

天六 天五 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三 天三



哀<sup>アイ</sup> | 告<sup>カウ</sup> | 懇<sup>ケン</sup> | 啓<sup>キ</sup> | 召<sup>シヨウ</sup> | 杖<sup>チヤウ</sup> | 子<sup>シ</sup> | 號<sup>ハウ</sup> | 禮<sup>レイ</sup> | 餓<sup>ガウ</sup> | 挨<sup>アイ</sup>

哀しき、哀しみ、哀しむ  
 嘆願する、憐愍を乞ふ  
 嘆願する、哀情を訴へて願ふ  
 喪中に用ふる書翰文の句  
 皇帝崩御の告示文  
 葬儀の時喪主の用ふる杖  
 母なき小兒  
 かなしくさげふ  
 喪事に際しての贈物、おくや  
 みの贈物  
 接近する、近よる、密着する  
 飢える、かつへる

靠<sup>カウ</sup> | 殺<sup>シヤク</sup> | 打<sup>ダク</sup> | 擠<sup>シ</sup> | 肩<sup>ケン</sup> | 着<sup>シヤク</sup> | 金<sup>キン</sup> | 次<sup>シ</sup> | 村<sup>ツラ</sup> | 頭<sup>トウ</sup> | 保<sup>ボウ</sup>

たよる、依頼する、よりかゝる  
 殺さるゝ  
 打たるゝ、なぐらるゝ、叩か  
 るゝ  
 混雜する、雜沓する、こみあふ  
 肩のすれあふ、混雜する  
 接近して、近よりて  
 金 朱に交はれば赤くなる  
 順々に、次から次へ  
 隣村、罵らるゝ  
 旨い事、儲け口  
 連名して保證する

罵<sup>マウ</sup> | 名<sup>メイ</sup> | 門<sup>メン</sup> | 磨<sup>モウ</sup> | 玉<sup>ユウ</sup> | 埃<sup>アイ</sup> | 唉<sup>アイ</sup> | 矮<sup>アイ</sup>

罵らるゝ、罵倒さるゝ  
 氏名順に  
 戸毎に、門並に  
 辛棒する。我慢する  
 玉。「挨金似金」に同じ  
 ごみ、ほこり  
 ごみ、ほこり、塵埃  
 返答の辭、應諾の辭、嘆息す  
 る。嗚呼  
 なげく、嘆息する  
 身長低き、短小なる、ひくき  
 的。非常に低き

アイ哀、挨、埃、唉、矮、愛

個<sup>コウ</sup> | 下<sup>カ</sup> | 臺<sup>タイ</sup> | 子<sup>シ</sup> | 房<sup>フウ</sup> | 意<sup>イ</sup> | 遊<sup>ユウ</sup> | 惜<sup>シヤク</sup> | 小<sup>シヤウ</sup> | 死<sup>シ</sup>

一寸法師  
 低く下がる、垂れさがつてく  
 る  
 低き臺、足の短かき臺、ちや  
 ぶ臺の類  
 身長の低き者、短小者、一寸  
 法師  
 低き家屋、見すばらしき家屋  
 好む、すく、可愛がる、戀す  
 る、惚れる  
 快諾する、好意ある  
 あそび好き  
 大切にする、借む、愛惜する  
 目先の慾を張る、眼前  
 の小利に汲々とする  
 死ぬとも生きるとも勝  
 手にせよ



不 <sup>フ</sup>	手 <sup>テ</sup>	事 <sup>シ</sup>	口 <sup>ク</sup>	眼 <sup>マ</sup>	礙 <sup>マ</sup>	病 <sup>ビ</sup>	記 <sup>キ</sup>	抬 <sup>タイ</sup>	戴 <sup>タイ</sup>	死 <sup>シ</sup>	
著 <sup>チヤウ</sup>	著 <sup>チヤウ</sup>							仇 <sup>チウ</sup>	槓 <sup>カン</sup>	高 <sup>カウ</sup>	我 <sup>ワ</sup>
妨げられぬ	妨げられぬ	面倒なる、邪魔になる、妨げになる	言ひにくき、口に障りある	目に障りなる	病身なる、身体の虚弱なる	病身なる、身体の虚弱なる	病身なる、身体の虚弱なる	執念深き、いつ迄も怨みを含む	喧嘩口論好きなる、口ごたへしたが	高慢したがる。威張りたがる	可愛くてたまらぬ!

磨 <sup>マ</sup>	日 <sup>ジ</sup>	爛 <sup>ラン</sup>	不 <sup>フ</sup>	不 <sup>フ</sup>	成 <sup>チン</sup>	粥 <sup>チウ</sup>	酒 <sup>チウ</sup>	湯 <sup>トウ</sup>	夜 <sup>ヤ</sup>	熬 <sup>アウ</sup>
不 <sup>フ</sup>	子 <sup>ツ</sup>	爛 <sup>ラン</sup>	過 <sup>コ</sup>							
下 <sup>シヤ</sup>	下 <sup>シヤ</sup>	日を過ごす	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ	煮え透らぬ

安 <sup>アン</sup>	懊 <sup>アウ</sup>	奥 <sup>アウ</sup>	容 <sup>ボン</sup>	虐 <sup>ニョ</sup>	氣 <sup>キ</sup>	性 <sup>シヨ</sup>	傲 <sup>アウ</sup>	襖 <sup>アウ</sup>	葵 <sup>アウ</sup>	廐 <sup>アウ</sup>
	悔 <sup>クワイ</sup>	妙 <sup>ミョウ</sup>	容 <sup>ボン</sup>	虐 <sup>ニョ</sup>	氣 <sup>キ</sup>	性 <sup>シヨ</sup>	傲 <sup>アウ</sup>	襖 <sup>アウ</sup>	葵 <sup>アウ</sup>	廐 <sup>アウ</sup>
仕付ける、敷設する	安き、安置する、取付ける	悩みくやむ、懊惱して後悔する	深奥微妙なる、蘊奥	高慢なる容子	自ら傲りて勝手に振舞ふこと	たかぶる様子、慢氣	性質の傲慢なる	傲慢なる、たかぶる	長上衣(ながうはぎ)	大犬(狗八尺なれば一と爲る)

家 <sup>カ</sup>	插 <sup>チヤ</sup>	祥 <sup>シヤン</sup>	下 <sup>シヤ</sup>	心 <sup>シン</sup>	閑 <sup>カン</sup>	歇 <sup>シエ</sup>	身 <sup>シ</sup>	肯 <sup>ケン</sup>	慰 <sup>ワイ</sup>	營 <sup>エイ</sup>
家 <sup>カ</sup>	插 <sup>チヤ</sup>	祥 <sup>シヤン</sup>	下 <sup>シヤ</sup>	心 <sup>シン</sup>	閑 <sup>カン</sup>	歇 <sup>シエ</sup>	身 <sup>シ</sup>	肯 <sup>ケン</sup>	慰 <sup>ワイ</sup>	營 <sup>エイ</sup>
家庭を安らかにする	工合よくする、たらべ入る、其塔に安んせしむる	平安無事なる	備付くる、据付くる、取付け	心の置所、心の持ち方	ひまなる、閑静なる	安らかに休息する	身を安らかにする	肯諾することを得ず	慰むる、慰安する	陣取る、陣營を張る

アイ礙アオ 熬、廐、葵、襖、傲、奥、懊、安

寓	門	不	放	扶	童	頓	安	葬	腔	家
寓居を定むる、住居を設くる	非常口	据付くることの出来ぬ、取付けがたき	安置する。備へ置く	扶ける、保護する	小使、給仕の類	安らかなる、安全なる	滞りなく、極めて好都合なる	葬る、式をすます	安徽音頭、安徽風の戯曲	扶助料

鞍	心	轡	堂	庵	庵	鶴	按	股	下	數
馬のくら	鞍の中央部、鞍心	鞍と其附屬品全部の稱	尼寺、庵寺	庵寺の住僧(比丘尼)	おら、おれ、わし(北支那の田舎に行はる、第一人稱)	うづら	則る。據る。照し合せる、考へる。手にておさへる	株に應じて分配する	抑へつける、抑へる	數目に照して受取る

件	結	懸	考	案	院	例	兵	分	法	著
事件	事件の結末	事件の結末	試験する(科擧時代に)	事柄の解決が延々になる。懸案になる	細長きテーブル、事件、事件の記録	前清時代の按察使(官名)の役所	法律に照して、慣例によりて	兵の配置をすること	分に應じて	則りて、照して、據りて

算	想	笑	溝	暗	暗	的	由	板	情	卷	桌
陰謀する、密かに計畫する	密かに思ふ、	心中にて笑ふ	下水	こつそりと、密々に	くらき、やみ、密かに、蔭に	事件の由來	細長き板	事件の内容、事柄の状態	官衙に備付けたる公務用のテーブル	事件の記録、事件の文書	事件の内容、事柄の状態

岸<sup>ア</sup> 諳<sup>ア</sup> 中<sup>チ</sup> 柱<sup>チュ</sup> 地<sup>ヂ</sup> 訪<sup>フ</sup> 花<sup>ホ</sup> 火<sup>ホ</sup> 碼<sup>マ</sup> 幕<sup>マ</sup> 味<sup>ミ</sup> 練<sup>レン</sup> 陡<sup>ト</sup>

秘密に、窺かに、こつそりと  
かくし柱（壁にて塗り包みた  
る）  
暗き場所、窺かに  
密偵、窺かに探偵する  
すかし模様  
うづめ火  
暗號（電信などに用ふる）  
内幕、黒幕  
愚なる、魯かなる、愚昧  
熟練する、熟達する  
岸の險しき堤

髒<sup>ア</sup> 昂<sup>ア</sup> 貴<sup>キ</sup> 葵<sup>キ</sup> 媳<sup>キ</sup> 孫<sup>ソ</sup> 子<sup>シ</sup> 夫<sup>フ</sup> 女<sup>ニ</sup>

不潔なる、汚穢なる  
上がる、高くなる  
揚々たる、意氣軒昂なる  
高價なる、騰貴する  
息子、子供、又名詞に附せら  
るゝ助詞  
あをい（葵花）  
よめ、息子の嫁  
子と孫、子孫、子供たち  
子供、息子  
夫、娘の夫、むこ  
娘、子供の總稱

馬<sup>マ</sup> 郎<sup>ラ</sup> 駟<sup>シ</sup> 而<sup>ニ</sup> 況<sup>キョウ</sup> 且<sup>チ</sup> 今<sup>イマ</sup> 刮<sup>カク</sup> 塞<sup>サイ</sup> 扇<sup>セン</sup>

牡馬、をうま、駒、  
息子（むすこ）、夫  
牡驪馬をずらば）  
而して、其上で、そこで  
それのならず、其上に尙、況  
してや  
其上、加之、又更に  
いま、目下、現在  
み、すみ、文語……のみ  
耳のつけ根、耳根  
耳垢、耳屎（み、くそ）  
毛の着きたる耳掩ひ

性<sup>シヨウ</sup> 喳<sup>チヤ</sup> 釧<sup>チン</sup> 唇<sup>チン</sup> 底<sup>テイ</sup> 朶<sup>ト</sup> 朶<sup>ト</sup> 房<sup>フウ</sup> 風<sup>フウ</sup> 背<sup>ペイ</sup> 帽<sup>マウ</sup>

物事を聞きて心に留める記憶  
さ、やく、耳元にて語る  
耳輪  
耳たぶ  
鼓膜、耳底、耳の奥  
み、  
濼りに人の言を信ずること、  
氣の變り易き  
正面室に連なる兩側の室  
善からぬ風説、惡評  
耳の遠き老人などの  
耳蔽ひのつきたる帽子

ア又諳、岸、昂、耳、而、耳

門	挖	餛	二	尾	五	姑	少	少	太
門	子	(食)	忽	子	眼	娘	爺	奶	太
耳の入口	耳かき	食物、食事、えき、食物の總稱	二、兩つ、且つ、二つながら、次の、第二の	半陰半陽、半男半女のこと	見すばらしき、卑陋なる	二番目の娘、次女	主人の次男に對する稱呼(僕婢が)	主人の次男の妻に對する稱呼	同上

套	價	則	革	語	來	來	來	應
車	車	子	子	子	來	來	來	俱
二頭立ての馬車(騾車)	かけぬ、正しからぬ價	二つには……「二來」に同じ	羊豚などのこと(料理)	確たる言實なき話、彼是といふこと	二つには……「二則」に同じ	寡婦が二度目の夫を納ること	一、ひとつ	一切取揃へあり

位	味	眼	概	子	桿	股	股	棵	科	鍋
的	井	人	搶	道	賊	樹	麥	麵	子	子
一と方(人數に對しての敬稱)	一様なる、一團に、専らに	一つの井戸	都て、全部、全然	犯。犯罪の連累者	一挺の銃	一とすじの道、道一本	一と組の賊	一株の樹、一本の樹	一房の麥穂	ごまかし、わからずや

刻	掛	塊	塊	管	管	鉤	口	口	口	口
表	兒	錢	筆	棺	鐘	子	人	人	舌	舌
時の十五分間をいふ	懷中時計一個	銀貨一元のこと	一緒に、一團に	一本の筆	漢字一畫中の「丨」	棺箱一個のこと	うはぎ	一人、をつと(夫)	一人	二枚舌を使ふこと

アル餌、ニイ一

一一

一〇

向 <sup>シヤン</sup>	下 <sup>シャ</sup>	下 <sup>シャ</sup>	夏 <sup>シャ</sup>	上 <sup>シャ</sup>	哨 <sup>シャ</sup>	震 <sup>シヤ</sup>	是 <sup>シ</sup>	時 <sup>シ</sup>	掃 <sup>シヤ</sup>	共 <sup>コウ</sup>
向	下	下	夏	上	哨	震	是	時	掃	共
	鐘	子	手	手	時	時	時	光	共	
	其後、爾來、其後	一時(時間の)	一度、一回	一と夏、一ヶ年	手始めに、着手勿々	一部隊	しばし、一寸の間、少時	一切、すべて、全然	ありたけ持出す、あらざらへ 無くする、薬の名 ちよつと、時に	合計、總計、凡て

袋 <sup>タイ</sup>	大 <sup>ダイ</sup>	搭 <sup>タツ</sup>	送 <sup>ソウ</sup>	所 <sup>ソ</sup>	死 <sup>シ</sup>	順 <sup>ジュン</sup>	堅 <sup>ケン</sup>	星 <sup>セイ</sup>	歌 <sup>カ</sup>	些 <sup>シヤ</sup>
袋	大	搭	送	所	死	順	堅	星	歌	些
烟	些	兒	兒	兒	兒	百	順	順	一	不
一服の煙草	多量なる、澤山、餘程多數	片道(ゆきみち)	一と束、一と括り(紙などの)	一個所	的 きつと、断じて、決して	萬事非常に好都合に運ぶ事こと	漢字の一畫「一」	順	萬事非常に好都合に運ぶ事こと	少しばかり、ちつとばかり つげざまに

差 <sup>チヤ</sup>	眨 <sup>チヤ</sup>	杵 <sup>チヤ</sup>	盪 <sup>ダウ</sup>	輪 <sup>リン</sup>	彈 <sup>タン</sup>	套 <sup>タウ</sup>	套 <sup>タウ</sup>	道 <sup>ダウ</sup>	刀 <sup>ダウ</sup>	台 <sup>タイ</sup>
差	眨	杵	盪	輪	彈	套	套	道	刀	台
半	眼				指	話	書	紙	戲	
錯	少				一回、一度、一次	同上、前語と混用す	一枚の本	一折の紙、一帖の紙 一とすじ、細長き物の數形容詞	一場の芝居	

程 <sup>チヤ</sup>	窳 <sup>チヤ</sup>	角 <sup>チヤ</sup>	氣 <sup>チヤ</sup>	起 <sup>チヤ</sup>	紙 <sup>チヤ</sup>	直 <sup>チヤ</sup>	支 <sup>チヤ</sup>	枝 <sup>チヤ</sup>	場 <sup>チャン</sup>	張 <sup>チャン</sup>
程	窳	角	氣	起	紙	直	支	枝	場	張
不	兒	兒							雨	
長らく、久しく	少しも融通の利かざる、事理を解せざること	貨幣の稱(一元の十分一)	一しよになる、なれあふ	其一派	一枚	まつすぐに、ザーと、引つゞき	一本、細長きもの、數形容詞	數形容詞の場合「隻」に共通す	紙、椅子、床などに用ふる數形容詞	一としきりの雨



幫	排	班	般	把	幌	夥	會	會	合	橫
船	班	班	般	把	幌	夥	會	會	合	橫
一隊の船、一船隊	一と並び、一小隊	一と組、一組合	一樣なる、同様の	片一方の手掌(てのひら)	しばしの間、短時間	一組、一共同者、なかま	しばし、ちよつとの間、すぐ	暫らくの間、稍長き時間	二枚、二組の扉	漢字畫中の「一」をいふ

毛	毛	撥	輩	本	撲	標	撇	邊	包	膀
毛	毛	撥	輩	本	撲	標	撇	邊	包	膀
十分の一元(約我が十錢前後)	一生涯、一代	一度、一回	一冊(書籍の)	一と口、一種、一隊	全力をつくす(精神的に)	漢字畫中の「一」	一面、一方面	引き括める、一と纏めにする	腕一ばいの、一身中の	

連	里	例	來	來	員	様	模	磨	枚	面
連	里	例	來	來	員	様	模	磨	枚	面
つゞけさまに、一としきり	一里(支那の一里は約我六町弱)	一個の規則、一法律	往來する、交際する	一つには...	官吏一名、職員一人	同じ、同様、同一なる	極めて似寄りたる	一度、一回、一べん	一個、一本、一枚	片一方の申分

照	道	生	壹	路	路	人	溜	溜	溜	連
照	道	生	壹	路	路	人	溜	溜	溜	連
醫術開業免許狀	醫術、醫法	醫師	醫師、治療する、癒す	一、ひとつ、一に同じ	同種の商品、同じ品物	途中、出發より到着までの道中をいふ	一人丈けの深さ	一體に、一般に	一と並びの家屋	引きつゞき、つゞいて

襟 <small>ヂマ</small>	架 <small>キヤ</small>	線 <small>セン</small>	衫 <small>シヤ</small>	冠 <small>クワン</small>	衣 <small>イ</small>	婆 <small>ハ</small>	不 <small>フ</small>	得 <small>トク</small>	調 <small>テウ</small>	金 <small>キン</small>
				齊 <small>チ</small>		子 <small>シ</small>	來 <small>ライ</small>	來 <small>ライ</small>		
衣服	衣桁(いかう)	縫絲(ぬひいと)	衣服、きもの、衣裳	楚 <small>チュ</small> 風采の引締りたる	着物、衣服、ころも	女の醫師	治療し得ざる	治療し得ざる	治療する、治療する	診察料、薬價、醫師への謝金

次 <small>ジ</small>	着 <small>チヤク</small>	道 <small>ダウ</small>	隨 <small>ズイ</small>	實 <small>ジツ</small>	序 <small>ジヨ</small>	倚 <small>イ</small>	議 <small>ギ</small>	帽 <small>マウ</small>	鏡 <small>キョウ</small>
順序により、次第により	依據する、恃んで、よりて、随つて	道理に合ふ、合理的なる	確實なる、懇切なる	したがふ、つく、賛成する	順序によりて	よる、たよる、依頼する	提議の如くに取扱ふ	よる、依頼する、従ふ	姿見鏡、化粧鏡 服裝、身のなり、なりふり

翳 <small>ウイ</small>	揖 <small>イフ</small>	年 <small>ネン</small>	等 <small>トウ</small>	始 <small>シ</small>	伊 <small>イ</small>	戀 <small>レン</small>	允 <small>ユン</small>	從 <small>フオン</small>
	讓 <small>ジャン</small>	拱 <small>コウ</small>						
かくす、かざす	禮を施さず、挨拶する	手をこまわく	手を組み合せて挨拶する	其年、彼の年	彼等、それら	其始、その最初	彼、それ、其	名殘惜しき、戀々たる

イ、衣、依、伊、揖、翳、裔、乙、弋、鉞、遺

念 <small>ニエン</small>	體 <small>テイ</small>	卻 <small>キョク</small>	下 <small>ゲ</small>	悞 <small>ゴ</small>	遺 <small>ウイ</small>	鉞 <small>セン</small>	弋 <small>ゴ</small>	乙 <small>イ</small>	裔 <small>イ</small>	毛 <small>モウ</small>
忘失する、忘るゝ、失念する	忘れがたみ	除外する、残す	先人より残されたる	まちがひ、あやまる	のこす、のこる、失ふ	まちがひ、あやまる	先人より残されたる	除外する、残す	忘れがたみ	忘失する、忘るゝ、失念する



病	書	文	移	母	娘	婆	夫	子	姨	餘
病	書	文	移	母	娘	婆	夫	子	姨	餘
								(兒)		
傳染病、うつる病	移牒する(同等官署間に)	官文書の種類	移す、移る、移文(文書の種類)	同上	同上	姑の姉妹、をばさん	妻の姉妹の夫	同上	をば、母の姉妹	殘餘、のこり

狐	心	案	疑	發	處	益	容	門	儀
狐	心	案	疑	發	處	益	容	門	儀
狐疑する、疑惑する	狐疑する、疑惑する	疑獄、疑はしき事件	疑	うたがふ	有益なる所、益する所	利益、益する、益	正しき容體、儀式のやうす	官署の正門をいふ	儀禮、禮式、式典、規律

友	夷	宜	逸	怡	病
友	夷	宜	逸	怡	病
親密なる友人	友誼、情誼、よしみ	夷狄、野蠻人	稱の一種	前清の制官吏の妻に與ふる榮	宜しき、適當なる

經	織	次	及	以	詣	佚	進	俗	腴
經	織	次	及	以	詣	佚	進	俗	腴
すてに、とらに	受入済、拂込済、收入済	既に、終る、過る	順次、順序を以てする	及び、…に至る迄…	到る、到着する	以て、用ひて	安樂なる、平和なる	地勢の斜に延長せること	古代の舞人

イ一姨、移、儀、益、疑、怡、怡、逸、宜、夷、誼、腴、附、進、佚、詣、以、已

往<sup>コ</sup> 擬<sup>イ</sup> 倚<sup>イ</sup> 蟻<sup>イ</sup> 椅<sup>イ</sup> 搭<sup>イ</sup>  
 往<sup>コ</sup> 擬<sup>イ</sup> 倚<sup>イ</sup> 蟻<sup>イ</sup> 椅<sup>イ</sup> 搭<sup>イ</sup>  
 又「ニー」の音、……：せんと  
 する、假定する  
 制定する、決定する  
 よる、恃む、頼りにする  
 よりかゝる、たよる、もたれか  
 あり  
 蟻の巢、蟻の塔  
 同上  
 いす(椅子)  
 椅子の背部のよりかゝり  
 椅子を被ふ布

子<sup>コ</sup> 披<sup>イ</sup> 義<sup>イ</sup> 矣<sup>イ</sup> 尾<sup>イ</sup> 務<sup>イ</sup>  
 子<sup>コ</sup> 披<sup>イ</sup> 義<sup>イ</sup> 矣<sup>イ</sup> 尾<sup>イ</sup> 務<sup>イ</sup>  
 椅子の腰をかける部分  
 椅子の座蒲團  
 「椅搭」に同じ  
 又「ウエイ」、尾  
 後聞、餘聞、最後の消息  
 乘馬者の最後にある人  
 動物などの尻尾、尾  
 語尾句尾の助詞、終止又は決  
 定を表はす語  
 正義の、公共の意、又假りな  
 ること、意義  
 義子(繼子)、もらひ子  
 慈善演劇、義捐を目的とする  
 芝居

國<sup>コ</sup> 學<sup>シ</sup> 警<sup>イ</sup> 甲<sup>イ</sup> 井<sup>イ</sup> 塚<sup>イ</sup> 子<sup>コ</sup> 倉<sup>ツ</sup> 地<sup>イ</sup> 田<sup>イ</sup> 父<sup>コ</sup>  
 國<sup>コ</sup> 學<sup>シ</sup> 警<sup>イ</sup> 甲<sup>イ</sup> 井<sup>イ</sup> 塚<sup>イ</sup> 子<sup>コ</sup> 倉<sup>ツ</sup> 地<sup>イ</sup> 田<sup>イ</sup> 父<sup>コ</sup>  
 伊太利國(イタリヤ)  
 公共の爲めに設けたる貧民學  
 校の類  
 かつら、假髮  
 こしらへたる爪  
 共同井戸  
 共同墓地、無縁の墓地  
 繼子、もらひ兒  
 救濟用の穀物を貯へ置く倉庫  
 共同墓地、無縁の墓地  
 公共救濟用の土地  
 繼父、まゝ父

議<sup>イ</sup> 叙<sup>イ</sup> 單<sup>イ</sup> 處<sup>イ</sup> 價<sup>イ</sup> 論<sup>イ</sup> 國<sup>コ</sup> 想<sup>イ</sup> 思<sup>イ</sup> 錢<sup>イ</sup>  
 議<sup>イ</sup> 叙<sup>イ</sup> 單<sup>イ</sup> 處<sup>イ</sup> 價<sup>イ</sup> 論<sup>イ</sup> 國<sup>コ</sup> 想<sup>イ</sup> 思<sup>イ</sup> 錢<sup>イ</sup>  
 議する、相談する、はかる  
 詮衡する  
 相談したる筆記錄  
 議して處分する(當局者が)  
 價格を相談する、ねぎる  
 議論する、意見を述べて打合  
 せする  
 意思、こゝろ、意義  
 イタリヤ國  
 思ふ、心に想像する  
 意義、意味、意見、こゝろもち  
 賭博のこと

會	願	憶	異	藝	不	役	差	夫
ホイ	ヨア	ニエ	イ	エ	チ	チ	チ	フ
心に理會する、わかる	願ふ、心に願ふ、希望する	思ふ、心におもふ 異なる、珍奇なる、不思議な る、かはりたる	藝能、技術、技藝	技術、技藝、わざ	力わざ、小役人、勞力 小役人、小吏	小役人、小吏	人足、労働者	

抑	亦	奕	譯	稱	音	材	驛	館
ホ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
抑へる、發語辭	或は、又は、抑々又 また、……もまた 大なる、博奕	圍碁	解釋する、譯する 固有名詞などの音を漢字にて 表はせること	課述する、譯して記す 翻譯の能ある人のこと	宿場、えき	宿場の建物、宿場の旅館		

釋	肄	業	習	易	翼	億	疫	蟲
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
たづぬる、をさむる、とく 研究する、討究する、たづぬ る	習ふ、習熟する	業を習ふ、修業する	習ふ、修業する	容易なる、易き、易 つばき、羽翼	軍隊の枝隊長、隊翼長 億(數の)	流行病、疫病	微菌	

弋	邑	腔	取	縣	宰	豪	旨	親	因
チ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
取る、矢を繋ぎて射ること 取る、物を目ざして取る 歌などの高調子をいふ	地方の部落、町村	地方の縣、行政區劃	土地の治者、土地の長 土地に勢力ある土豪	純一の美、醇美	皇太后の諭旨	同姓の親族、血縁近き親屬	原因、……に因りて		

イ一憶、異藝役、抑、亦、奕、譯、驛、肄、易、翼、億、疫、弋、邑、懿、因 二五

溝	陰	緣	姪	親	兄	翁	姻	仍	此	爲	
溝	陰	緣	姪	親	兄	翁	姻	仍	此	爲	
溝	陰	有分	弟	姻戚	義弟、妻の弟	姻戚、妻の身内	舅、しうと、妻の父	姻戚、妻の親戚	やはり、それが爲、そこで……	これによりて、此の爲めに	……の爲、……に因り
暗渠、蓋したる溝		縁は異なるもの味なもの									

瓦	涼	平	魂	天	曹	騰	宅	司	世		
瓦	涼	平	魂	天	曹	騰	宅	司	世		
兒	冥途	閻魔殿の役人(地獄の)	墳墓、はか	運命、天の定めたる命	冥途、地獄	曇り日和	幽魂、亡魂	四聲の一、上平に同じ	涼しき蔭、日蔭の涼しき場所	地上に敷く瓦のこと、平瓦	音楽の、餘韻の、消息

銀	淫	慇	股	耗	聞					
銀	淫	慇	股	耗	聞					
銀、金錢、財貨	色魔	梅毒、花柳病の總稱、かさ	色魔、色情上の悪徒	みだらなる、節度なき	しめりたる、しめる、ぬれる	丁寧なる、感慇なる	富有なる、富みたる	盛んなる、豊かなる	消息、たより	風説、うはさ、たより

珠	主	角	單	信	市	股	鏢	國	根	尾
珠	主	角	單	信	市	股	鏢	國	根	尾
朱	資本家、資本主	小銀貨(五角一角などの)	手形、有價證券	金錢を封入せる手紙	銀の取引場、銀相場	現銀の株	粒銀、小塊の銀	メキシコ國のこと	金融、銀流通の状態	勘定尻、計算尻

錢 (カネ) 兜 (トウ) 號 (ガウ) 盤 (パン) 幣 (ヘイ) 洋樓 (ヤウロウ) 誼 (イ) 時 (シ) 月 (ゲツ)

銀貨、財貨、かね  
財布の一種、銀貨入れ  
銀行、私設銀行  
銀の相場  
銀貨(洋風の)  
同上、又略して「洋」ともいふ  
銀細工の裝飾品を賣る店  
十二支の一  
官吏間の同僚  
午前三時より五時迄の間  
一月の別名

吟 (イン) 引 (イン) 鬼 (クワイ) 行 (コウ) 水 (スイ) 道 (ダウ) 港 (コウ) 子 (コ) 端 (タン) 領 (リョウ) 隱 (イン)

吟誦する  
みちびく、案内する、紹介する  
凶事を招く、ケチがつく  
案内する、導いて行く  
水先案内者  
道案内する、ちびく  
水先案内者  
仲介物  
發端、はじめ  
案内する  
かくす、かけ、裏面

身 (シ) 情 (ジヤウ) 飲 (イン) 癮 (イン) 蛭 (クワ) 尹 (イン) 印 (イン) 信 (シン) 色 (シキ)

影武者  
内情、内幕  
飲む、牛馬などに水を與ふる  
畜類に水を與ふる  
飲食物のこと  
病の痼疾となれる、阿片中毒  
蛭(みずず)  
治者、長官  
印章、しるし、しるしたるあ  
と、印刷する  
印章、印形  
印肉

イ又寅、吟、引、隱、飲、癮、蛭、尹、印、蔭

堂 (タン) 件 (ケン) 結 (ケツ) 局 (コウ) 子 (コ) 花 (カ) 花 (カ) 板 (バン) 杷 (パ) 蔭 (イン) 涼 (リョウ) 兒 (ニ)

眉間(みけん)  
印刷物の總稱  
保證狀  
日歩金貸店、高利貸  
日歩金、高利の金  
收入印紙  
更紗(さらさ)  
木版、版木  
印章のとつて(持つ部分)  
かけ  
日蔭の涼しき部分

應 該 許 當 酬 承 付 活 允 英

使 允 活 付 承 酬 當 許 該

應ずる、承知する、返答する  
許諾する  
當然なる、至當なる、あたり  
まへのこと  
許諾する、應諾する  
當然なる、あたりまへ  
あしらふ、相手になりてあし  
らふこと  
承諾する、引うける、うけひ  
く、うけあふ  
あてがふ、合せる  
仕事を引受ける  
承諾する、承知する  
英國、秀てたる  
英國公使、英國の使節

嬰 櫻 鸚 鷹 鷹 爪

僑 孩 桃 桃 (哥) 鷹 鷹 爪

英國の居留民  
あかご、幼児、こども  
同上、ねんね  
同上  
さくら  
さくらんぼ  
婦人の口を形容したること  
あふむ  
胸、うくる、あたる  
たか  
覗き鼻

犬 把 洋 鴛 蠅 瑛 櫻 嬰 迎

犬 把 洋 聲 甩 子 迎

惡漢、惡徒の爪牙  
魔使ひ、魔匠  
メキシコ、弗、墨銀(魔の模様  
あるが故に名く)  
うぐひす  
婦人の聲を形容する語  
蠅  
蠅拂ひ(馬尾毛にて作りたる  
拂子の如きもの)  
玉の一種、寶石  
ふさ  
けし  
迎ふ、正面になること

賽 神 親 盈 螢 瑩

賽 會 神 親 門 餘 園 (地) 城

祭禮、まつり  
賽會 神事、祭禮  
婚姻すること  
入口の正面  
みつる、一ぱいになる  
剩餘、あまり、のこり  
ほたる  
墓地、墳墓  
墓地(樹林を作りて園をなせ  
る所)  
墓地、はかば  
玉の一種

英、應、嬰、櫻、鷹、鸚、鷹、爪、迎、盈、螢、瑩

家<sup>チイ</sup> 嬴<sup>シ</sup> 謀<sup>モウ</sup> 盤<sup>パン</sup> 生<sup>シ</sup> 造<sup>ツァイ</sup> 子<sup>ツォ</sup> 汎<sup>フン</sup> 規<sup>グイ</sup> 伍<sup>ウ</sup> 營<sup>イン</sup>  
 尺<sup>チ</sup>  
 經營する、兵營  
 軍隊、隊伍  
 軍規、兵營の規則  
 兵士の屯所、兵士の番所、衛  
 兵所、卒  
 工事用のものさし(標準尺)  
 營業、生業、職業  
 陣地、兵營  
 軍事に関する計謀  
 勝つ、もうける  
 賭(かけ)に勝つた人

硬<sup>イ</sup> 映<sup>イ</sup> 應<sup>イン</sup> 顯<sup>シ</sup> 壁<sup>ビ</sup> 片<sup>ピ</sup> 戲<sup>シ</sup> 射<sup>シ</sup> 印<sup>イン</sup> 影<sup>イン</sup>  
 酬<sup>チウ</sup> 悟<sup>ウ</sup>  
 かけ  
 寫真版  
 悪事、ごまかし事、詐欺  
 影人形の芝居  
 ヒルム(活動寫眞の)  
 門内に設くるついで立形の塔  
 伶俐なる、聰明なる  
 麻する、又イン(上平)を見よ  
 あしらふ、相手になりてあし  
 らふ  
 映ずる、うつる、影などをうつす  
 堅き、こはき

汚<sup>ウ</sup> 汗<sup>ハン</sup> 煤<sup>メイ</sup> 話<sup>ワ</sup> 透<sup>トウ</sup> 壯<sup>チュウ</sup> 工<sup>ゴン</sup> 頸<sup>ケイ</sup> 夫<sup>フ</sup>  
 汚れたる、けがす  
 同上  
 強姦する  
 かたくななる、剛情なる  
 柔術の如き一種の體育術  
 強健なる、壯健なる  
 無理に粧ふ、強ひて...らし  
 くすること  
 確實なる話、信用の置ける話  
 硬質石炭

乎<sup>フ</sup> 髮<sup>フ</sup> 銅<sup>ドン</sup> 豆<sup>トウ</sup> 金<sup>キン</sup> 網<sup>ワウ</sup> 龜<sup>クイ</sup> 煙<sup>エン</sup> 饑<sup>キ</sup> 子<sup>ツォ</sup> 烏<sup>ウ</sup>  
 哀<sup>アイ</sup> 紙<sup>チ</sup>  
 ぼくろ  
 辱むる、面目を傷はしむる  
 烏、黒き  
 阿片のこと  
 娼婦の夫、非倫の奴  
 黒色絹  
 顔料用の黒色紙  
 黒豆  
 赤銅(しゃくどう)  
 黒き髮  
 哉<sup>ツァイ</sup> お陀佛になること、死  
 去すること

木<sup>キ</sup>魚<sup>イサ</sup>人<sup>ヒト</sup>呼<sup>コエ</sup>鳴<sup>ナリ</sup>橋<sup>ハシ</sup>巫<sup>マコト</sup>証<sup>シ</sup> | 証<sup>シ</sup> | 証<sup>シ</sup>

黒檀  
いか  
くるんぼ  
發語辭、あゝ  
泣く聲  
黒檀、烏木に同じ  
巫女(みこ)  
神に祈りて病を治するといふ  
こと、祈禱者  
しうる、証告する  
偽證する、しうる  
証告する、いひかけする

無<sup>ム</sup>齩<sup>カグ</sup>朽<sup>ク</sup> | 屋<sup>ヤ</sup> | 子<sup>コ</sup>柱<sup>タテ</sup>頼<sup>タ</sup> | 租<sup>ソ</sup>脊<sup>セ</sup>山<sup>ヤマ</sup> | 濟<sup>テイ</sup>二<sup>ニ</sup>於<sup>コ</sup> | 鬼<sup>キ</sup>

しゆる、証告してあざむく  
証告  
家屋、室、部屋  
藪(いらか)、屋頂  
屋根のむね  
室代、間借料、家賃  
こて(左官の用ふる)  
齩齩する、くちがふ  
無き、無くなる  
ごろつき、ならず者  
事、役に立たざる

著<sup>テ</sup>頭<sup>カウ</sup>頭<sup>カウ</sup> | 母<sup>ハハ</sup> | 庸<sup>ユウ</sup> | 梧<sup>キ</sup>吾<sup>ゴ</sup>无<sup>ム</sup> | 吳<sup>ウ</sup> | 蜈<sup>ボ</sup>

著  
方法なき、詮方なき  
手がりのなき事件、捜査困  
難の事件  
愚鈍なる者、魯鈍者  
機智なき、足がりになき  
無し、勿れ、無用なる  
：にばざる、無用なる、  
不必要なること  
無に同じ  
我、私、吾輩  
梧桐(あをぎり)  
江蘇省の古名、蘇州  
むか

五<sup>イ</sup> | 眼<sup>ガン</sup>鞋<sup>セ</sup> | 味<sup>ミ</sup>架<sup>カ</sup> | 香<sup>キョウ</sup>腸<sup>チヤウ</sup> | 加<sup>カ</sup>皮<sup>ヒ</sup> | 針<sup>チヤウ</sup> | 金<sup>キン</sup> | 彩<sup>サイ</sup> | 内<sup>ナイ</sup> | 行<sup>キョウ</sup> | 方<sup>ホウ</sup> | 雜<sup>ザク</sup> | 八<sup>ハチ</sup> | 處<sup>チ</sup> | 作<sup>サク</sup> | 處<sup>チ</sup>

五、いんよ  
編上げ靴  
薬味入(西洋料理などに用ふる)  
兒、腸詰の食物  
藥酒の名(燒酒に五加皮を加へたるもの)  
五葉松  
鐵物の總稱  
五色  
身體内臓の總稱  
職業のいろいろ  
各國各人種が雜居する  
有様をいふ

ウー 蜈蚣、蛇、巫、証、房、朽、齩、無、母、无、吾、梧、吳、蜈



下 <sup>シイテ</sup>	上 <sup>シテ</sup>	午 <sup>ウ</sup>	廟 <sup>ミヤウ</sup>	火 <sup>カ</sup>	聖 <sup>シヤウ</sup>	戲 <sup>シイ</sup>	武 <sup>ブ</sup>	伍 <sup>ウ</sup>	木 <sup>キ</sup>	分 <sup>フ</sup>	像 <sup>シヤウ</sup>
午後	午前	十二支の一、うま	關帝廟のこと	強き火、熱度の強き火	關羽のこと	戰事などを演ずる劇	武(文に對する)	五人、隊伍などの	賭博の采さいころ	牛身像	

場 <sup>チヤウ</sup>	擣 <sup>カウ</sup>	嫵 <sup>ウ</sup>	忤 <sup>ブ</sup>	忤 <sup>ブ</sup>	舞 <sup>ブ</sup>	侮 <sup>ブ</sup>	門 <sup>メン</sup>
不 <sup>フ</sup>	任 <sup>ニ</sup>	媚 <sup>メイ</sup>	逆 <sup>ギャク</sup>	作 <sup>サク</sup>	凌 <sup>レイ</sup>	月 <sup>グヱツ</sup>	門 <sup>メン</sup>
船渠ドック	遮りきれざる	蔽へさへざる	へつらふ、こびる	さからふ、反抗する	舞踊、舞ふ、舞はず	死體の檢案者(支那の官衙に雇はれ居る者)	北京宮城の正門
					同上	五月の異名	あなどる、侮蔑する、侮辱する

事 <sup>シ</sup>	工 <sup>コウ</sup>	悞 <sup>コ</sup>	誤 <sup>コ</sup>	恨 <sup>コン</sup>	惡 <sup>ク</sup>	物 <sup>ブツ</sup>	勿 <sup>フ</sup>	握 <sup>ク</sup>	鷄 <sup>キ</sup>
事をあやまつ、機會を失ふ	同上の意に混用する	時をあやまる、時を無駄にする	憎悪する、にくむ、恨む	あやまる、まちがふ	同上の意に混用する	憎悪する、にくむ、恨む	人望、輿望	にくむ、又(オ)上聲を見よ	物、品物
									あふむ
									手にておさへる、又ウオ(去聲)の音あり
									勿れ(禁止語—文章の)

悟 <sup>ブ</sup>	霧 <sup>ク</sup>	杙 <sup>キ</sup>	要 <sup>ヤウ</sup>	必 <sup>ヒ</sup>	須 <sup>シュ</sup>	懇 <sup>コン</sup>	務 <sup>ブ</sup>	不 <sup>フ</sup>	犯 <sup>フ</sup>
悟る、了解する	霧	低き腰掛臺の類	なるたけ、務めて、是非	同上	是非共、なるべく、出来るだけ、必らず	是非御願申すの意	務めて、必らず、是非、出来るだけ	誤解する、思ひたがへする	過失犯、誤つて罪を犯す
									間違ふことなし、まちがひなし、確實なり

ウー伍、武、午、侮、舞、忤、忤、擣、場、鷄、握、勿、物、惡、誤、悞、務、杙、霧、悟 三七

不<sup>フ</sup>透<sup>トウ</sup> 悟りきれざる、悟入せざる  
 威嚴、をどす  
 脅喝する、威壓する  
 をどかす、威迫する  
 かすかなる、少し、微少、なし  
 寸志、贈物などに用ふる語  
 かすか、すこし  
 勿論、言ふ迄もなし  
 山の高き貌、高大なる  
 近よる、近づく  
 たがふ、たがへる

爲<sup>ウ</sup>坐<sup>ゾ</sup> 不從順なる  
 危<sup>ウ</sup>子<sup>シ</sup> かくむ、圍繞する、圍  
 襪<sup>ウ</sup>子<sup>シ</sup> テーブル掛  
 場<sup>ウ</sup> つかむ、包圍する  
 裏<sup>ウ</sup> 獵場(内蒙古に此地名あり)  
 掛<sup>ウ</sup> 周圍の塀、かこる  
 園<sup>ウ</sup> 結、の待の一種  
 拗<sup>ウ</sup> かこる、圍塀の類  
 危險なる、あぶなき  
 不安定に座すること  
 なす、する、なる、つくる、  
 ウイ(去聲)を見よ

荷<sup>カ</sup>力<sup>リ</sup> 願上候、希望致候などいふ意  
 盡力する、力となる  
 つなぐ、連繫する、たゞ  
 つなぐ  
 ひとり、たゞ、思ふに  
 帷<sup>ウ</sup> 帷帳、まくの一種  
 帷<sup>ウ</sup> 帳幕、下げまく  
 帷<sup>ウ</sup> 幕もて仕切りとするもの  
 帷<sup>ウ</sup> 宮殿又は寺院の門  
 帷<sup>ウ</sup> 帆柱、長さ木杆(まるた)

廠<sup>チ</sup> 棺材を賣る店、葬具店  
 帷<sup>ウ</sup> 帳幕  
 帷<sup>ウ</sup> なめし皮  
 帷<sup>ウ</sup> 委任する、まかす、ゆだねる  
 帷<sup>ウ</sup> 不平に堪へざる、心中の悶々  
 帷<sup>ウ</sup> たる、鬱屈に堪へざる  
 帷<sup>ウ</sup> へこたれる、がっかりする  
 帷<sup>ウ</sup> 委任する、或事柄を任す  
 帷<sup>ウ</sup> 任命して處置さする、委ねて  
 帷<sup>ウ</sup> 取扱はしむる  
 帷<sup>ウ</sup> 婉曲なる、やはらかなる  
 帷<sup>ウ</sup> 尾、終、末、イ(上聲)を見よ  
 帷<sup>ウ</sup> 帳尻、結算後の數

ウイ威、微、魏、僂、遯、圍、危、爲、維、帷、帷、圍、掩、韓、韋、委、尾

項 <sup>シイアン</sup>	聲 <sup>シヤン</sup>	隨 <sup>ソクイ</sup>	後 <sup>ホウ</sup>	來 <sup>ライ</sup>	萎 <sup>ウイ</sup>	偉 <sup>ウイ</sup>	葦 <sup>ウイ</sup>	席 <sup>シイ</sup>
結算後の金員残高	後聞、其後の消息	付添ふ、隨行する	鶻茲	最後、うしろ	最後に來る、後から來る	しほむ、かれる、なえる	枯木	偉大なる、傑出せる
						あし、よし		葦にて編みたるむしろ、あんべらの類

頂 <sup>テイ</sup>	弱 <sup>ヂョク</sup>	時 <sup>ジ</sup>	繳 <sup>ヂョウ</sup>	必 <sup>ヒ</sup>	月 <sup>グヱツ</sup>	偽 <sup>ウイ</sup>	長 <sup>チヤウ</sup>
茅葺屋根、草葺屋根	虚弱なる、氣力なき	同上	十二支の一、ひつじ、未だ	午後一時より三時	未拂込、未納、未收	未だ必ずしも……ならず	六月の異名
						にせ、いつはり、虚偽	詐欺する、あざむく
							おそるゝ、畏怖する

首 <sup>シウ</sup>	餒 <sup>ウイ</sup>	味 <sup>ウイ</sup>	道 <sup>タウ</sup>	氣 <sup>キ</sup>	願 <sup>ケン</sup>	生 <sup>シヤン</sup>
怯 <sup>チイ</sup>	養 <sup>ヤン</sup>	(兒 <sup>ル</sup> )	衛 <sup>ウイ</sup>	衣 <sup>イ</sup>		
畏 <sup>ウイ</sup>	尾 <sup>ウイ</sup>	彼此と願慮してびく／＼	臆病に畏るゝ、ひるむ	家畜などに食物を與ふること	同上	飼養する、食物を與へてそだてる
		にほひ匂	味(あじはひ、食物の味)	にほひ鼻にて感ずる)	まもる、保護する、天津の略稱	世話する、めんだふを見る
						メリヤスのシャツ

嘴 <sup>ツイ</sup>	隊 <sup>ツイ</sup>	護 <sup>ホ</sup>	緯 <sup>ウイ</sup>	位 <sup>ウイ</sup>	次 <sup>ツ</sup>	分 <sup>フ</sup>	胃 <sup>ウイ</sup>	蝟 <sup>ウイ</sup>
子 <sup>ツ</sup>	隊 <sup>ツイ</sup>	護 <sup>ホ</sup>	帽 <sup>マウ</sup>	務 <sup>ウ</sup>				
天津人のことをいふ	護衛兵、警護隊	保護する、護衛する、まもる	横絲、織る	官吏夏日の禮帽	位、階級、人の數形容詞	階級の順序、位階	位階、階級	腹中の胃
								はりねずみ
								用向の多きこと、事務の繁多なる

ウイ、萎、偉、葦、痿、未、偽、畏、餒、味、衛、緯、位、胃、蝟

痲 <sup>ウエス</sup>	溫 <sup>ウエヌ</sup>	魏 <sup>ウイ</sup>	慰 <sup>ウイ</sup>	謂 <sup>ウイ</sup>	冗 <sup>ウイ</sup>
疫 <sup>イ</sup>	水 <sup>スイ</sup>	哥 <sup>カ</sup>	華 <sup>カ</sup>	説 <sup>セツ</sup>	冗 <sup>ウイ</sup>
	存 <sup>ソン</sup>	話 <sup>ワ</sup>	話 <sup>ワ</sup>		

用務の非常に混雑多端なること、繁多なる

曰ふ、はなす

なぐさむる、又ユイ(去聲)の音あり

大なる、魏々たる

大家屋、宮殿

ぬるき、あたまかなる

パンクローバー(晚古坡)の音譯

ぬるま湯、あたゝかき水

柔らかな話、相手の心を喜ばせる話

流行病、疫病

流行病、疫病

痲 <sup>ウエス</sup>	溫 <sup>ウエヌ</sup>	魏 <sup>ウイ</sup>	慰 <sup>ウイ</sup>	謂 <sup>ウイ</sup>	冗 <sup>ウイ</sup>
籍 <sup>セツ</sup>	契 <sup>ケツ</sup>	秀 <sup>シュウ</sup>	戲 <sup>シ</sup>	告 <sup>カク</sup>	案 <sup>アン</sup>
					病 <sup>ビョウ</sup>
					疹 <sup>セン</sup>
					氣 <sup>キ</sup>
					痧 <sup>シャ</sup>

コレラの類

疫癘の氣、悪き氣色

はしか(癩疹)

流行病、疫病

文章、文學

文書の起草を掌る者、文書係

文書にて通告する

人情劇(武劇に對して)

上品なる、みやびやかなる

證書、證券

書籍、文書

雅 <sup>ヤ</sup>	墨 <sup>モク</sup>	明 <sup>メイ</sup>	廟 <sup>ミョウ</sup>	火 <sup>カ</sup>	話 <sup>ワ</sup>	憑 <sup>ヒョウ</sup>	報 <sup>ポウ</sup>	草 <sup>ソウ</sup>	采 <sup>サイ</sup>	縷 <sup>ロ</sup>	縷 <sup>ロ</sup>

的<sup>テキ</sup> 四角張りたる、所謂漢語まじりに詰す如きこと

文章の草稿

文章語の新聞紙

證書、證券

四角張りたる文書に近き語

とろ火、そろゝと焚く火

孔子廟

ハイカラなる、開花振りたること

文章、文字類をいふ

みやびやかなる、酒々たる

理 <sup>リ</sup>	銀 <sup>ギン</sup>	紋 <sup>モン</sup>	兒 <sup>ニ</sup>	聽 <sup>テイ</sup>	症 <sup>テイ</sup>	訊 <sup>シン</sup>	味 <sup>ミ</sup>	聞 <sup>モン</sup>	理 <sup>リ</sup>	約 <sup>ヤク</sup>	鯨 <sup>ジン</sup>	魚 <sup>イサ</sup>

鯨の魚

約定書、證書、契約書

文章の法則、文法

きく、嗅ぐ

匂ひをかぐ

問ひしらべる、聞きとる

聽診器

聞く、問ふ

すじ、折り目

銀貨の名稱、通用銀の一種

すじ、さめ

蚊 <small>ウエヌ</small>	拂 <small>フ</small>	當 <small>ウヘヌ</small>	住 <small>ヂユ</small>	安 <small>ウヘヌ</small>	婆 <small>ウヘヌ</small>	勿 <small>ウヘヌ</small>	問 <small>ウヘヌ</small>	案 <small>ウヘヌ</small>	視 <small>ウヘヌ</small>
蚊(か)	ほつす、蚊を逐ふもの おだやかなる、安定する、お ちつきたる	安定せる、妥當なる しづかなる、おだやかに、安 定する	妥當なる 婦女の屍體を検案する者(女 子)	はねる、きる	問ふ、質問する	事件を問ひしらべる	見舞する		

眞 <small>チエヌ</small>	好 <small>ホオ</small>	候 <small>ホオ</small>	窩 <small>ウオ</small>	窩 <small>ウオ</small>	窩 <small>ウオ</small>	樞 <small>ウオ</small>	過 <small>ウオ</small>	心 <small>ウオ</small>	媚 <small>ウオ</small>
實を申せば… 機嫌を伺ふ、安否を問ふ、よ ろしくいふこと	時候の挨拶をすること	ひと、細ききず、すじ	巢、かくれ家	饅頭の一種	陥罪、をとしあな	金つばまなこ	内方へ曲げる	心臓、心に思ひ蓄へる	密娼、公許せられざる娼妓

主 <small>チユ</small>	藏 <small>フアン</small>	臟 <small>フアン</small>	賊 <small>フアン</small>	子 <small>フアン</small>	孩 <small>フアン</small>	鋪 <small>フアン</small>	柳 <small>フアン</small>	留 <small>フアン</small>	倭 <small>フアン</small>
隱匿所の主、巢窟の主 かくす、かくれる	盜賊などの窃取せる品(贓品) を賣買する者、けいづ買	巢を構へたる賊、盜賊	巢、すみ家、不正者の住家	子供を寝せる	小屋、物置	小屋、物置	隱匿する、かくす	日本のこと	南瓜、かぼちや

緞 <small>トアヌ</small>	踐 <small>チイオ</small>	我 <small>ウオ</small>	各 <small>ウオ</small>	行 <small>ウオ</small>	兄 <small>ウオ</small>	櫃 <small>ウオ</small>	榻 <small>ウオ</small>	房 <small>ウオ</small>	柳 <small>ウオ</small>
ビロード	足をまげる、足をくぢく	我、私、僕、吾輩、余	僕自身、私自身、私單獨	法 我意を張り通すこと	小生、私	臥す、寝る、やすむ	横櫃、細長き箱	臥床、寢臺	寢室

ウエヌ蚊、穩、勿、問、豐、ウオ高、倭、矮、我、臥

四五



兒<sup>ア</sup>個<sup>ゴ</sup> 昨日(天津地方の俗語)  
 哭<sup>ク</sup>郎<sup>ラウ</sup> 夜泣きする小兒  
 工<sup>コウ</sup> 夜業、よなべ  
 消<sup>シヤウ</sup>兒<sup>ル</sup> 夜食、夜食べる食事  
 上<sup>シヤン</sup> 夜中、晩中  
 攤<sup>タウ</sup>子<sup>ツ</sup> 夜店、夜の露店  
 打<sup>ダ</sup> 夜業する  
 緊<sup>チン</sup> 夜中の物騒なること  
 作<sup>ツ</sup> 夜業、よなべ  
 斑<sup>パン</sup> 夜勤、夜中勤務、夜中の當直  
 壺<sup>ホ</sup> しゅびん、小便壺

業<sup>ヤク</sup> 暗夜、夜中  
 掖<sup>ヤク</sup> 梟(ふくらう)  
 遊<sup>ユウ</sup>子<sup>ツ</sup> 宵ッぱり、夜遊好きの人  
 猫<sup>マウ</sup>子<sup>ツ</sup> 脇の下へはさむ、かゝげる  
 黒<sup>ク</sup>天<sup>テン</sup> 宮殿の圍墻  
 業<sup>ヤク</sup> 職業、業務、財産  
 主<sup>シュ</sup> 不動産の所有者  
 經<sup>キヤウ</sup> 已に、既に、もはや、とツくに  
 産<sup>サン</sup> 財産、家産、不動産  
 戶<sup>ホ</sup> 營業者、從業者  
 葉<sup>ヤク</sup> 業、姓氏に用ふる時は音シ(オ  
 (去聲)

腋<sup>ヤク</sup> 金箔、薄葉金  
 謁<sup>ヤク</sup> 葉煙草、煙草の葉  
 拽<sup>ツ</sup> わき、身體の)  
 頁<sup>ヤク</sup> 謁見する、會ふ、お目にかゝる  
 烟<sup>ヤク</sup> ひく、ひッばる  
 煙<sup>ヤク</sup> 書籍の一面、ページ  
 館<sup>コウ</sup> 煙草、阿片、けむり  
 藥<sup>ヤク</sup> 同上  
 癮<sup>ヤク</sup> 阿片中毒の痼疾  
 子<sup>ツ</sup> たばこの葉、葉煙草  
 金<sup>キン</sup> 阿片を吸はせる店、阿片吸食店

エー掖、業、葉、腋、謁、拽、頁、エヌ烟、煙

絲<sup>シ</sup> 刻み煙草  
 袋<sup>タイ</sup> 煙管きせる)  
 袋<sup>タイ</sup> 兒<sup>ル</sup> 煙管の羅字(らう)  
 袋<sup>タイ</sup> 兒<sup>ル</sup> 煙管の火皿  
 袋<sup>タイ</sup> 兒<sup>ル</sup> 煙管の吸口  
 袋<sup>タイ</sup> 氣候風土の惡しき地方  
 瘴<sup>チヤウ</sup> 煙草又は阿片の吸がら  
 塵<sup>チン</sup> 阿片を吸ふに用ふる煙管  
 銻<sup>チヤウ</sup> 阿片を吸ふに用ふる細き棒  
 肝<sup>カン</sup> 阿片又は煙草の力(強き)  
 衝<sup>チヤウ</sup> 粗製阿片  
 土<sup>ド</sup>

菸<sup>エ</sup> | | | | | | | | | | | | | | | |

煤<sup>イ</sup> 包<sup>イ</sup> 盒<sup>イ</sup> 花<sup>イ</sup> 戶<sup>イ</sup> 灰<sup>イ</sup> 壺<sup>イ</sup> 荷<sup>イ</sup> 筒<sup>イ</sup> 頭<sup>イ</sup>  
 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 包<sup>イ</sup> 兒<sup>ル</sup>  
 吸發(すひがら) 煙突、けむだし 煙草入  
 かぎたばこ(粉末の)入 吸がら 庶民、人民  
 花柳界、狹斜 阿片入、煙草入  
 たばこ入 すゝ 煙草入  
 たばこ、葉卷煙草

醃<sup>エ</sup> | | | | | | | | | | | | | | | |

捲<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 計<sup>イ</sup> 敢<sup>カ</sup> 溺<sup>ニ</sup> 死<sup>ス</sup> 濕<sup>シ</sup>  
 兒<sup>ル</sup> 捲<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 粉<sup>エ</sup> 計<sup>イ</sup> 敢<sup>カ</sup> 溺<sup>ニ</sup> 死<sup>ス</sup> 濕<sup>シ</sup>  
 紙卷煙草 胭脂(べに)、化粧べに べにおしろい、化粧のこと  
 婦人を玉に使ふ詐欺 如何にして?(反語) 如何にしても能はぬの意  
 水にひたること 浸りて濕ること 溺死する、水に浸りて死する  
 溺るゝ、水に浸ること 醃にて漬けること

延<sup>エ</sup> | | | | | | | | | | | | | | | |

俣<sup>ウ</sup> 門<sup>メ</sup> 着<sup>チ</sup> 街<sup>チ</sup> 邊<sup>ヒ</sup> 猪<sup>チ</sup> 割<sup>カ</sup> 臘<sup>ラ</sup> 菜<sup>ラ</sup>  
 延<sup>エ</sup> 俣<sup>ウ</sup> 門<sup>メ</sup> 着<sup>チ</sup> 街<sup>チ</sup> 邊<sup>ヒ</sup> 猪<sup>チ</sup> 割<sup>カ</sup> 臘<sup>ラ</sup> 菜<sup>ラ</sup>  
 漬物、野菜の漬物 ハム、らん(豚肉の) 去勢せる人、又は動物の去勢したるもの  
 去勢する 去勢したる豚 去勢したる豚  
 ふち、へり、そふ 町ぞひ、町づたひ 町ぞひ、町づたひ  
 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup> 兒<sup>ル</sup>  
 門なみ、門にそふ へりをつける 延引する  
 ひく、招聘する、延引する 遅延する

エ又菸、烟、焉、淹、醃、鬧、沿、延、嚴、研

| | | | | | | | | | | | | | | |

研<sup>エ</sup> 緊<sup>キ</sup> 整<sup>チ</sup> 實<sup>シ</sup> 實<sup>シ</sup> 聘<sup>ヒ</sup> 纏<sup>チ</sup> 請<sup>チ</sup> 擱<sup>カ</sup>  
 船<sup>チ</sup> 細<sup>シ</sup> 緊<sup>キ</sup> 整<sup>チ</sup> 實<sup>シ</sup> 實<sup>シ</sup> 聘<sup>ヒ</sup> 纏<sup>チ</sup> 請<sup>チ</sup> 擱<sup>カ</sup>  
 延滞する 招聘する 病氣などの長びくこと  
 囑託員 嚴重に、きびしく 的。極めて嚴重なること  
 嚴肅なること、嚴正に きびしく、嚴重に 嚴などをする、みがくこと  
 細かにこすること、細末にする 藥研(藥材を粉末にする器具)



末	官	旋	道	重	鹽	引	課	鼻	灘
モ	コ	シ	タ	チ	シ	イ	コ	シ	タ
末	官	旋	道	重	鹽	引	課	鼻	灘
細末にする(藥などを)、粉末	官吏の施設を監視する官吏	回り去る(書信文などの語)	言ふ、語る、はなす	力を込めて言ふこと	しほ	鹽の專賣許可券、鹽の特許證	鹽稅	鹽の私賣を行ふ不正の徒	鹽田

廠	場	棧	磚	賊	菜	梅	風	顔	色	
チ	チ	チ	チ	ツ	ソ	メ	フ	カ	ソ	
廠	場	棧	磚	賊	菜	梅	風	顔	色	
鹽を製造する場所	製鹽所、鹽の産地	鹽の元賣捌所	煉瓦の如くに固めたる鹽	鹽の密造者	鹽漬にしたる野菜	鹽漬にしたる梅の實	熱き、火氣の盛んなる	熱き風、夏日の風、火の風	色彩、いろ、面容	色彩、色

筵	宴	席	溜	閤	掩	蓋	飾			
シ	シ	シ	リ	エ	エ	カ	シ			
筵	宴	席	溜	閤	掩	蓋	飾			
繪の具、染料	竹のむしろ、酒宴	酒宴、酒もり、宴會	同上	のき、家根の端	あまだれ	閤魔(地獄の)	烏金、高利の金	おほふ、かくす	蔽ふ、隠蔽する、かぶせる	糊塗する、かくし飾る

殺	襟	看	眶	光	神	時	斜	下	線		
キ	カ	カ	ク	ク	シ	シ	シ	シ	シ		
殺	襟	看	眶	光	神	時	斜	下	線		
絶滅する、殺到する	卸下の襟の部分	眼(まなこ)、あな	親しく見る、眼のあたり見る	まぶち、眼の周圍	娘	娘	ひとみ(瞳)	目下、只今、いま、瞬間	やぶにらみ	目下、目前、今	探偵者

睛 <sup>チン</sup>	中 <sup>チン</sup>	特 <sup>チ</sup>	饑 <sup>チ</sup>	抽 <sup>チ</sup>	睫 <sup>チ</sup>	福 <sup>フ</sup>	皮 <sup>ヒ</sup>	花 <sup>ホ</sup>	紅 <sup>ホン</sup>	熱 <sup>ネツ</sup>
眼、目の總稱	邪魔もの、眼の上の瘤	兒 <sup>ル</sup> 眼の隅、眼の角	物欲しげなる、見るものが欲しくなること	鑑識力なき、目の利かぬ	まつげ	目果報	眼識の鈍き、目先のきかぬ	目のかすむこと	羨ましがる、欲しがる	同上

演 <sup>エン</sup>	亮 <sup>リヤン</sup>	義 <sup>イ</sup>	戲 <sup>シ</sup>	厭 <sup>エン</sup>	厭 <sup>エン</sup>	惡 <sup>ウ</sup>	棄 <sup>チ</sup>	氣 <sup>キ</sup>	煩 <sup>ワン</sup>	燕 <sup>エン</sup>
眼界の廣き場所	演ずる、のぶる	意味を脚色する	劇を演ずる、芝居をする	うなさるゝ	いとふ、嫌ふ、いやがる	嫌惡する、きらふ	きらふ、厭ふ	いやがる	きらふ、厭ふ、うるさがる	つばめ

安 <sup>アン</sup>	窩 <sup>ウ</sup>	尾 <sup>ウイ</sup>	菜 <sup>サイ</sup>	盤 <sup>パン</sup>	驗 <sup>エン</sup>	驗 <sup>エン</sup>	問 <sup>ワン</sup>	單 <sup>タン</sup>	封 <sup>フ</sup>	艷 <sup>エン</sup>
安泰なる、平安なる	海燕の巢(上等料理の材料)	婦人の髻の一種	海燕の巢(上等料理の材料)	蝙蝠、かぶり	検査する、試験する、取しらべる、效驗	同上	査問する、しらべる	検査表、試験表	沒收係(税關などの)	美しき、艷麗なる

エ又演、厭、燕、驗、驗、艷、硯、咽、嚙、宴、晏

硯 <sup>エン</sup>	咽 <sup>エン</sup>	嚙 <sup>キ</sup>	宴 <sup>エン</sup>	晏 <sup>エン</sup>	妻 <sup>サイ</sup>	水 <sup>スイ</sup>	台 <sup>タイ</sup>	氣 <sup>キ</sup>	下 <sup>シヤ</sup>	安 <sup>アン</sup>	駕 <sup>カ</sup>
美貌の妻	すゞり	墨壺の銅匙	すゞり	咽喉、飲む、のみこむ	死したり！、氣絶せり	咽の本字、のみこむ	のみ下す、のみこむ	安らかなる、酒宴	安らかなる、泰平なる	天子の崩すること	

鴈	鴈	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
雁	雁	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
雁	雁	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝

恩	識	嚴	熾	語	翅	排	毛	班	班	班
恩	識	嚴	熾	語	翅	排	毛	班	班	班
恩	識	嚴	熾	語	翅	排	毛	班	班	班

俄	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿
俄	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿
俄	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿	阿

頭	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫
頭	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫
頭	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫

額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額

エ又雁、鴈、鵝、鵝、鵝、恩、オ一阿、阿、俄、鵝、訛、額、蛾、娥、哦

惡<sup>ウイ</sup> 苦<sup>ク</sup> 棍<sup>クワン</sup> 煞<sup>サツ</sup> 氣<sup>キ</sup> 作<sup>サツ</sup> 狠<sup>ヘン</sup> 霸<sup>ハ</sup> 巴<sup>バ</sup> 餓<sup>ガ</sup> 文<sup>ウエン</sup>  
 悪く、あしき、わるき、又音ウイ(去聲)  
 苦味の甚しき  
 惡漢、惡徒、無賴漢  
 厄、凶厄  
 惡臭、わるき臭氣  
 惡いたづら  
 惡の甚しきことをいふ  
 惡徒、橫道者  
 的<sup>アイ</sup> 惡<sup>ウイ</sup> 的<sup>アイ</sup> 非常なるを形容する語  
 空腹なる、ひもじくなる  
 貧弱の相、貧乏らしき貌  
 偶<sup>オウ</sup> 讒<sup>チエン</sup> 歐<sup>オウ</sup> 戰<sup>チエン</sup> 打<sup>ダイ</sup> 死<sup>シ</sup> 壞<sup>ホウ</sup> 鬼<sup>クワイ</sup> 了<sup>リョウ</sup> 子<sup>シ</sup>  
 偶然、ひよっこり、たまく  
 偶數の、對あること、偶然  
 人形芝居  
 傀儡、人形、木偶、泥人形  
 人形 傀儡のこと  
 歐羅巴  
 歐洲大戦  
 歐打する、うつ  
 うたふ、歌を唄ふ  
 歐、(佛敎の)  
 餓死する、饑饉にて死する  
 死す

藕<sup>オウ</sup> 絲<sup>ス</sup> 色<sup>シキ</sup> 粉<sup>フン</sup> 荷<sup>カ</sup> 焮<sup>オン</sup> 着<sup>チヤウ</sup> 人<sup>リン</sup> 糞<sup>フエン</sup> 爛<sup>ラン</sup>  
 蓮根、はす  
 蓮の絲  
 紫色、むらさき  
 蓮根の粉、片栗粉  
 紫色、むらさき  
 焮たむる、早魃、かはきたる  
 燃える、もえつく  
 人に氣を揉ませる、焦らす  
 しめる、ぬれる、水にひたる  
 肥料、こやし  
 水にびしよ濡れになりたる  
 嘔<sup>オウ</sup> 煩<sup>ファン</sup> 氣<sup>キ</sup> 咳<sup>カ</sup> 雜<sup>ザク</sup> 子<sup>シ</sup> 兒<sup>エ</sup> 脆<sup>ツイ</sup> 力<sup>リキ</sup>  
 嘔吐する、はきけ、胸惡き  
 胸の惡き、うるさき  
 心中に激する、心の平らかならざる  
 激する、立腹する  
 鳥の鳴聲、表音字の一種  
 天<sup>テン</sup> 朝夕冷氣ありて日中  
 偏屈の人、えこち者  
 非常に脆きこと  
 巧妙なる、上手なる  
 奥<sup>オウ</sup> 惡<sup>ウイ</sup> 餓<sup>ガ</sup> 歐<sup>オウ</sup> 讒<sup>チエン</sup> 偶<sup>オウ</sup> 藕<sup>オウ</sup> 焮<sup>オン</sup> 着<sup>チヤウ</sup> 人<sup>リン</sup> 糞<sup>フエン</sup> 爛<sup>ラン</sup>  
 オ—惡、餓、歐、讒、偶、藕、焮、着、人、糞、爛

該カ 賅カ 咖カ 哈カ | | | | | カカ | |

魚ノ 拉<sup>ライ</sup>兒<sup>ル</sup> 錢<sup>チイニメ</sup> 房<sup>フアン</sup> 路<sup>ロウ</sup> 倫<sup>リン</sup> 喇<sup>ライ</sup> 啡<sup>フイ</sup>

隅(すみ) 頭に針のある魚 内地税關、又チイア(上聲) 内地通過税 内地通過税を徵收する所 主要道路、本道 内地通過税を徵收する税局 羅紗、毛織物 コーヒーの音譯 文藻豐富なる、金を借りる、其の、この 同上

改カ | | | | | | | | | |

項<sup>シイアン</sup> 死<sup>シ</sup> 當<sup>クワン</sup> 錢<sup>チイニメ</sup> 賬<sup>チン</sup> 欠<sup>チイニメ</sup> 人<sup>リニエ</sup> 然<sup>アス</sup> 章<sup>チアン</sup> 折<sup>チヤウ</sup>

借方、値りたる金員 其罪死に該當するの意 あたりまへ、當然なる、該當する 金錢を借りる、借錢する 借金、借方 借り、借りたる、借方 人から金を借りる 當然、あたりまへ 改むる、改變する 規則改定、改正規則 銀に換算する、換算する

開カ | | | | | | | | | | 蓋カ | | | |

兒<sup>ル</sup> 頂<sup>ア</sup> 菲<sup>チウ</sup> 章<sup>チアン</sup> 上<sup>シアン</sup> 印<sup>イン</sup> 了<sup>リヤウ</sup> 行<sup>ハフ</sup> 嫁<sup>チイア</sup> 風<sup>フオン</sup>

再嫁する、二度目の嫁入り 商賣變へする、營業をかへる 風がかはる ふたする、おぼふ、ふた、おしつける 印を押す、捺印する 印を押す、おぼふ 印章を押捺する 蓋の下に作りたる 屋根を葺く ふた(凡ての物の) あける、開く、はじまる、はじめる

カーカ、哈、咖 カイ賅、該、改、蓋、開

| | | | | | | | | | | | | | | |

手<sup>シヤウ</sup> 水<sup>シュイ</sup> 信<sup>シン</sup> 心<sup>シン</sup> 銷<sup>シヤウ</sup> 銷<sup>シヤウ</sup> 關<sup>コワン</sup> 弓<sup>ゴン</sup> 光<sup>クワン</sup> 恩<sup>オン</sup> 印<sup>イン</sup>

御用始め、事務開き ゆるす、赦して下さい！ 佛像の開眼(かいげん)、死者の眼に水を注ぐ式 智識の増したる 弓を射始むる 開閉、城門を開く 費消する、使用する 私に散財さす 氣晴らしする、迷を醒ます、さとする 手紙を認むる、通信を書く 湯、わかしたる水 始むる、着手する

釋<sup>シ</sup> 市<sup>シ</sup> 歲<sup>ソウ</sup> 鎖<sup>ゾ</sup> 臺<sup>ダイ</sup> 單<sup>タン</sup> 導<sup>ダウ</sup> 刀<sup>タウ</sup> 獎<sup>チウ</sup> 具<sup>キ</sup>

褲<sup>ク</sup> 子<sup>子</sup>

ゆるす、釋放する、放免する  
開店する、營業を始める  
新年、年の始め  
錠前をあける  
芝居の幕あき  
書付を書出す、書出しを認む  
腎部の開きたる小兒の股引  
指導する、みちびく  
刀を抜く、抜刀する  
懸賞披露  
書き列ねる、列記する、書き  
だす

拆<sup>チ</sup> 車<sup>チ</sup> 船<sup>チ</sup> 槍<sup>チ</sup> 腔<sup>チ</sup> 攪<sup>チ</sup> 錢<sup>チ</sup> 眼<sup>チ</sup> 缺<sup>チ</sup> 載<sup>チ</sup> 參<sup>チ</sup>

あける(封じたる物などを)  
車が出発する、發車する、車  
を出す  
船を出す、船の出る、出帆する  
銃にて射撃を始むる  
唄ひはじむる、唄ひ出す  
騒ぎ出す、騒ぎ始むる  
支拂ふ、錢を出す  
店開き、營業開始  
辭任する、辭職する、缺員が  
出来る  
書き出す、記載する  
免職する、彈劾して免職する

吊<sup>ア</sup> 奠<sup>ア</sup> 頭<sup>ア</sup> 端<sup>ア</sup> 腿<sup>ア</sup> 行<sup>ア</sup> 班<sup>ア</sup> 盤<sup>ア</sup> 盤<sup>ア</sup> 磅<sup>ア</sup> 砲<sup>ア</sup>

子<sup>子</sup>

吊ふ、吊問する  
同上  
初め、最初、第一着手  
發端、はじめ、緒  
歩き如す、歩行を始むる  
營業開始、取引相場の寄付  
學年始め、藝者屋を始める  
相場の立會を始むる  
妓樓の遊興費  
誇言する、ほらを吹く  
大砲を打ち出す、砲の射撃開  
始

復<sup>フ</sup> 放<sup>フ</sup> 方<sup>フ</sup> 發<sup>フ</sup> 飯<sup>フ</sup> 懷<sup>フ</sup> 花<sup>フ</sup> 廟<sup>フ</sup> 蒙<sup>フ</sup> 險<sup>フ</sup> 列<sup>フ</sup>

砲<sup>パ</sup> 子<sup>子</sup>

免職處分の取消をすること  
支給する、ゆるす  
處方箋をくれる  
お拂する、支出する  
食事の用意をする、食事を卓  
上に出すこと  
胸のすく、氣ばらしする  
榴散彈、ばら丸  
寺社の祭禮、緣日、開帳  
手ほどきする、初學者を導く  
結婚の時嫁が額を刺ること  
書き出す、かきならべる

身量	口味	昂高	傲	鏡	慨	楷	外	挖
身長の高さ 丈けの高さ	良き味、上等の味	高き、上等なる、秀でたる	高慢なる、たかぶる	甲冑、よろいかぶと	心よく 快然として	楷書、楷字	以上(年齢など)、四十開外は四十歳以上の意	探掘を始むる(鑛物などを)

行	甜	中	翹	腔	招	抬	姓	興	陸	壽
相場の高さ	上等の味噌	御及第人の及第を祝する語	竹馬の如きもの	高調子、高聲	妙策、奇策、高見	放(罪責を赦すこと)	貴姓(敬語)	興味ある、面白き	出世する、陞進する、上へあがる	高齡なる、老年なる

羔	子	梁	滑	火	肥	車	腺	恩	麗	命
羊の子、兒羊			すべくせる、滑らか	食料費、食事の代價	脂肪ぎりたる(脂満肥)	車に脂油をひく	豚の脂肪	厚恩、厚き恩恵(めぐみ)	膏藥、あぶら	幸運の人、仕合せ者

糕	糕	糕	糕	糕	糕	糕	糕	糕	糕	糕
餅の如き粘氣ある食物	同上	乾菓子の一種、乳兒の食料	水草(みさを)	原稿、草稿、下書、一般文書の)	官文書の原案、原稿	書記、記録係	草稿、下た書	草稿、文書の下書	書記室、記録室	枯る、しなびたる、生氣なき

解	假	校	倒	貸	休	個	官	告	縞
了	了	了	了	了	了	了	了	了	了
懺悔する、告白する	請暇する、休む、缺席する	比較する	敗訴したり、訴訟に負けたり	借用を申込む	辭職する	兒 <small>ル</small> 手水にゆく、便所にゆくこと	訴訟を提起する	訴ふる、訴訟する	白色、無地のもの 白色の、無模様

封	幫	病	白	退	竣	狀	盡	成	借
封	求	情	情	情	情	情	情	情	情
官吏の家族を封ずること	上より下に告ぐること、官職を命ずる勅命	憐みを乞ふ	廣告、廣告する	病氣を申立つる、病氣を申出	辭職する	竣功する、落成する、出来あがる	訴訟、訴訟する	無くなる、盡くる	落成する、成功する

命	考	案	驗	問	官	功	試	中	掉	妣
首	首	首	首	首	首	首	首	首	首	首
勅命にて官を授けること 試験する、参考する、研究する	第一位の及第者とする（科擧の語）	試験する、しらべる	試問する、しらべ問ふ	試験官、試験を司る官吏	功績を詮議する	試験、試験する	試験に及第する、合格する	試験に落第する、不合格となる	亡父母（亡父は先考、亡母は先妣）	

核	名	院	員	語	籃	手	直	火	木
核	名	院	員	語	籃	手	直	火	木
考查する、参考とする	試験名（試験場に用ふる名）	科擧の試験場	受験者	試験の答案に附する批評語	受験者が試験場へ携帯してゆく雜品籃（科擧の時に用ふる）	焼く、あぶる、あたゝめる	手をあぶる、手を火にかざして焼ためる	焼きて眞直ぐにする	火にて焼ためる



拷訊(シユイヌ) 拷問する、苦しめて問ひしら  
 べる、依頼する、よりかゝる、  
 依頼する  
 椅子(チユイヌ) ベンチ、椅子の尻りかゝる部  
 分  
 船(チユアヌ) 碇泊する、船を岸によらす  
 倚りかゝるもの、椅子などの  
 背部  
 頭(トウ) 依頼し得る、たより得る、信  
 頼し得る  
 得(トウ) 頼り得ざる、あてにならぬ、  
 信頼の出来ぬ  
 不(フ) 顔を以て取捌く、面目  
 去(チユイ) 顔を以て事件を處置する  
 辦(パン) ねぎらふ、勞を悩む  
 勞(ラウ) 柳の類、手鏡の類  
 鏑(カウ) 乾く、乾かす、乾きたる、チ  
 子(ツイ) イエヌ(上平有氣)の音を見よ

阿(ア) 乳を給せざる乳母  
 兒(エ) 子供分  
 果(カ) 干果物(水菓子に對して)  
 乾(カ) 努力して止まざること  
 館(カン) 事を爲すして俸給を得ること  
 嗽(ソウ) せき、肺病などの時にす  
 親(チン) 親類つきあひ、準親戚  
 折(チエ) 進物の代りに金錢を送ること  
 淨(チン) 清潔なる、きれいな  
 著(チヤウ) 固めたる味噌  
 急(チヤウ) セツかち、無暗と氣を揉む

カオ拷、鏑、稿、拷、カヌ乾、干、甘、肝、疳

脆(フイ) てきはきと話ず、明快なる言  
 語をいふ  
 菜(ツァイ) 野菜の乾したるもの  
 參(アム) 父ぶん(實父にあらぬ)  
 燈(トウ) 眼をパチクリする、目をひら  
 眼(アン) き見る  
 娘(ニヤン) 母ぶん(實母にあらざる)  
 片(ピエ) 乾板(寫眞の)  
 噦(エ) 嘔氣を催すこと  
 干(カヌ) 關係する、かゝりあふ  
 休(シイウ) 止める、落着する  
 尖(チイ) 毛皮、狐の足  
 證(チン) 證とする

求(チウ) 願ふ、願望する  
 甘(カヌ) 甘んずる、甘んじて  
 心(シン) 心に承諾して、甘心して  
 旨(チイ) 好意ある旨意  
 結(チエ) 承諾書、請書  
 脆(フイ) 明快に、はきくと  
 雨(ユ) 早敷時に降る雨、喜雨  
 願(ユ) 承服する、心から甘んじて  
 肝(カヌ) 心臓、肝臟  
 火(ホ) 怒ること、心に激すること  
 疳(カ) よこね、かんそう

趕 <small>カマ</small> 起 <small>カマ</small>	敢 <small>カマ</small> 感 <small>カマ</small> 泔 <small>カマ</small>	竿 <small>カマ</small> 杆 <small>カマ</small> 柑 <small>カマ</small>
情 <small>チン</small> 常 <small>タシ</small> 死 <small>ス</small>	(念 <small>ニエス</small> )	(子 <small>ツイ</small> ) (子 <small>ツイ</small> ) (子 <small>ツイ</small> )
同上	敢て……、敢行する 決死、身命を賭して實行する 相當る、當然なる 其實、事實上、全くは 急ぐ、追ふ、おひかくる、急 に……に及んで	蜜柑、九年母の類 丸太、細長き丸木 竹さを、竿 米のとき汁 感ずる、思ふ、念とする 同上

早 <small>アオ</small> 脚 <small>チアオ</small> 車 <small>チオ</small> 緊 <small>チオ</small> 集 <small>チイ</small> 錐 <small>チユイ</small> 得 <small>ド</small> 到 <small>タオ</small> 上 <small>シアン</small> 鬼 <small>コウイ</small> 快 <small>コアイ</small>	
的 <small>ダイ</small> 的 <small>ダイ</small> 上 <small>シアン</small>	
同上	急ぐ、急ぎて、急に、速かに 鬼逐ひ、追儼 急ぐ、追ふ、逢遇する、間に 合ふ 急いでゆく……到るに及び 追つき得らるゝ、間に合ふ 螺旋錐、ボルト錐 集會に参加する、市へ出る 急いで、速かに、はやく 馬車などの馭者 馬士(まご) 早立ち(旅行の)

幹 <small>カマ</small>   桿 <small>カマ</small>   擗 <small>カマ</small>   橄 <small>カマ</small>									
兒 <small>アル</small> (子 <small>ツイ</small> )   麵 <small>ミエス</small>   皮 <small>ビ</small>   杖 <small>チアン</small>   子 <small>ツイ</small>   的 <small>ダイ</small>									
上 <small>シアン</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>									
行ふ、……する、實行する	親方、取締(乞食などの)	竿、木の細長き棒	餛飩類を平めのはす棒	引のばす、平めてのばす 餛飩などの皮を平たくのばす こと	かんらん(果物)	さであみ、網の一種	驢馬を馭する者、驢馬夫	寺社へ遊びにゆくこと	會合に集合する

堪 <small>カマ</small>   可 <small>カ</small>   宜 <small>イ</small>   練 <small>リエス</small>   員 <small>ユエス</small>   得 <small>ド</small>   臣 <small>チエス</small>   甚 <small>シエス</small>   事 <small>シ</small>   營 <small>イン</small>   堪 <small>カマ</small>   可 <small>カ</small>   宜 <small>イ</small>   練 <small>リエス</small>   員 <small>ユエス</small>   得 <small>ド</small>   臣 <small>チエス</small>   甚 <small>シエス</small>   事 <small>シ</small>   營 <small>イン</small>																				
的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>   的 <small>ダイ</small>																				
甚だ適當なる、恰當なる	同上	適當なる、恰かも宜き	堪ふる、事に堪へ能ふこと	熟練せる、仕事に熟したる	能力ある官吏、實力ある官吏	爲し得る、事を行ひ得らるゝ、 來	能ある臣下、仕事の出来る家	何をするか、何を爲すか	仕事をやる、事を實行する	職業を掌る、仕事をする	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

カ又柑、杆、竿、泔、感、敢、趕、擗、擗、桿、幹、堪

刊	門	孩	錢	街	家	看	用	當
件	的	子	鬼	的	狗		任	
印刷物、刊行せるもの	門番、入口の番人	子守、子供のりする	守錢奴、金錢の番人	市街の見廻人、町内の番人	番犬、家の番する犬	譁る、見まもること	役に立つ、立ふるに堪ふ	恰相當なる、適當なる

侃	檻	頭	死	下	砍	坎	龜	例
	(車)	頭	兒	來	兒			
侃然たる、侃々たる	囚人運送車(チイエヌ(去)の音あり)	頸の廻りに出る腫物	頭の廻りに出る腫物	チョツキの類、袖無し衣	切り殺す(凶器などにて)	きりおろす、切りつける	大厄の年	切る、刃物などにて切りおろす

起	待	勢	上	柿	管	官	顧	過	塾	看
來		作							地	
見れば、敬意を表する	待遇する、厚遇する	事、臨機應變の才あること	見とれる、見あげる	トマト	見ること	注意する、世話する、面倒を見る	小説などの語に見る人、讀者	世話する、世話する、面倒を見る	曾て見たることありたりの意	墓地を選定する

丈	誤	勘	望	風	不	不	頭	中	見	輕	了
			頭	頭	起	見	兒	過	過	了	
	正誤する、誤を正す	考ふる、測る	訪問する、たづねる	日和見する、形勢を観望する	蔑視する、侮る、輕蔑する	見えない、見えず	見だす、輕視する、侮る	見たることありたり	氣に入る、意に適する	みどころ、みばえ	見えない、見えず

剛<sup>カン</sup> | | | 鋼<sup>カン</sup> | 網<sup>カ</sup> | | | 剛<sup>カン</sup>

剛<sup>カン</sup> | | | 鋼<sup>カン</sup> | 網<sup>カ</sup> | | | 剛<sup>カン</sup>  
門<sup>メン</sup> 筆<sup>ヒツ</sup> 鑽<sup>ソウ</sup> 眼<sup>ガン</sup> 鑑<sup>カン</sup> 復<sup>フク</sup> 纒<sup>ケン</sup> 剛<sup>カン</sup>

剛き、今、只今、今し方  
丁度今、今し方、今、只今  
同上  
剛腹なる、我の強き  
綱目、つな、大綱、要點  
歴史、史書  
はがね、鋼鐵  
鳩目の類  
舞錐、ポルト錐の類  
ペン、ペン先  
肛門、臀の穴

| 糠<sup>カ</sup> | 康<sup>カン</sup> | 虹<sup>カ</sup> | | 杠<sup>カン</sup> | 槓<sup>カン</sup> | 崗<sup>カン</sup> | | 缸<sup>カン</sup>

| 糠<sup>カ</sup> | 康<sup>カン</sup> | 虹<sup>カ</sup> | | 杠<sup>カン</sup> | 槓<sup>カン</sup> | 崗<sup>カン</sup> | | 缸<sup>カン</sup>  
鷄<sup>チ</sup> (健<sup>ケン</sup>) 房<sup>フ</sup> 瓦<sup>ワ</sup> 窯<sup>ヤウ</sup>

かめ、焼物のかめ  
かめを焼く竈、瀬戸物窯  
陶器市  
小丘、をか、小高き處  
重學原器の一種、槓杆  
同上  
葬具屋、木材などを賣る店  
にじ  
安らかなる、健康なる  
ぬか、悪しきろず物  
瘦せたる鷄

抗<sup>カン</sup> 匠<sup>カウ</sup> | | | | | 炕<sup>カウ</sup> | 扛<sup>カウ</sup> |

抗<sup>カン</sup> 匠<sup>カウ</sup> | | | | | 炕<sup>カウ</sup> | 扛<sup>カウ</sup> |  
(牀<sup>シヤウ</sup>) 洞<sup>ドウ</sup> 几<sup>キ</sup> 氈<sup>セン</sup> 蓆<sup>シヤ</sup> 沿<sup>エツ</sup> 不<sup>フ</sup> 貨<sup>カウ</sup>

ろず物、賣口の悪き品  
肩にて擔ふこと、かつぐ  
擔ぎ得ざる(重き爲)  
火床(北支那の家屋に備ふるもの)  
火床の椽<sup>カウ</sup>  
火床の上に敷くむしろ  
火床の上に敷く絨毯の一種  
火床の上に備付くる小机  
火床の火氣を通ずる洞穴  
床、寢臺  
反抗する、抗敵する、さから

| | | | | 姑<sup>カウ</sup> | | |

| | | | | 姑<sup>カウ</sup> | | |  
母<sup>ボ</sup> 子<sup>シ</sup> 蘇<sup>ソ</sup> 嫂<sup>サウ</sup> 姑<sup>カウ</sup> 爺<sup>ヤ</sup> | | |  
廟<sup>ミヤウ</sup> | | |

價<sup>チヤウ</sup> 糧<sup>リヤウ</sup> | | |  
價ぎられてもまげざる  
納税を拒む  
しうとめ、父の姉妹、未婚の女  
むこ、お婿さん  
父の姉妹、姑  
姉分、兄の妻  
江蘇省蘇州の古名  
尼寺、女僧の庵寺  
伯叔母(をばさんのこと)

カン剛、鋼、缸、缸、崗、槓、杠、虹、康、糠、扛、炕、匠、抗、ク、姑

娘<sup>ニヤン</sup> 娘、未婚の女子  
 ねぶみする、はかる  
 古着、出来合の着物  
 ねぶみする、評價する  
 推量する、おしはかる、想像する  
 同上  
 孤子、みなしご、單獨  
 父母ともに無き孤兒  
 單獨なる、ひとりっぼつち  
 朕(皇帝の自稱)  
 單獨なる、孤獨なること

沽<sup>カ</sup> 賣る、買ふ  
 たが、桶にたがかけること  
 そむく、辜負する  
 古昔、むかし、ふるき  
 怪しき、一癖ありげなる  
 守舊なる、古くさき  
 守舊癖、頑固(かたく)  
 氣(ナ)なる  
 ほね  
 子孫、血統  
 ほね(一切の骨をいふ)  
 體力、腕力

鼓<sup>ク</sup> 太鼓、鼓舞する、はげます  
 おだてる、煽動する  
 鼓舞する、勵ます  
 手ばたきする、拍手する  
 太鼓臺、太鼓を載せる臺  
 時の太鼓を打つ樓(支那の市街にあり)  
 穀物、五穀の總稱  
 ぬか、穀類の糠  
 稗(から)、穀物の稗  
 粗がら  
 陰曆三月一日頃の節

谷<sup>コ</sup> 谷、低く凹みたる部分  
 足の裏の凹み  
 東風(こち)  
 商人、姓氏の場合には(チイア)  
 (上聲)の音  
 市場、賣買市場  
 株式、組、また、も  
 株金  
 株主  
 株主、出資者  
 株式  
 株券、又股份票ともいふ

利<sup>リ</sup> 輪<sup>リン</sup> 故<sup>コ</sup> 固<sup>コ</sup> 意<sup>イ</sup> 然<sup>ゼン</sup> 履<sup>リ</sup> 脚<sup>キョウ</sup>

株の利益、利益の配當分  
車輪、車の輪をいふ  
中高なる  
事故、理由、故に、古き、死せる  
故意に犯したる罪  
故郷、ふるさと  
固き、もとより、言ふまでもなき  
意志の固き  
もとより、當然、言ふ迄もなき  
雇ふ(人馬車船など一切のもの)  
人足を雇ふ

顧<sup>コ</sup> 主<sup>シュ</sup> 嘴<sup>ソウ</sup> 鋼<sup>コウ</sup> 哭<sup>ク</sup> 窟<sup>ク</sup> 枯<sup>コ</sup> 血<sup>ケツ</sup>

雇入れ方を確定したり  
顧る、愛顧する、世話する  
花客(とくろ)、顧客  
生活を顧慮すること  
古鋼を修繕する人  
泣く、聲を出して泣くこと  
死する程に泣く(悲みの極)  
泣き出す  
穴、穿ちたる穴  
枯る、枯死する  
貧血する、血の氣が無くなる

苦<sup>ク</sup> 骷<sup>コ</sup> 功<sup>コウ</sup> 瓜<sup>カ</sup> 待<sup>タイ</sup> 窄<sup>サイ</sup> 主<sup>シュ</sup> 酒<sup>シュ</sup> 竹<sup>チキ</sup> 差<sup>サイ</sup> 地<sup>チ</sup>

されかうべ、どくろ  
苦き(味の)、くるしみ、くるしむ、くるしめる  
苦役、劇しき労働  
荔枝(れいし)  
酷遇する、虐待する  
貧苦なる、貧窮の極なる  
殺されたる人の爲めに訴ふる原告  
ビール  
眞竹(またけ)  
苦役  
貧しき土地、瘠土の地方

拔<sup>ハク</sup> 雨<sup>ウ</sup> 房<sup>フウ</sup> 平<sup>ヘイ</sup> 袴<sup>コウ</sup> 褲<sup>クウ</sup> 帶<sup>タイ</sup> 襠<sup>タン</sup> 脚<sup>キョウ</sup> 腰<sup>ウ</sup>

抜。ヤツと、ナツと、辛うじて  
霖雨(ながあめ)  
倉庫、くら  
倉庫  
通用銀の一種(納税に用ひたる)  
はかま、股引の類  
同上  
袴紐、袴を緊る帯  
袴の下部  
袴の裾  
袴の腰部

ク一穀、凸、故、固、履、顧、鋼、哭、窟、枯、骷、苦、庫、袴、褲

酷ク 好コ  
 ひどく、甚だ、酷烈なる  
 ひどく好い、甚だ良き

ケ

給ケ 我ウ 買イ  
 與ふる、くれる、爲にする  
 私に買つてくれ、私の爲に買  
 根、ね、根本  
 土臺、基礎  
 究盡する、根本的に研究する  
 根本の理由、由來、わけ  
 元帳、台帳

跟ケ 誰シ 誰シ 學シ  
 後よりつき従ふ、隨從する  
 誰シ 誰シ からそんな悪いこと  
 を習ふたのか?  
 隨從する、したがふ  
 彼に向つて要求する  
 前、其前、足元、目前  
 驢馬夫  
 褌リ 腰に挿む錢入  
 官吏などの下僕、従者  
 承諾する、肯諾する  
 かむ、かじる  
 骨をしやぶる

根ク 脚チ 我ウ 給ケ  
 土臺、基礎  
 究盡する、根本的に研究する  
 根本の理由、由來、わけ  
 元帳、台帳

懇ク 求チ  
 願ふ、懇願する  
 お願ひする、懇願する、切に  
 願ふこと  
 開墾する、土地を拓く  
 開墾者  
 更に、一層、其上に、別に、  
 チン(上平)を見よ  
 交代する、かはる  
 かへる、交代する、交換する  
 時を報ずる番小屋  
 時を報ずる番人、夜番  
 改名稱、名義變更の手数料  
 時を報ずる樓

更ク 戶ホ 墾ク  
 交代する、かはる  
 かへる、交代する、交換する  
 時を報ずる番小屋  
 時を報ずる番人、夜番  
 改名稱、名義變更の手数料  
 時を報ずる樓

樓ロ 名シ 夫フ 房フ 換ホ 替イ  
 改名稱、名義變更の手数料  
 時を報ずる樓

ク 酷ケ 給ケ エヌ 根 跟 肯 哨 懇 墾 ケ (エン 更 耕 羹 稷 梗 梗 庚 耿 耿 (直))

耕ク 羹ク 稷ク 梗ク 梗ク 庚ク 耿ク 耿ク  
 耕す、耕耘する  
 あつもの、汁の一種  
 汁食物の一種  
 汁をすくふ匙(さじ)  
 うるち米  
 同上  
 十千の一、年齢  
 西の方  
 年齢を記したる書付  
 年齢、生れ年  
 正直なる、剛直なる

羹ク 稷ク 梗ク 梗ク 湯ク 匙ク  
 汁をすくふ匙(さじ)  
 うるち米  
 同上  
 十千の一、年齢  
 西の方  
 年齢を記したる書付  
 年齢、生れ年  
 正直なる、剛直なる

耿ク 耿ク 年ク 帖ク 金ク  
 正直なる、剛直なる

哽<sup>ケ</sup> 咽<sup>マ</sup> 噎<sup>チ</sup> 亘<sup>ク</sup> 莖<sup>ク</sup> 頸<sup>ク</sup> 纒<sup>ク</sup> 坑<sup>ク</sup> 人<sup>リ</sup> 魚<sup>イ</sup>

むせる(飲食物の爲に)  
むせる  
同  
亘る、連續する、つゞく  
くき  
くび  
井戸の釣瓶繩  
穴、陷穴、陷殺する  
人を苦しむる  
養魚池の魚

割<sup>カ</sup> 不<sup>フ</sup> 不<sup>フ</sup> 板<sup>イ</sup> 淺<sup>チ</sup> 記<sup>チ</sup> 下<sup>シ</sup> 攔<sup>カ</sup>

置く、安定する、やめる  
置く、安定する、安置する、  
容る、やめる(事を)  
念頭に置く、記憶を忘れざる  
擱岸する、擱坐する(船の)  
棚、棚板  
置き得ざる、容るゝ能はざる、  
やめ能はざる  
安定し得ざる、止め得ざる  
切る、さく、切り離つ  
切る、截り離つ

肢<sup>チ</sup> 星<sup>シ</sup> 腋<sup>チ</sup> 脛<sup>チ</sup> 歌<sup>カ</sup> 嫂<sup>サ</sup> 哥<sup>カ</sup> 兒<sup>ル</sup> 捨<sup>シ</sup> 勢<sup>シ</sup>

去勢する、舉丸を切り取るこ  
と分離する、棄つる  
兄、あにき、若者  
兄弟等、きやうだいたち  
兄、あにき、兄分  
兄と共妻、兄よめ  
うた、歌ふ  
ひぢ  
肘の上部、腋に近き二の腕  
きず、あら  
腋下、脇の下

局<sup>チ</sup> 格<sup>カ</sup> 格<sup>カ</sup> 鳩<sup>ト</sup> 鵠<sup>ト</sup> 戈<sup>カ</sup> 瘡<sup>チ</sup> 瘡<sup>チ</sup> 膊<sup>チ</sup> 臂<sup>チ</sup> 膀<sup>チ</sup>

ひぢ、腕、二の腕、上膊部  
同上  
上膊部、ひぢ、二の腕  
腫物、出来物  
できもの、小塊  
白癩、ばか  
ほこ、昔の武器  
鳩、はと  
わく(罫にてしきりたる)  
貝勒(前清の皇族)の妻  
外觀、みかけ模様

ケ(エン哽、亘、莖、頸、纒、坑、コ一擱、割、哥、歌、脛、疙、戈、格、鳩)



黨	職	革	膜	壁	教	閔	隔	漏	不	字	紙
革命黨	免職する、官職を奪ふこと	へだまり、邪魔物、さまざまあるもの あらたまる、改革する、革新する	となり、隣家	回教(モハメット教)	意志の疏通せざる	へだつる、間隔ある、又音(チイエ陽平)	雨垂よけ	支へきれざる	四角の罫線ある紙		

嗚	閣	膈	葛	蛤	退	掉
ひぢ	ひぢ、二の腕	樓閣、君(同輩に用ふ)	ひぢ	ひぢ	夏衣の材料にするあらき布	蔓草、かつら
はまぐり	はまぐりの肉	はまぐり貝	はまぐり	はまぐり	はまぐり	はまぐり

兒	行	界	色	式	各	桶	症	噎
むせる、胸がつかへる	しゃくりの出る病、しゃくりついたての類、室内の仕切りなどに用ふるもの	おのゝ、いろゝ、各種各様	各種、いろゝの種類	各種、いろゝの種類	各方面の社會	各種の商店、各種箇數	同上の俗字	がら、個體のこと

刻	房	分	舉	食	科	蛇	半	子
薄	斗	房	分	舉	食	科	蛇	半
薄	斗	房	分	舉	食	科	蛇	半

殼<sup>カク</sup> 壳<sup>カク</sup> 頰<sup>カク</sup> 顆<sup>カク</sup> 棵<sup>カク</sup> | | | | 磕<sup>カク</sup> |  
 碰<sup>ボウ</sup> 頭<sup>トウ</sup> 磕<sup>カク</sup> 瓜<sup>カク</sup> 板<sup>バン</sup>  
 巴<sup>バ</sup> 子<sup>シ</sup>  
 版木を刻すること  
 うちつける、うちあはせる  
 西瓜の種を噛み割ること  
 どもる、口の不自由な  
 頭を打つておじぎすること  
 衝突する、打つける  
 樹木の株  
 つぶ(丸きものなどの)  
 あご(人體の)  
 から(都ての物の)  
 同上

| | | | | 可<sup>カ</sup> 搭<sup>タ</sup> 瞌<sup>カ</sup> 咳<sup>カ</sup> 岐<sup>カ</sup>  
 否<sup>フ</sup> 巧<sup>カウ</sup> 身<sup>シ</sup> 是<sup>シ</sup> 心<sup>シン</sup> 以<sup>イ</sup> 出<sup>チ</sup> 睡<sup>シュ</sup> 嗽<sup>ソウ</sup> 打<sup>ダイ</sup>  
 (子) (馬) (扣) (化) (堪) 漏 本 票  
 叩く、打つ  
 せき、せきすること又音ハイ  
 ねむる  
 摘み出す、又音(チイア  
 可能なる、宜し、適する  
 會心の、心に適したる、心すべ  
 然し、しかし乍ら  
 身體に適する、身體に合ふ  
 丁度、都合よき、適當なる  
 …するや否や、可なりや否?

| | | | | 客<sup>カク</sup> | 渴<sup>カク</sup> | | |  
 應<sup>オウ</sup> 店<sup>テン</sup> 棧<sup>チ</sup> 氣<sup>キ</sup> 商<sup>シ</sup> 慕<sup>モ</sup> 原<sup>ゲン</sup> 不<sup>フ</sup> 風<sup>フ</sup>  
 是<sup>シ</sup> 麼<sup>マ</sup>  
 傳ふべき、稱揚すべき  
 無論その通りなりの意  
 恕すべき、諒とすべき  
 渴する、喉のかはくこと  
 慕ふの情に堪へざること(通  
 信文などに用ふ)  
 客、きやく  
 行商者、旅へ出て商賣する人  
 遠慮する、控ひ目なること  
 旅店、商人の旅宿  
 旅館、やどや、はたごや  
 客室、應接室、客間

鏗<sup>キョウ</sup> 騾<sup>ロ</sup> | 剋<sup>カク</sup> | 克<sup>カク</sup> | 刻<sup>カク</sup> | 課<sup>カク</sup> |  
 (子) (馬) (扣) (化) (堪) 漏 本 票  
 乗船(車)券  
 課する、わりあてる、税金  
 教科書のこと  
 時刻、とき、陰平  
 水時計、昔の時計  
 勝つ、よくすること  
 其任に堪ふる  
 消化する(食物の)  
 棒先をきる、頭をはる(金錢  
 の)  
 めす、牝馬、めうま  
 粒銀、銀の小塊

コ一磕、棵、顆、壳、殼、咳、瞌、搭、可、渴、客、鏗、剋、克、剋、課、鏗、八七

除	結	眼	情	當	臉	抹	銷	眼	引	勾
取消す、除き去る	結託する、ぐるになる、連累者となる	帳簿を消す、棒をひく	通ずる、情を通ずる	場合、際、折、時、状況	顔を隈どる(役者などが)	上塗りす	棒を引く、帳消しする	パチン止の靴	かどほかす	ひっかける、ッける

碗	栗	鑷	梯	住	止	連	留	通	子
電気用碍子(がいす)	どんぐり	鎌鎗	かぎはしご	同上	とめる、ひっかけて止める	環 通ずる、くつつく	かぎ、ひっかける	滞在する	フホーク、ひっかけ

尻	肺	蠅	血	熊	狗	溝	手	役	勾
いふ語	賤しき、奸悪なる	子 ちよぼく、鬚、疎鬚	頭 人を罵ること、人を譏り傷めること	くま、空ぐま	犬のこと	溝のふち、どぶのへり	みぞ、どぶ、水渠	連累者	勾に通じて用ふ

用	本	多	多	够	殼	苟	合	豆	洞	腿
役に立つ、使はるゝ	もと價に「あふこと	同上、北京の俗語	どんなにか、如何程にか	同上	足る、充分なる、十分に作る	同上	役所の下役、錢の爲に動く小役人	犬くゞりの穴	犬 虱、だに	かりそめなる、いやしくもとり入る、へつらふ

コウ勾、鈎、拘、溝、狗、苟、殼、够

垢コウ (汚ウ) あか、あかじみる  
 搆コウ 足を爪立て背伸びして手を伸  
 搆コウ ばすこと  
 棗ソウ 棗をもぐ(手を伸ばして)  
 不フ 足を爪立て伸びても届かざる  
 購コウ 買う、あがなう  
 置チ 買入る、買取る  
 起チ 買ふ、仕入る、買入る、  
 破ポ 指先にて摘む、揉む、爪ぐる  
 来ライ 掲げ上げる  
 掲ケイ つきやぶる、突ついてやぶる  
 口、港、長城の門、獸畜類の  
 年齢をいふ

音イン 發音のぐあひ、發音、  
 味ミ あじはひ(食物の)  
 小コウ 獸類の年若きこと  
 袋ダイ ふくろ、袋の總稱  
 子シ 港、海港、川の入口  
 氣キ 口ぶり、話模様  
 角カク 口論する、争論する  
 才サイ 辯才、話しの上手なる  
 輕ケイ 味の淡泊なる、又獸類の年少  
 頭トウ こと  
 兒ニ あじはひ(食物の)  
 兒ニ 口くせに言ふ語

頭トウ 普通一般のはなし  
 頭トウ 口先丈けの交際  
 頭トウ 兒ニ 緊ニ 主張の強硬なる  
 北ペイ 蒙古地(長城の北といふ意)  
 面ミン 間口、表間口  
 麪ミン 蒙古産のきのこ  
 號ヘウ 合圖、口笛にて合圖する  
 糧リヤウ 糧食、食料  
 外ワイ 蒙古、長城外の地方  
 叩コウ 請ふ、願ふ、たどく  
 謝シヤ 拜謝する、鳴謝する

首シュ 叩頭する、おじぎする  
 請チン 懇願する、願ふ  
 稟リン 申上ぐる、言上する、願上ぐ  
 折チヤ 割引する、金額を切り去る、  
 算サン 差引する  
 水スイ 引落す、割引する、差引する  
 用ヨウ 引落して算へる  
 鉤コウ 割引、ひきおとしたる  
 鼻ビ 手数料、コンミツシヨ  
 子シ ばたん  
 子シ 鉤のひっかけ、鉤輪  
 子シ 鉤の穴

瓜<sup>コウア</sup> | | | | | 刮<sup>コウア</sup> | 寇<sup>コウ</sup> | 門<sup>ノエス</sup>  
臉<sup>リエス</sup> 鉤<sup>コウ</sup> 字<sup>ジ</sup> 刀<sup>タウ</sup> 舌<sup>シヤ</sup> 痧<sup>シヤ</sup> 賊<sup>ツァイ</sup> 門<sup>ノエス</sup>  
子<sup>子</sup> 子<sup>子</sup>

卸輪、ぼたんかけ  
あだ 賊徒  
賊徒、不逞の徒  
くづる、そぐ、剃る  
コレラの類  
舌こき  
かみそり  
字を削りおとす  
けづる、鉤をかけること  
顔を剃る  
ウリ

鵝<sup>コウア</sup> 蝸<sup>コウア</sup> | | | | | 廳<sup>コウア</sup> | | | | |  
牛<sup>ニウ</sup> 繖<sup>フラス</sup> 飛<sup>フイ</sup> 風<sup>フオン</sup> 舖<sup>フ</sup> 子<sup>子</sup> 瓜<sup>コウア</sup> 葛<sup>コウ</sup> 代<sup>ダイ</sup>  
了<sup>了</sup> 兒<sup>ル</sup> 的<sup>的</sup>

交代する  
關係する、ひつかゝりのひ  
立派なる、見ばえある  
西瓜又は南瓜のたね  
瓜小屋、瓜畑 番所  
風の吹くこと  
風が吹く  
吹きとばす  
吹きかへす  
かたつむり、でむし  
鳥、からす

| | | | | 掛<sup>コウア</sup> | 寡<sup>コウア</sup>  
紅<sup>ホウ</sup> 火<sup>ホオ</sup> 賬<sup>チヤン</sup> 欠<sup>チイ</sup> 車<sup>チヤ</sup> 鉤<sup>コウ</sup> 印<sup>イン</sup> 意<sup>イ</sup> (挂) 妻<sup>サイ</sup>  
人<sup>人</sup>

ごけ、寡婦  
妾、めかけ  
かける(凡ての事物を)  
心にかける、氣にかける  
辭任する  
連結手(汽車などの)  
車をつなぐ(列車など)  
掛けに買ふ、借りにする  
同上  
氣乗りする、乗氣になる  
祝ふ、祝ひの飾り物

誇<sup>コウア</sup> | | 罍<sup>コウア</sup> 樹<sup>コウア</sup> | | 卦<sup>コウア</sup> | | | | |  
悞<sup>コウ</sup> 碍<sup>ア</sup> (子) 命<sup>メイ</sup> 位<sup>ウイ</sup> 念<sup>ニエン</sup> 花<sup>ホウ</sup> 號<sup>ハウ</sup>  
木<sup>キ</sup>

書留、書留める(郵便物など)、申込む  
着飾る、しやれる  
心配する、心にかける  
占ふ、八卦  
算木(さんぎ)  
占ふ、八卦を置く  
上着、羽織の如き類  
妨げある  
さまたげ、故障  
まちがひ  
誇る、誇大に吹く

ウ寇コウア 刮 廠 蝸 罍 寡 掛 卦 桂 罍 誇

口	獎	子	嘴	骨	當	跨	子	所
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
口	獎	子	嘴	骨	當	跨	子	所
ほら	ほめ	ほら	誇る	脾	内	また	日	客
を吹く、誇る	そやす、ほめすぎる	ふき、誇りを事とする者	をふく	白、ひかゞみの凹み	また	たがる	和見黨(ひよりみ)	船、屋根船
								傍側の建物

院	乖	口	張	子	磨	肘	過
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
院	乖	口	張	子	磨	肘	過
傍側	そむく	不思議	口を吸	同上	つむじまがり	拐	拐
の庭、側園	背反する	なる	ひあふ、キツス				

彎	販	拐	怪	澁	燙	好	不	櫃	筐	痒
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
彎	販	拐	怪	澁	燙	好	不	櫃	筐	痒
曲がる	人身を	杖、棒	あやしき	非常に	すてきに	非常に	道理で	掻く	竹かこ	痒き
まがりの	を買すもの	つゝかい棒	甚しき	澁き	熱き(大へん熱い)	良き	當然なる	かゝへる(腕にて)	を抱へる	部分をかくこと

快	信	當	槍	活	頭	候	塊	官	印
コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ	コウ
快	信	當	槍	活	頭	候	塊	官	印
快速なる	速達郵便	はきくする	連發銃	氣持よき	捕賊の係長	箸	かたまり	政府、官吏	賞名
はやく、速かに			新式銃	こゝちよき		はし	(いるく)なる)	、官衙、公けの、	(字又は號などに對する)

コウア跨、跨コウアイ乖、拐、怪、櫃、快、快、塊、塊、官

詰<sup>カオ</sup> 客<sup>コホ</sup> 工<sup>コウ</sup> 私<sup>シ</sup> 司<sup>シ</sup> 項<sup>シ</sup> 衙<sup>シ</sup> 息<sup>シ</sup> 府<sup>フ</sup> 塘<sup>タン</sup> 錢<sup>チ</sup>

榮譽の稱を與ふる勅命書  
男子客(婦人客に對して)  
官署の仕事  
公私  
訴訟のこと  
官金、公金、政府の金員  
官稱、官職名  
保障利子  
官衙、事務所  
共同浴室  
政府鑄造の錢

差<sup>チ</sup> 價<sup>チ</sup> 尺<sup>チ</sup> 場<sup>チ</sup> 中<sup>チ</sup> 座<sup>チ</sup> 體<sup>チ</sup> 帖<sup>チ</sup> 方<sup>チ</sup> 話<sup>チ</sup> 諱<sup>チ</sup>

官職  
正價、公平なる定價  
政府にて用ふる尺度  
官吏社會、官界  
共同便所  
棧敷、上席  
官吏の體面  
手形の一種(紙幣に代用するもの)  
官規、官のきまり  
廣く通ずる標準語  
實名、本名

板<sup>バ</sup> 迷<sup>ミ</sup> 面<sup>ミ</sup> 利<sup>リ</sup> 運<sup>ユ</sup> 觀<sup>コウ</sup> 星<sup>シ</sup> 象<sup>シ</sup> 寺<sup>ス</sup> 關<sup>コウ</sup> 碍<sup>アイ</sup>

錢のこと、穴あき錢の別名  
役人氣狂、官吏を湯仰する者  
官吏の體面  
保障利子、規定利子  
官吏としての運、政府の專賣  
みる、觀察する、道教の寺  
天文を測る者  
氣象臺、天文臺  
道教の寺院  
税關、關、關係する  
故障、さまたげ

口<sup>コウ</sup> 餉<sup>コウ</sup> 津<sup>チ</sup> 卡<sup>カ</sup> 照<sup>チ</sup> 粥<sup>チ</sup> 切<sup>チ</sup> 頭<sup>チ</sup> 東<sup>トウ</sup> 東<sup>トウ</sup> 俸<sup>フ</sup>

稅關の設けある港、關門  
給料又は手當などを受取る  
海關、輸出入港  
稅局(支那内地の)  
通行鑑札、世話する、面倒を見る  
施こしの粥をもちうること  
心にかける  
つぎ目、境目  
滿洲、山海關の東といふ意  
滿洲産の煙草(著名なり)  
俸給を受領する

櫛 <small>コウアヌ</small>	材 <small>ツアイ</small>	單 <small>ツァン</small>	棺 <small>コウアヌ</small>	蓋 <small>カイ</small>	冠 <small>コウアヌ</small>	鰥 <small>コウアヌ</small>	外 <small>ワイ</small>	門 <small>メン</small>	舖 <small>ブ</small>	板 <small>バン</small>	子 <small>子</small>	子 <small>子</small>
よろこぶ、よろこび	棺のこと	棺の上おゝひ	棺(死者の)	官吏のこと、貴紳	かんむり	男やもめ、獨身者(男の)	關東に同じ	戸を締める、門を閉づる	同上	廢業する、店を閉ざす	同上	同上

包 <small>バウ</small>	飯 <small>ファン</small>	賬 <small>ザン</small>	家 <small>チイア</small>	帶 <small>ダイ</small>	許 <small>シユイ</small>	閑 <small>シイユ</small>	事 <small>シ</small>	工 <small>コウ</small>	管 <small>コウアヌ</small>	髻 <small>コウアヌ</small>
的 <small>的</small>	的 <small>的</small>	官 <small>コウアヌ</small>	事 <small>シ</small>	的 <small>的</small>	事 <small>シ</small>	的 <small>的</small>	事 <small>シ</small>	的 <small>的</small>	事 <small>シ</small>	的 <small>的</small>
ひきうける、うけ貰ひする	會計係、出納主任	食事を受ける、食事を給すること	引率官、司令	主人、友配人、監督者	餘計なことを世話焼くこと	或は、大抵、多分は	支配人、番頭、取締人	結びたる道士の髪	管理する、監督する、引受ける、受あひする	仕事の監督する、工事を監督すること

性 <small>シ</small>	慣 <small>コウアヌ</small>	衆 <small>チュン</small>	貫 <small>コウアヌ</small>	脂 <small>コウアヌ</small>	驛 <small>イ</small>	館 <small>コウ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	保 <small>パオ</small>
なれつこになる、習性となる	なれる、習慣となる	全體に行わたる	つらぬく、一貫する	足のこむら	驛舎、官立の宿場	やかた、事務所	管理し得られざる	監督することが出来ぬ	取締りきれざる	うけあふ、保證する

綽 <small>チョ</small>	貸 <small>タイ</small>	限 <small>シイユ</small>	寬 <small>コウアヌ</small>	頭 <small>トウ</small>	罐 <small>コウアヌ</small>	鶴 <small>コウアヌ</small>	漿 <small>チイアン</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	灌 <small>コウアヌ</small>	壞 <small>ホワイ</small>	了 <small>リョ</small>	
ひろくとしたる	目に見る	寛假する、ゆるしてやる、大	延期する、期日をゆるめてやること	ゆるぎ、ゆるやかなる、幅	各種の罐、くわん	笠鷺(かさゝぎ)	痲瘡などの膿をもつこと	糖	糖	糖	糖	糖	糖

コウアヌ、冠、棺、櫛、髻、管、館、脂、慣、灌、鶴、罐、寬



期 <small>チ</small>	籌 <small>チヨウ</small>	款 <small>コウ</small>	項 <small>シヤン</small>	式 <small>シキ</small>	治 <small>シヤ</small>	光 <small>コウ</small>	棍 <small>コウ</small>	身 <small>シ</small>	頭 <small>トウ</small>	景 <small>ケン</small>
期限をゆるめる、延期する ゆたかに支出する、會計に餘 裕ある	金員(會計用語)、條款	金額經費	様式、ひながた	款待する、厚くもてなす	只だ、光線、光澤、ひかる、光榮	獨身者、無賴漢	はだか、裸體	禿頭	やうす、ありさま、光景	

脚 <small>キョウ</small>	復 <small>フク</small>	勝 <small>シヤウ</small>	賣 <small>マイ</small>	溜 <small>リュウ</small>	亮 <small>リヤウ</small>	潤 <small>ジュン</small>	膏 <small>コウ</small>	扣 <small>コウ</small>	瘡 <small>チヤウ</small>	廣 <small>コウ</small>
はだし、跣足	元にかへす	肌脱ぐ、肩肌をあらはす	只だ、のみを賣るの意	なめらかに光澤ある	ひかり、あかり、光澤	つや、光澤、うるほひある	廣き、廣東	廣東より來る阿片	廣東鉛、舶來ボタン	廣東かさ、梅毒の俗稱

子 <small>ツ</small>	花 <small>ホウ</small>	貨 <small>ホウ</small>	土 <small>ド</small>	遊 <small>ユウ</small>	景 <small>ケン</small>	燈 <small>トウ</small>	廟 <small>ミヤウ</small>	審 <small>シヤウ</small>	匡 <small>コウ</small>	方 <small>フヤウ</small>	誑 <small>コウ</small>
廣東の阿片	廣東品、洋品、舶來品	廣東産の藍	遊ぶ、そゞろあるき	景色を見物すること	正月十五日の燈籠見物にゆくこと	寺の縁日に遊びにゆくこと	花柳の巷に遊ぶこと	すくう、たすくる	正方形	あざむく、だます、馬鹿にする	

狂 <small>コウ</small>	傲 <small>オウ</small>	病 <small>ビョウ</small>	誑 <small>コウ</small>	曠 <small>コウ</small>	夫 <small>フ</small>	況 <small>コウ</small>	框 <small>コウ</small>	眶 <small>コウ</small>	筐 <small>コウ</small>	狂 <small>コウ</small>	誑 <small>コウ</small>	況 <small>コウ</small>	框 <small>コウ</small>	眶 <small>コウ</small>
かご、竹のかご、はこ	狂氣、傲慢なること	傲慢なること	言ひかけする	ヒステリー	だます、うそをいふ、たぶらかすつくりばなし	むなしき、空なる	女を想うて娶り得ざる男	況んや、ましてや、其上に	わく、かまち	まぶた				

コウアヌ款、款、コウアン光、廣、遊、匡、誑、筐、狂、誑、況、框、眶

歸	款	降	着	還	規	矩	模	元	閨	女
カウイ	コウアヌ	シヤアン	チヨ	ホウアヌ	コウイ	チユイ	モ	ユアヌ	コウイ	ニユイ
歸る、一しよにする、纏める	償還する(金員を)	降服する	取まとめる、始末する 片づける	かへす、元へかへす、償還する	定規、規律ある、正しき きまり、定規にあてはまる、 規則	規模、みかけ、ありさま	上海の市場にて通用する銀 ねや、婦人室、婦人のこと	處女、生娘、きむすめ		
龜	公	孫	板	圭	晷	鬼	頭	樊	話	域
コウイ	コウン	ソクイヌ	パヌ	コウイ	コウイ	コウイ	フイ	フイ	フイ	フイ
かめ	破廉恥漢、娼妓の夫	人を罵る語	龜の甲羅	標準、規範	太陽、日輪	おに、幽霊、惡漢	非常に伶俐なる	弊害、あしきこと	つぶやく、ぐずぐず言ふ	物騒なる地方

詭	究	癸	貴	庚	幹	甲	夥	恙	櫃	上
コウイ	コウイ	コウイ	コウイ	コオン	コオン	チイア	ホオ	ヤン	コウイ	シアン
欺く、いつはる	姦邪なる	月經、經水	貴き、高價なる	御年齢は?と問ふ語	御職業は?御用向は?など問 ふ語	御年齢は?と若き人に問ふ語	貴店の御手代	御病氣、御不快	ひつ、はこ一切の稱	店頭、商店の帳場、賣場
箱	房	桂	帶	圓	月	下	子	手	削	增
シヤアン	ファン	コウイ	ダイ	ユアヌ	ユエ	シヤア	ツイ	シヨク	コウイ	コウイ
箱をこしらへる店	帳場、會計室	かつら	リボン	龍眼(果物の名)	八月の異名	ひざまづく、跪坐する	首斬り役のこと	乾燥したるものに濃厚の汁を かける料理法の一つ	蓄積のこと	損する、缺ける、かくる

コウイ、規、閨、龜、圭、晷、鬼、詭、究、癸、貴、櫃、桂、跪、削、增、現、虧、一〇三

空(コウ) 心(シン) 折(セ) 負(フ) 賠(ペイ) 魁(クワイ) 手(テ) 窺(クワイ) 探(タン) 葵(クワイ) 揆(クワイ)

損失を來すこと(營業などに) 良心に負くこと、心に恥づること 損する、缺損 良心に負く、悪い事をする 損失を來すこと、損する 首魁、かしら、頭首 かしら、頭目 のぞく、うかがふ さぐる、探偵する あふひの花 はかる、推しはかる

席(シイ) 傀(クワイ) 饋(クワイ) 喟(クワイ) 愧(クワイ) 餽(クワイ) 滾(クワイ) 開(カイ) 刀(タウ) 刀(タウ) 毬(チウ) 起(チイ) 縛(フク) 外(ガイ) 困(クワン) 困(クワン) 鍋(クワ) 貼(テ) 伏(フク) 恥(チ) 貨(カ)

首官、總理、長官 人形、てく 贈り物、進物 一嘆息する、太いきをつきてなげく 悔む、はづる、はちくやむ 贈りものの食物 湯水の沸きたぎる、逃げる 湯がわく、湯がたぎる 悪者、碌でない奴、箸にも棒にもつかぬ奴のこと 同上 湯たんぼ

榔(バウ) 熱(ネツ) 棍(クワン) 匪(フイ) 昆(クワン) 腔(クワン) 坤(クワン) 戲(シイ) 角(カク) 捆(クワン)

拍子木 熱き、たぎりたる湯のあつき 棒、 匪類、悪徒の群 兄弟、きやうだい 正劇の一種、唱曲の一種 同上 地、つち、女性 女の劇 女役者 縛る、しばりあげる

來(ライ) 起(チイ) 縛(フク) 外(ガイ) 困(クワン) 困(クワン) 鍋(クワ) 貼(テ) 伏(フク) 恥(チ) 貨(カ)

縛る、ふんじばる 同上 宮室以外、朝廷以外 苦守する、死守する ねむたき、眠氣 なべ、煮物をする器具 すきやきの類 假小屋(辛うじて寢食に得る程度のこと) 國家、くに 國の恥辱 國産品、自國品

ウイ魁、窺、葵、揆、傀、讀、哨、愧、餽、コウイ又滾、棍、昆、糊、團、困、團、コオ鍋、國一〇五

過 <sup>ゴ</sup>	裹 <sup>ゴ</sup>	菓 <sup>コ</sup>	果 <sup>コ</sup>
意 <sup>イ</sup>	糧 <sup>リ</sup>	脚 <sup>キョウ</sup>	藕 <sup>コウ</sup>
不 <sup>ブ</sup>	去 <sup>キョ</sup>	松 <sup>ソウ</sup>	攤 <sup>タン</sup>
		然 <sup>ゼン</sup>	慶 <sup>チン</sup>
			日 <sup>ジ</sup>

國祭日、旗日  
 はたして、果然  
 菓物、くだもの  
 實のなりたる松  
 菓物を賣る大道店  
 蓮根のこと  
 つゝむ(一切の物を)  
 纏足する(支那婦人の)  
 食糧を携帯する  
 過ぐる、過失、あやまつ  
 氣の毒の感に堪へざる

不 <sup>ブ</sup>	付 <sup>フ</sup>	房 <sup>フ</sup>	頭 <sup>トウ</sup>	節 <sup>セツ</sup>	獎 <sup>キョウ</sup>	景 <sup>キョウ</sup>	堂 <sup>タン</sup>	手 <sup>シュ</sup>	夜 <sup>ヤ</sup>	癮 <sup>エン</sup>
去 <sup>キョ</sup>				話 <sup>ワ</sup>						

阿片中毒症を緩和すること  
 徹夜する  
 仲買人の手にかゝること  
 法廷にかゝる(訴訟事件が)  
 はで過ぎる  
 ほめすぎる、過分の稱讃  
 節句を越す、事柄の條理  
 分に過ぎた話  
 養子とする  
 支拂の過ぎたる  
 通り越せぬ、通過することの  
 不能なるをいふ

工 <sup>コウ</sup>	擴 <sup>クワ</sup>	關 <sup>クワン</sup>							
課 <sup>カ</sup>	充 <sup>チュウ</sup>	爐 <sup>ロ</sup>	路 <sup>ロ</sup>	日 <sup>ジ</sup>	禮 <sup>レイ</sup>	年 <sup>ニエン</sup>	門 <sup>メン</sup>	碼 <sup>マ</sup>	
		銀 <sup>ギン</sup>	客 <sup>カク</sup>	子 <sup>シ</sup>					

現金の授受に代ふる信用記入  
 嫁入りする、嫁ぐ  
 新年、年越し  
 婚禮の贈物、結納の類  
 生活する、日を送る  
 通り一遍の客  
 信用を貨幣の代りにする(帳簿面に記入して)もの  
 廣々とせる、裕かなる、贅澤なる  
 擴ぐる、擴張すること  
 工事、仕事、手間、労働者  
 課業、しごと

書 <sup>ショ</sup>	開 <sup>カイ</sup>	攻 <sup>コウ</sup>	名 <sup>メイ</sup>	部 <sup>ブ</sup>	房 <sup>フ</sup>	夫 <sup>フ</sup>	夫 <sup>フ</sup>	錢 <sup>チン</sup>	廠 <sup>チヤン</sup>
				局 <sup>キョク</sup>		純 <sup>チン</sup>			

工場、作業場  
 手間賃、労働賃金  
 時間、ひま、業  
 修練の積みたる  
 作業場、作事場  
 市街の土木を掌る役者  
 功勞、勳功、てがら  
 名譽、榮譽、官職  
 攻むる、攻撃する、研究する  
 攻陥する  
 書籍を研究する

公<sup>コウ</sup> 煙<sup>エン</sup> 識<sup>シ</sup> 幹<sup>カン</sup> 公<sup>コウ</sup> 公<sup>コウ</sup> 館<sup>カン</sup> 估<sup>コ</sup> 司<sup>シ</sup> 署<sup>シ</sup> 所<sup>シヨ</sup>

公けの、公共の、男性  
精良なる阿片  
大宴會正式の饗宴  
公用、公務  
男(しうと)  
丁度よき、恰かも適當なる  
公館、事務所  
公に收用する(土地などを)  
會社(各種の)  
官署、公の事務を掌る所  
事務所、會所、公會堂

堂<sup>ダン</sup> 攤<sup>タン</sup> 道<sup>ダウ</sup> 產<sup>チン</sup> 主<sup>チ</sup> 府<sup>フ</sup> 府<sup>フ</sup> 便<sup>ビ</sup> 婆<sup>ボ</sup> 母<sup>モ</sup>

官衙、公署、會議室、審判する室  
等分して支出する、頭わりに支出する  
公平なる、正しき  
共有財産のこと  
天皇の娘、女王  
役所、公務所  
總統府、大統領官署  
秤の一種  
双方の便宜、お互の便宜  
舅姑(しうと、しうとめ)  
男性と女性、雄雌、をすめす

宮<sup>コウ</sup> 刑<sup>シ</sup> 給<sup>チ</sup> 弓<sup>コウ</sup> 恭<sup>コウ</sup> 維<sup>ウイ</sup> 機<sup>キ</sup> 房<sup>フ</sup> 躬<sup>コウ</sup>

宮城、官室  
去勢する刑罰(昔時の)  
供へる、供給する  
ゆみ、弓なりに曲りたる  
婦人の靴  
弓の柄  
恭しく、恭敬  
迎合するへつらふ、おべツか  
を使ふ  
便器、洋風便器  
便所のこと  
自身みづから、したしく

拱<sup>コウ</sup> 候<sup>コウ</sup> 師<sup>シ</sup> 水<sup>スイ</sup> 砂<sup>サ</sup> 界<sup>カイ</sup> 照<sup>チ</sup> 洞<sup>トウ</sup> 灰<sup>グアイ</sup> 苗<sup>ミョウ</sup>

手こまぬく  
待受ける、まつ  
礦山、又音コウアン有氣去聲  
礦山技師  
礦泉  
礦石  
礦區、礦業地域  
礦業許可書  
坑道、坑内  
石灰  
鐵脈、鐵山の蔓

油<sup>ユウ</sup> 計<sup>ケイ</sup> 同<sup>ドウ</sup> 總<sup>ソウ</sup> 合<sup>カ</sup> 貢<sup>コン</sup> 空<sup>クウ</sup> 開<sup>カイ</sup> 函<sup>ハン</sup>

石油のこと  
共同、合計、一しよ、諸共  
合計、總計  
取極、約定書、契約、契約書  
合計、メ高  
總メ、合計  
貢ぎもの、貢ぎする、上等なる  
最上等の繻子  
から、あける、あきたる、暇  
一二字の間隔をあけて書く  
金錢の添えてない書信

坐<sup>ゾ</sup> 票<sup>ヒョウ</sup> 兒<sup>ニ</sup> 孔<sup>コン</sup> 恐<sup>コウ</sup> 撒<sup>サ</sup> 野<sup>ノ</sup> 野<sup>ノ</sup> 火<sup>カ</sup>

坐<sup>ゾ</sup> お構ひ致しませぬといふ挨拶語  
融通手形  
ひま、暇、時間  
穴、小あな、孔子、甚だ  
穴ある錢の異名  
恐るゝ、恐らくは、  
まく、ふりまく、ちらすがさつたる、野蠻なる  
野郎なことを言ひ散らす、計なことを觸れまはる

開<sup>カイ</sup> 手<sup>テ</sup> 尿<sup>ニョウ</sup> 氣<sup>キ</sup> 脹<sup>テウ</sup> 帖<sup>テウ</sup> 顛<sup>テン</sup> 潑<sup>セツ</sup> 放<sup>フ</sup> 揮<sup>ヒ</sup> 謊<sup>ホウ</sup>

腿<sup>タイ</sup> 股を廣げる、大の字形になる  
手をゆるめる、許す  
小便する、放尿すること  
他人へ怒りを移して文句をいふこと  
子<sup>シ</sup> 掛賣の請求書をくばる書付を配る、びらを配る  
鯛(英語の音譯)  
駄々を捏ねてあばれる(小兒などが)  
ゆるす、放免する  
贅澤すること  
虚言を吐く、うそをいふ

溺<sup>ニョク</sup> 蒙<sup>モウ</sup> 網<sup>ワウ</sup> 脚<sup>キョウ</sup> 拉<sup>ラ</sup> 灑<sup>サイ</sup> 湯<sup>トウ</sup> 脱<sup>ダツ</sup> 腮<sup>サイ</sup>

小便する、放尿する  
鮭、さけ(英語の音譯)  
網をまく、網打ちする  
足を引ずる、  
スリッパ、突かけ靴の類引ずる(歩む時足を)  
三、三つ、又音サメ陰平、水などをまき散らすこと、ふりまく  
失敗する、破綻する  
酒々落々たる、さつぱりした  
あご(人體の)

コウん共、貢、空、孔、恐、サ一撒、跋、三、灑

サイ腮



子	門	音	喉	桑	名	話	喪	夥
子	門	音	子	構	門	名	話	夥
眼	大	音	喉	桑	神	名	話	夥
のど穴、咽喉の氣管部	聲の太きこと	音聲、こゑ	のど、咽喉	桑の實のこと	くわ(樹の名)	貧乏の神	名譽を失墜する	不景氣極まる話、泣ごと
							組合の解散、仲間が散ること	喪事、うしなふ

教	家	單	學	慎	閃	迎	失	額
教	家	單	學	慎	閃	迎	失	額
教	家	單	學	慎	閃	迎	失	額
無教育、教育なきこと	妻を失ふこと	紛失届	學問をし損ふこと	失火、火災を起す	不景の「來事、まちがひ、不詳の事件	失ふ、無くなる	失禮致しました(來客に對して言ふ)	ひたい

爺	漬	潮	生	濕	施	群	主
爺	漬	潮	生	濕	施	群	主
官吏の相談役、顧問者	師匠、先生、教師	的、じめくせる(しめりて)	しめりたる、じめくする	わらじ虫の類	しめる、しめす、しめりたる	布教する、宣教する	ほどこす、施行する、施設すること
							左様なら(辭去する時の挨拶)
							奇類の群より離るゝこと
							紛失主、紛失物の届主

虱	獅	尸	飾	詩	屍	親	娘	傅
虱	獅	尸	飾	詩	屍	親	娘	傅
しらかみ	高麗犬の類をいふ	し(獸の)	女の屍體を檢案する婦人	屍體、しかばね	飾る、上べをかざる	死者の身より、死者の親戚	詩	師匠、先生
								師傅の妻、師の女房
								死體、しかばね

サン喪、桑、噪、シー失、施、濕、師、屍、詩、飾、尸、獅、虱



拾	十	幾	足	足	停	拿	有	拾	得	接
拾	十	幾	足	足	停	拿	有	拾	得	接
十(數の)	十何日?又小童などに年齢を問ふ語、十幾つか?	十分なる質を具ふること	十分なる銀質(まぜものなき)を有する銀のこと	十分に、十分通り	十の物なら九分通りは可なること	十ばかり、十個以内	十に通ず、ひろふ、修繕する	修理する、片づける、整理する	修繕する、整へる	

什	時	醫	興	尚	憲	光	道	氣
什	時	醫	興	尚	憲	光	道	氣
什器、器具	物件、飾り物、嵌入物 細かき模様ある美しきもの、 密畫模様	時、時間、時世	流行醫者、庸醫(其時々により多少の醫術を施し得る程度のもの)	時の流行、はやり	流行風	こよみ、曆書のこと	時刻、とき	季節、時の流行 めぐり合せ、運命

表	派	樣	令	石	衣	頭	頭	皺	實	據
表	派	樣	令	石	衣	頭	頭	皺	實	據
時計のこと	時代様、今様、時流	今様、はやり風	時疫のこと、はやり病	いし類の總稱、又音タヌ	こけ(苔)	いし、石材の總稱	兒、石段、石の踏段	なでしこ、又石竹子をも用ふ	眞實、事實、實際、實に、まことにたつき、堅實なる	實證、事實

缺	在	招	俸	寔	矢	柘	蝕	射	匙	
缺	在	招	俸	寔	矢	柘	蝕	射	匙	
實官(名はかりの名譽職に對していふ)	實に、實際は	白狀する、事實を申立てる	食物、すける	俸給を取る、役に就けること	實に同じ	矢、誓ひを立てる、口にて誓ふ	ざくろ	皆既蝕	弓を射て的中する能はざる	さじ、かぎ(鏡前の)、又音チ

シ一十、拾、什、時、石、實、食、寔、矢、柘、蝕、射、匙

使	史	喚	不	不	脾	絆	得	錢	勁	眼	色	屎	始	家	賦	侍	事	世				
使	書	喚	了	得	氣	子	了	得	錢	勁	眼	色	屎	始	家	賦	侍	事	世			
使 しらす 使用する、つかふ...												糞、くそ	蛆虫、糞中の虫	始終、いつも、常に	小豚、えのこ	はせる、速くかける	侍する、傍に居る、つきそふ	暗食する	こと、事件、用向、使へる	事項、ことがら	當事者	世の中、世上、代

釋	是	路	面	交	兄	家	醫	教	荷	非	識	家	主	透	破	貨	勢	嗜	示	拭
釋	是	路	面	交	兄	家	醫	教	荷	非	識	家	主	透	破	貨	勢	嗜	示	拭
釋 釋迦、佛教、ゆるす、とく 佛教のこと	是 是なる、可なる、正しき、然り 紛擾、ごたごた、もめ事 御願申上候(日用文章の句) 釋迦、佛教、ゆるす、とく 佛教のこと	路 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	面 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	交 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	兄 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	家 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	醫 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	教 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	荷 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	非 由緒ある家柄、舊家 父が親交ありし人の子に對して 父と父とが親しかりし交際の 間柄 世の中、世上、社會	識 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	家 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	主 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	透 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	破 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	貨 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	勢 しる、知る、しるす 鑑識眼ある人、ものしり 博識なる人 知りぬく、底まで知れること 到底的に知りぬく 品を見分ける	嗜 たのむ、よる、勢をたのむ たしなむ、すく、嗜好 示す、示教する	示 たのむ、よる、勢をたのむ たしなむ、すく、嗜好 示す、示教する	拭 知らずる、指示する、通知する 拭ふ、ふきとる

シ一使、史、喚、始、家、賦、侍、事、世、是、釋、識、侍、嗜、示、拭

柿<sup>シ</sup> | | | | 市<sup>シ</sup> | | 試<sup>シ</sup> | 弒<sup>シ</sup> |

面<sup>ミ</sup> | 話<sup>ワ</sup> | 帖<sup>テ</sup> | 口<sup>コ</sup> | 練<sup>リ</sup> | 探<sup>タ</sup> | 掉<sup>テ</sup>

子<sup>シ</sup> | 兒<sup>ル</sup>

拭ひおとす(汚なきしなを)  
弒す、長上を殺すこと  
試むる、ためす、試験、試みに  
探りを入れる  
經驗  
市上、いちば、  
市場、市場の入口  
仕拂手形(滿洲地方に行はる  
道路の説、世間の風説  
市場、市面  
かき

逝<sup>シ</sup> | | | | 仕<sup>シ</sup> | 士<sup>シ</sup> | | 適<sup>シ</sup> | 誓<sup>シ</sup> | | | |

版<sup>バ</sup> | 商<sup>シ</sup> | (子<sup>シ</sup>) | 纒<sup>ツ</sup> | (願<sup>ユ</sup>) | 餅<sup>ビ</sup> | 霜<sup>シ</sup> | 乾<sup>カ</sup>

乾柿、ほしかき  
乾柿の醱酵粉  
乾柿  
願ふ、誓願する、願かけする  
こと  
適する、たましく、丁度、適  
當なる  
今し方、丁度今  
讀書人、士人、智識階級  
つかへる、官吏  
官吏と庶民、一般社會  
仕官者の名簿  
逝去する、死亡する

式<sup>シ</sup> | | 視<sup>シ</sup> | | | | 室<sup>シ</sup> | | | | 勢<sup>シ</sup>

綫<sup>シ</sup> | 人<sup>ニ</sup> | 家<sup>チ</sup> | 力<sup>リ</sup> | 豪<sup>ホ</sup> | 派<sup>ハイ</sup> | 頭<sup>トウ</sup>

眼<sup>ガン</sup> | 兒<sup>ル</sup>

いきほひ、勢力、ありさま  
形勢、ありさま、旗色  
勢ひ、みかけ、狀況  
有力者  
上に誂ひ下を侮る者、事大思  
想の人をいふ  
室、夫人、妻  
家庭  
女房、妻、夫人  
視る、視察する  
眼界、視界  
式、かた、法則、

| | | | | | 沙<sup>シ</sup> | 諡<sup>シ</sup> | 氏<sup>シ</sup> | 甕<sup>シ</sup> | |

吊<sup>テ</sup> | 城<sup>シ</sup> | 勺<sup>シ</sup> | 鍋<sup>コ</sup> | 果<sup>コ</sup> | 鹽<sup>シ</sup> | (子<sup>シ</sup>) | 樣<sup>ヤ</sup>

子<sup>シ</sup> | 地<sup>ヂ</sup> | 子<sup>シ</sup> | 子<sup>シ</sup>

形式、ひながた、様式  
甕に、單なる、たゞ  
姓氏  
おくりな、死後の名  
すな、沙泥  
山鹽(山より堀りだす岩鹽、  
類)  
小さき梨の如き果物  
素焼の土鍋  
瀬戸物の杓子、素焼の匙  
蒙古滿洲地方に在る不毛地の  
一種  
土瓶、素焼の土瓶

シ弒、試、市、柿、誓、願、適、士、仕、逝、勢、室、視、式、甕、氏、諡、沙

土	白	瓢	梨	砂	紗	廠	煞	根	氣
ドウ	バイ	ビョウ	リ	サ	シヤ	チ	シヤ	ク	キ
泥	白	瓢	梨	砂	紗	廠	煞	根	氣
沙土混りの泥(田地の)	青白き、非常に白き	西瓜などの糖分多き美味なるもの	山梨(酸味の多きもの)	砂石、小砂利	石麻、痲病の一種	夏衣の材料となるもの、又紡績の類をいふ	紡績工場	厄、殺に通ず	厄、殺に通ず

殺	退	杉	槁	松	魚	笑	說	子
シヤ	トイ	シヤ	カオ	ソウ	ニイ	シヤ	シヤ	シヤ
殺	退	杉	槁	松	魚	笑	說	子
ころす、殺害する	殺す、害する	退治する、撃退する	すぎ(樹名)	杉丸太	すぎ	さめ、ふか	痴呆(ばか)、愚なる	馬鹿笑ひすること

厦	裳	列	篩	摠	麗	色
シヤ	シヤ	リ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ
厦	裳	列	篩	摠	麗	色
待ち損する、待ちぼけする	大家屋のこと	しばし、少時、暫時	同上	刺す、えぐる	穴をあける	ふるひ、篩にかけること

設	曬	像	台	了	陽	微	鍋	水
シヤ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ	シヤ
設	曬	像	台	了	陽	微	鍋	水
さいころ(賭博に用ふる)	日にさらす、太陽の光線にあてること	寫眞の焼付すること	物干臺(ものほし)	了	日向ぼっこすること	少し、少許、やゝ、わづか	少しばかり、やゝ	焼く、火を燃す、焚く

シヤアヲ 稍燒 殺、殺、杉、俊、厦、裳、刺シヤイ篩摠麗色、設、燒

杓 <small>シヤウ</small>	芍 <small>シヤウ</small>	梢 <small>シヤウ</small>	帶 <small>タイ</small>	帶 <small>タイ</small>	信 <small>シメ</small>	病 <small>ビン</small>	火 <small>ホ</small>	的 <small>ア</small>	的 <small>ア</small>
子 <small>シ</small>	藥 <small>ヤク</small>	公 <small>コウ</small>	子 <small>ツ</small>	脚 <small>キョウ</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>
杓子 <small>シヤウシ</small>	芍藥 <small>シヤウヤク</small>	公 <small>コウ</small>	子 <small>ツ</small>	脚 <small>キョウ</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>
杓子、ひやく	しやくやく(花の名)	木末(すえ)、枝先	船の舵手、かじとり	しゃくやく(花の名)	杓子、ひやく	たづさへる、持つ	手紙を持つ	携帯する、持つ	熱病、發熱の劇しき病
		ついで、手ついで				火をたく、火を燃す	火にあたりて熱くてたまらぬ	火にあたりて熱くてたまらぬ	火にあたりて熱くてたまらぬ

山 <small>シヤウ</small>	紹 <small>シヤウ</small>	瀉 <small>シヤウ</small>	兒 <small>ル</small>	棒 <small>バン</small>	官 <small>コウ</small>	哨 <small>シヤウ</small>	了 <small>リヤウ</small>	有 <small>ユウ</small>	不 <small>フ</small>
酒 <small>チウ</small>	濕 <small>シ</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>	兒 <small>ル</small>
山、山岳	紹興酒(支那酒の一種)	つぐ、つなぐ	しめる、しめす	口笛のこと	用心棒、番人の持つ棒	尉官程度の武官	番する、見張りする	珍らしき、稀なる	少いことはない、少なからず
								賣 <small>マイ</small>	賣 <small>マイ</small>
								少なければ賣らぬ、ま	少なければ賣らぬ、ま

シヤオ梢、梢、芍、杓、勺、少、哨、紹、シヤウ山

陪 <small>シヤウ</small>	吃 <small>チ</small>	見 <small>チ</small>	說 <small>シヤウ</small>	些 <small>シヤウ</small>	給 <small>キ</small>	爺 <small>ヤ</small>	水 <small>シヤウ</small>	口 <small>コ</small>	勺 <small>シヤウ</small>
陪 <small>シヤウ</small>	吃 <small>チ</small>	見 <small>チ</small>	說 <small>シヤウ</small>	些 <small>シヤウ</small>	給 <small>キ</small>	爺 <small>ヤ</small>	水 <small>シヤウ</small>	口 <small>コ</small>	勺 <small>シヤウ</small>
陪 <small>シヤウ</small>	吃 <small>チ</small>	見 <small>チ</small>	說 <small>シヤウ</small>	些 <small>シヤウ</small>	給 <small>キ</small>	爺 <small>ヤ</small>	水 <small>シヤウ</small>	口 <small>コ</small>	勺 <small>シヤウ</small>
暫時にして辭去する	少し食べる	稀に會ふ、久しぶりにて面晤すること	少し喋舌る、少しく	少し、少しばかり、わづか	錢を減して與ふる	去聲に發音す	少き、若き、減ずる又去聲	水を勺ふ、水をくむ	料理の手腕、料理の出來ば、
									杓子、杓と通じ用ふ

網 <small>チヨウ</small>	鷄 <small>チ</small>	脚 <small>キョウ</small>	尖 <small>チ</small>	牆 <small>チ</small>	參 <small>シ</small>	口 <small>コ</small>	溝 <small>コウ</small>	歌 <small>カ</small>	窩 <small>ワ</small>	音 <small>イン</small>
網 <small>チヨウ</small>	鷄 <small>チ</small>	脚 <small>キョウ</small>	尖 <small>チ</small>	牆 <small>チ</small>	參 <small>シ</small>	口 <small>コ</small>	溝 <small>コウ</small>	歌 <small>カ</small>	窩 <small>ワ</small>	音 <small>イン</small>
けんちう、山東絹	きじ、山鳥	山の頂上	山の頂上	屋壁の一種	自然生の山人參	山の登り口	谷川、山の小河	俗語、小唄	群山の中間	山びこ、山間の反響

主 <small>チヌ</small>	子 <small>ツ</small>	坡 <small>ハ</small>	羊 <small>ヤン</small>	藥 <small>ヤク</small>	芋 <small>ユイ</small>	嶺 <small>リン</small>	刪 <small>シヤ</small>	改 <small>カイ</small>	珊 <small>シヤ</small>	珊瑚 <small>ホウ</small>	扇 <small>シヤ</small>
住持、寺の)	梁山形の石	山坂、坂道	山羊の毛の一種	山の薯、とろゝ芋	同上	峰、山の峰	削る、削除する	添削する(文章などを)	さんご	あふぐ(火を)こと	あふぐ(火を)こと

扇 <small>シヤ</small>	搨 <small>シヤ</small>	薑 <small>シヤ</small>	腥 <small>シヤ</small>	開 <small>カイ</small>	味 <small>ウ</small>	開 <small>カイ</small>	衫 <small>シヤ</small>	刃 <small>ニ</small>	苦 <small>ク</small>	閃 <small>シヤ</small>	開 <small>カイ</small>	殺 <small>シヤ</small>
せんだうする、おだてる	扇の類にてあふぐこと	うちあける	なまぐさき臭	同上	下着、肌襦袢	草などを沓る刃物、鎌の類	とま、むしろ、アンペラの類	身を開き飛ばす、ひらめく	身を開く、身をかはす	身をかはしてよける	身をかはしてよける	身をかはしてよける

了 <small>リョウ</small>	手 <small>テ</small>	士 <small>シ</small>	甘 <small>カン</small>	善 <small>シヤ</small>	扇 <small>シヤ</small>	膳 <small>シヤ</small>	股 <small>ク</small>
光彩の著しき襦子	手がしびれる、手をくちく	陝西省	陝西甘肅の二省をいふ	善良なる、よき、善行	慈善家、善行家	老巧者、熟練者	寺院の齋(とき)、寄附金などの會、慈善會
						膳部、膳部室、料理	あふぎ、せんす
							扇の親骨

鱒 <small>シヤ</small>	鰾 <small>シヤ</small>	馬 <small>マ</small>	養 <small>ヤウ</small>	寫 <small>シヤ</small>	單 <small>ダン</small>	就 <small>シヤ</small>	心 <small>シン</small>	本 <small>ベン</small>
扇の骨	うなぎの類	去勢したる馬	養ふ、給養する、扶養する	つくらふ、整へる、よくする	清書する、よく書く	清書したる書類	作成する(文章などを)	きづ、きづつける、そこなふ
							悲む、心のなげき	資金を損ずる

シヤ又扇、珊、扇、搨、衫、刈、苦、閃、陝、善、膳、扇、鰾、扇、膳、繕



船	車	屈	京	頭	凍	次	房	半	風	不
チユア	チヤ	チイ	チン	ト	ド	ツ	ファン	バ	フオン	フ
船に乗る、上船する	車に乗ること	前期、前季	上京する、北京に行く	上、上の方	凍る(水などが)こと	前回、せんだつて	奥の室、上段の室	午前、ひるまへ	兒。優越の地位、良き位置	上がられぬ、のぼられぬ

不	賓	邊	同	火	面	門	門	洋	月	任
フ	ビン	ヘン	トウ	カ	メン	メン	ヤン	ユエ	ジユ	ジユ
上つてゆかれぬ	上客、正客	上の方、上部、上つら	前回、さきに、せんだつてのぼせる	上つら、上部、上の面	戸を閉める、門をしめる	上前窗	洋行する、又上海のこと	先月、あとも	就任する(官吏などが)	

了	聯	書	菸	照	川	點	頭	葫	
リョ	レン	シュ	エ	チア	チエ	ヂエ	ト	ホ	
了。本を閉ぢたり、本を読み了りたり	對句の上の句をいふ	尙書	西、西の方、西洋	西洋タバコ、シガー	西日、にしび	四川省のこと	西洋風の菓子	西の端、西のはづれ	冬瓜の一種

シアン尙 (シイ四、希、稀、嘻、嬉)

法	窄	罕	稀	稀	稀	稀	稀	稀	嬉	嬉
フ	ハク	ハ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
西洋法、洋法	稀なる、珍らしき、非常に非常に狭きこと	稀なること、めづらしき	稀なる、うすき(ねばりけなき)、稀薄なる	仕事に身が入らざること	淡きものと濃きもの(糊など)	水粥の類	うれしがる、よろこぶ	喜び笑ふ、うれしがる	よろこぶ、うれしがる	



習<sup>シ</sup> 犀<sup>シ</sup> 犧<sup>シ</sup> 晰<sup>シ</sup> 栖<sup>シ</sup> | 夕<sup>シ</sup> 熙<sup>シ</sup> | | 吸<sup>シ</sup>  
(牛<sup>シ</sup>) (性<sup>シ</sup>) (明<sup>シ</sup>) (止<sup>シ</sup>) 室<sup>シ</sup> | 光<sup>シ</sup> 墨<sup>シ</sup> 鐵<sup>シ</sup>  
紙<sup>シ</sup> 石<sup>シ</sup>

吸ふ、吸ひつく  
磁石のこと  
インキを吸ひ取る紙  
日光、太陽のひかり  
夕方、晩、夜、おそき  
暗室、くらき室  
とまる、やすむ、やめる  
あきらかなる、明晰なる  
いけにへ、ぎせい  
さい(獸の名)  
習ふ、修める、練習する

| | 錫<sup>シ</sup> 襲<sup>シ</sup> | | 息<sup>シ</sup> | | 惜<sup>シ</sup> |  
鐵<sup>シ</sup> 頭<sup>シ</sup> (受<sup>シ</sup>) 票<sup>シ</sup> 錢<sup>シ</sup> 念<sup>シ</sup> 字<sup>シ</sup> 學<sup>シ</sup>  
兒<sup>シ</sup> 紙<sup>シ</sup>

修學する、學ぶ  
をしむ、惜き  
反古紙を大切にすること(此  
風支那に行はる)  
をしむ、心から惜むこと  
いき、やめる、やすむ  
利息、利子  
利札、利息札  
うけつぐ、ひきうける  
すい(金屬の)  
錫器のこと  
すい

| 席<sup>シ</sup> | 蓆<sup>シ</sup> | 膝<sup>シ</sup> | | 悉<sup>シ</sup> 媳<sup>シ</sup> 熄<sup>シ</sup>  
面<sup>シ</sup> 棚<sup>シ</sup> 子<sup>シ</sup> 下<sup>シ</sup> | 知<sup>シ</sup> 數<sup>シ</sup> | 婦<sup>シ</sup> (滅<sup>シ</sup>)

火などの消える、やめる、  
やむ  
よめ、嫁女のこと、女房  
つくす、知悉する、皆  
全部の數、ありたけ  
しる、しりつくす、皆しる  
ひざ(身體の)  
子供のこと、膝元  
むしろ、あんべらの類  
夏日熱氣を避ける日よけ  
座席、宴會  
席上、座上

| | | | | | | | 喜<sup>シ</sup>  
歡<sup>シ</sup> 封<sup>シ</sup> 子<sup>シ</sup> 錢<sup>シ</sup> 鵠<sup>シ</sup> 詔<sup>シ</sup> 酒<sup>シ</sup> 祈<sup>シ</sup> 信<sup>シ</sup> 愛<sup>シ</sup>  
兒<sup>シ</sup>

喜ぶ、喜び、目出度き、この  
むすく  
すく、このむ  
喜びのしらせ、喜びごとの手  
紙 吉報  
惠方神  
祝酒、祝ひの宴會  
天子即位の詔勅  
さぎ、かさぎ  
祝儀(しうぎ)  
蜘蛛のこと  
祝儀、祝ひの贈りもの(金)  
よろこぶ、うれしがらる、よろ  
こばしき

(シイ吸、熙、夕、栖、晰、犧、犀、習、惜、息、襲、錫、熄、媳、悉、膝、蓆、席、喜、一三三)

洗<sup>シ</sup> 禧<sup>シ</sup> 病<sup>ビ</sup> 慶<sup>ケン</sup> 乾<sup>カン</sup> 三<sup>サン</sup> 手<sup>テ</sup> 心<sup>シン</sup> 厨<sup>チュ</sup> 潔<sup>ケツ</sup> 毛<sup>モウ</sup> 不<sup>フ</sup> 掉<sup>テウ</sup>

つわり(産前の)  
喜び、めでたき  
洗ふ、事件の鬼をつける  
きれいに洗ふこと  
小児生後三日目の行水  
手をあらふ、やめる  
改心する、心を入れかへる  
洗ひ物をする場所  
湯に入ること、行水  
羊毛の汚物を去る爲めに洗ふこと  
洗つても落ちぬ、冤が雪ぎ了へざる、冤が雪がれぬ

細<sup>シ</sup> 璽<sup>シ</sup> 徙<sup>シ</sup> 迄<sup>シ</sup> 宛<sup>ユ</sup> 臉<sup>リ</sup> 今<sup>キ</sup> 移<sup>シ</sup> 故<sup>コ</sup> 狗<sup>コ</sup> 說<sup>シ</sup> 水<sup>スイ</sup> 針<sup>チ</sup> 長<sup>チ</sup> 流<sup>リ</sup> 網<sup>ワウ</sup> 針<sup>チ</sup> 細<sup>シ</sup> 針<sup>チ</sup>

宛を雪ぐ  
顔を洗ふ、洗面する  
：：：まで、今に至るまで、  
今日まで、又音(ハ)イ有氣  
うつる、移轉する  
印、天子の印章  
細かなる、上等なる、くはし  
き、込み入りたる  
こま／＼としたる理由  
獵犬、訓練したる犬  
詳細に説明する  
細く長くといふ意  
網針、細き針

局<sup>キョウ</sup> 講<sup>コウ</sup> 磁<sup>ジ</sup> 鏗<sup>キョウ</sup> 作<sup>サク</sup> 甜<sup>テン</sup> 賦<sup>ヒ</sup> 皮<sup>ヒ</sup> 貨<sup>カ</sup> 活<sup>カク</sup> 戲<sup>キ</sup>

女郎屋、妓樓  
詳細に話すこと  
上等陶磁器  
目の細かきやすり  
探偵、間諜  
非常によき甘味  
肌などのきめ細かなること  
肉。美しき肌合、美人のこと  
上品(粗製品に對して)  
上等の仕事、手のこみ入りの細工  
劇、芝居、たはむれる

癮<sup>エン</sup> 衣<sup>イ</sup> 台<sup>ダイ</sup> 單<sup>ダン</sup> 齣<sup>チウ</sup> 子<sup>シ</sup> 班<sup>バン</sup> 報<sup>ホウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 法<sup>ホフ</sup> 片<sup>ヘン</sup>

芝居氣狂、芝居道樂  
芝居の衣裳  
舞臺のこと  
芝居の目錄  
筋、幕、場(劇の)  
役者のこと  
役者のこと  
劇の廣告、芝居のピラ廣告  
劇の筋書、脚本  
手品のこと  
蓄音器のレコード

シイ禧、洗、迄、璽、細、戲

系 <small>シイ</small>	蟻 <small>シイ</small>	繫 <small>シイ</small>	係 <small>シイ</small>	迷 <small>ミ</small>	謔 <small>ニユエ</small>	園 <small>ユア</small>	故 <small>コ</small>	親 <small>チン</small>	續 <small>シユイ</small>	兒 <small>ニエ</small>	念 <small>ニエ</small>	蜂 <small>シユイ</small>	繼 <small>シイ</small>
芝居道樂、芝居氣狂	ひやかす、からかふ	劇場のこと	關係、カ、リあふ	舊友、舊關係者	親戚關係のある者	つなぐ、つながる、つどく	むすび目(紐などの)	心にかける、氣にかける	こぼろぎ、きりくす	つたぐ、系譜、つぐ			
欵 <small>シイ</small>	瞎 <small>シイ</small>	眼 <small>エ</small>	鬼 <small>クワイ</small>	混 <small>ホウイ</small>	兒 <small>ル</small>	落 <small>ロ</small>	寫 <small>シイ</small>	姑 <small>ク</small>	打 <small>ダイ</small>	叨 <small>タウ</small>	論 <small>アン</small>	抓 <small>チヤ</small>	充 <small>チオン</small>
上等硯の稱	盲目なる、めくら	目の見えぬ、盲目	ならず者	ごぜなどの類	落書する、無茶書きする	店などをひやかしかしあるく	小うるさき、ぐづぐづ言ふ	罵りあふ、やかましくさほぐ	むやみに、めちやくちやに	めちやくにかきまはす			

蝦 <small>シイ</small>	灰 <small>ホウ</small>	青 <small>チン</small>	摸 <small>モ</small>	胡 <small>ホ</small>	擺 <small>バイ</small>	話 <small>ホ</small>	漢 <small>ハン</small>	子 <small>ツ</small>	湊 <small>ツ</small>	菊 <small>キョク</small>
出まかせの虚言を吐く	茶々を入れること、無暗なること、めくら、滅	めくら、盲人	めくら、わからずや	出鱈目のはなし	亂雑に並べる、無茶苦茶にならへ立てる	滅茶苦茶騒ぎする、馬鹿騒ぎすること	無暗にうるつきまはる	青色の一種	藍鼠色	五び
米 <small>メイ</small>	仁 <small>ニ</small>	管 <small>コウ</small>	罕 <small>ハン</small>	木 <small>キ</small>	俠 <small>シイ</small>	霞 <small>シイ</small>	瑕 <small>シイ</small>	裂 <small>シイ</small>	暇 <small>シイ</small>	
五び、蝦の肉	蝦の肉を料理したるもの	管轄する、管理する	鹿柴ろくさい	せまき、狹隘なる	をとこぎ、俠氣なる	霞の棚引ける	きず、小さなきず	きず、ひびの入りたる	いとま、ひま、餘暇	

(シイ係、繫、蟻、系、歛) (シイア瞎、蝦、轄、狹、俠、霞、暇、暇)

利<sup>シヤン</sup>坎<sup>カマ</sup>口<sup>コウ</sup>高<sup>カオ</sup>霧<sup>ウ</sup>午<sup>ウ</sup>役<sup>イ</sup>夜<sup>イ</sup>匣<sup>シヤ</sup>子<sup>ツ</sup>香<sup>コウ</sup>

興<sup>シ</sup>

ひま、餘暇  
はこ、小ききはこ  
下、しも、下る、くだる、下  
業なる  
夜廻りする、夜替すること  
僕、しもべ、下男  
午後、ひるすぎ  
霧が降ること  
面白からぬ、興味なき  
犬のかみつくこと  
門の下部の横木、敷居  
のこり、殘餘、あまり

車<sup>チヤ</sup>場<sup>チヤ</sup>站<sup>チヤ</sup>蛋<sup>タン</sup>胎<sup>タイ</sup>輔<sup>フ</sup>雪<sup>シユエ</sup>學<sup>シユエ</sup>下<sup>シヤ</sup>水<sup>シユイ</sup>霜<sup>シユワン</sup>

盪<sup>ダウ</sup>

霜が降ること  
進水式(船の)  
再來月(さいらいげつ)  
退學する、學業を廢す  
雪が降ること  
このつぎ、次回  
墮胎する、子をおろす  
卵を生む(鶏などが)  
次の驛、次の宿場  
試驗場を出る、良き結果  
車から下りる、下車する

地<sup>ヂ</sup>店<sup>テン</sup>處<sup>チュ</sup>屆<sup>ヂ</sup>家<sup>ヂ</sup>鐘<sup>チヨウ</sup>牀<sup>チヤン</sup>欠<sup>ク</sup>棋<sup>キ</sup>氣<sup>キ</sup>船<sup>チユア</sup>

兒<sup>ル</sup>

船からあがる、船から下りる  
内氣なる、温順なる  
將棋をさす、圍棋を圍はす  
不足する、たりざる  
寢床から出ること  
一時、三時は「三下鐘」といふ  
の類  
買手  
次季、下半年期  
貸座敷、妓樓の一種  
旅宿に泊る  
遊女となる

巴<sup>パ</sup>半<sup>ハン</sup>班<sup>バン</sup>回<sup>ホウ</sup>戶<sup>ホ</sup>房<sup>フ</sup>葬<sup>サン</sup>作<sup>サク</sup>次<sup>サイ</sup>走<sup>ソウ</sup>帖<sup>テツ</sup>

頻<sup>ヒン</sup>天<sup>テン</sup>

書付を出す、招待狀を出す  
拙者、わたくし  
次回、このつぎ  
賤しき行爲  
葬る、埋葬する  
小使などの室、寢室  
住所を定める、下流民  
次回、このつぎ  
役所から退出すること  
午後、ひるすぎ  
兒、あと